もくじ

画像取り込みの基本操作

お好みの画像サイズで取り込もう

フィルムや写真をきれいに取り込もう

原稿に合った設定で取り込もう

便利な取り込み方法

取り込んだ画像の活用方法

困ったときは

メンテナンス

ソフトウェア関連情報

その他の情報

サービス・サポートのご案内

付録

画像取り込みの基本操作

写真、雑誌など（反射原稿）のセット方法

ここでは、写真、雑誌など（反射原稿と呼びます）のセット方法を説明します。

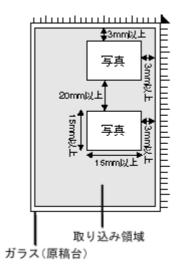
注意

原稿台や原稿カバーに強い力をかけないでください。破損するおそれがあります。

1. **原稿カバーを開きます。原稿の取り込む面を下に向け、原稿台にセットします。**

原稿台の右上に、原稿の右上端（原稿を裏から見た場合）を合わせてセットします。

ポイント

- 反射原稿を取り込む場合には、必ず保護マットを取り付けてください。
- 原稿はまっすぐにセットしてください。
- 原稿の上端から最大 2.1mm、右端から最大 1.5mm の範囲は取り込まれません。詳しくはスタートアップガイド（冊子）の「原稿のセット」をご覧ください。
- 原稿台よりも大きい原稿のセット方法については、以下の項目を参照してください。
  「原稿台よりも大きい原稿のセット」8
- 全自動モード選択時、またはプレビューをサムネイル表示する場合
  ・取り込み領域の端面から 3mm 以上離してセットしてください。
  ・ 複数の写真を並べてセットする場合は、写真と写真との間隔を 20mm 以上空けてください。
  ・原稿が少し傾いていても、傾きは自動的に補正されますが、原稿によっては補正できない場合があります。できるだけまっすぐセットしてください。
  「全自動モードまたは、サムネイルプレビューでコマが正常に切り出されない」154
  ・取り込んだ原稿の端の部分は、若干切り取られます。
  詳しくは、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。

2. 原稿が動かないように注意しながら、原稿カバーを静かに閉じます。

原稿が動くと、画像が斜めに取り込まれる場合があります。

注意

写真などの原稿を原稿台の上にセットしたまま長期間放置しないでください。原稿台に貼り付くおそれがあります。

ポイント

- 原稿カバーは、指を挟まないよう注意しながら、静かに閉じてください。
- 原稿は、取り込み面が平らなものを使用してください。取り込み面がゆがんでいると、取り込んだイメージもゆがみます。
- 原稿台のガラス面はいつもきれいにしておいてください。
- 原稿を強く押さえつけないでください。強く押さえつけると、取り込んだ画像にシミやムラ、斑点が出ることがあります。

以上で原稿のセットは終了です。

原稿台よりも大きい原稿のセット

原稿台よりも大きい原稿や、本などの厚い原稿を取り込むときは、原稿カバーを外して原稿をセットすることができます。
原稿をセットしたら、原稿を上から押さえるように、外した原稿カバーを載せて取り込んでください。また、厚手の雑誌などは外した原稿カバーを上から軽く押さえるようにしてください。

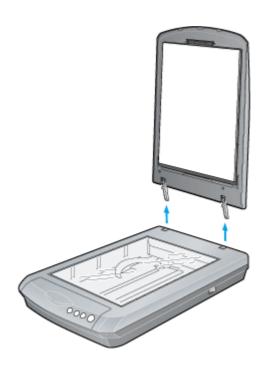
ポイント

- 原稿カバーを外した状態で原稿をセットするときは、原稿を上から押さえて原稿台に密着させ、浮き上がった部分から光が入らないようにしてください。
- 原稿を押さえるときは、原稿が動かないように、また力を加えすぎないように注意してください。

原稿カバーの取り外しと取り付け

1. **電源スイッチをオフにして、電源をオフにします。**

2. **フィルムスキャンユニットケーブルを、オプションコネクタから外します。**

3. **カバーを開けた状態で、上に持ち上げます。原稿カバーを取り付けるときは、逆の手順で取り付けてください。**

フィルム（透過原稿）のセット方法

ここでは、ポジフィルムやネガフィルムなど（透過原稿と呼びます）のセット方法を説明します。

注意

原稿台や原稿カバーに強い力をかけないでください。破損するおそれがあります。

準備

1. **フィルムスキャンユニットケーブルが、スキャナに接続されているか確認してください。**

   フィルムスキャンユニットケーブルが外れている場合は、スキャナの電源をオフにして接続してください。

   『スタートアップガイド（冊子）』

2. **原稿カバーを開け、保護マットを矢印の方向に持ち上げて取り外します。**

使用できるフィルム

スキャナで取り込めるフィルムは次の通りです。

35mm ストリップフィルム （ネガ / ポジ） 「35mm ストリップフィルムのセット方法」13	一般の 35mm フィルムを 6 枚切りにしたフィルムのことです。 ネガフィルム:画像の濃淡が反転して記録されているフィルムです(一般的なフィルムです)。 ポジフィルム：白黒がそのまま再現されていて、周囲が黒いフィルムです（カラースライド用のフィルムです)。
35mm スライドフィルム 「35mm スライドフィルムのセット方法」15	スライド用に、ポジフィルムを 1 枚ずつ切ってプラスチックなどの枠に挟んだものです。マウントフィルムともいいます。
120 / 220 フィルム（ブローニ） 「120 / 220（ブローニ）フィルムのセット方法」18	中型カメラに使われる、幅 60mm のロール・フィルムのことです。120 / 220 フィルムは、中判またはブローニ判ともいいます。スキャナに付属のフィルムホルダで読み取れる 120 / 220 フィルムの大きさは最大6×9サイズです。マウントしたブローニフィルムは使用できません。

ポイント

フィルムの脇に書いてあるメーカ名や数字などを正しく読める側をベース面といいます。ベース面から見ると、像が正しく見えます。
反対側を膜面といい、こちらに感光剤が塗布されています。ベース面は、膜面と比べてより光沢（つや）があります。膜面は、乳剤面またはエマルジョン面ともいいます。

全自動モード／サムネイル表示で使用できる原稿種とセット方法

全自動モードおよび、ホーム／プロフェッショナルモードでプレビューをサムネイル表示する場合に認識できるフィルムとセット方法について説明します。

認識できるフィルム

35mm ストリップ／マウントされたポジフィルム（全自動モードの場合はカラーフィルム）のみ、認識できます。

次のフィルムは認識できませんので、ホームまたはプロフェッショナルモードで通常表示プレビューし、手動で取り込み枠を作成して取り込んでください。

- 120 ／ 220（中判）フィルム
- ハーフサイズ（標準コマを 2 分割したサイズ）
- 標準コマを 2 つ使用したパノラマ
- 夜景や天体写真など、背景が暗い画像
- 全自動モードの場合は、モノクロの 35mm ストリップ／マウントフィルム

セット方法

- 必ずスキャナに付属のフィルムホルダを使用してセットしてください。また、フィルムホルダは合わせる辺と隙間ができないようにセットしてください。少しでも隙間があったり、斜めにセットすると正常に認識されません。

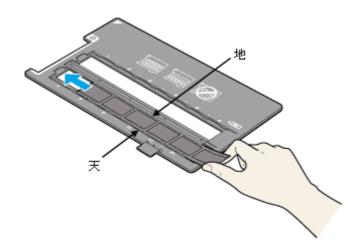
- ネガフィルムとポジフィルムなど、異なる種類のフィルムを一緒にセットしないでください。フィルムを正しく認識できません。（ホームまたはプロフェッショナルモードで通常表示プレビューする場合でも、ネガフィルムとポジフィルムの混在はできません）
- 35mm ストリップフィルムでも、標準サイズとパノラマサイズが混在していると、パノラマがうまく切り出せない場合があります。この場合はホームまたはプロフェッショナルモードで通常表示プレビューし、手動で取り込み枠を作成して取り込んでください。

ポイント

- サムネイル表示の場合、取り込んだフィルムの端の部分は、認識された両端から約 0.5mm 切り取って取り込まれます。フィルム全体を取り込みたい場合は、ホームモードかプロフェッショナルモードで通常表示でプレビューし、取り込み領域を指定してから取り込んでください。
「取り込み枠の調整方法」32
- 全自動モードでフィルムを取り込む場合、あるいはホーム / プロフェッショナルモードでサムネイル表示する場合、フィルムによっては、意図する結果でない場合があります。その場合は、ホームモードかプロフェッショナルモードで通常表示でプレビューし、取り込み領域を指定してから取り込んでください。

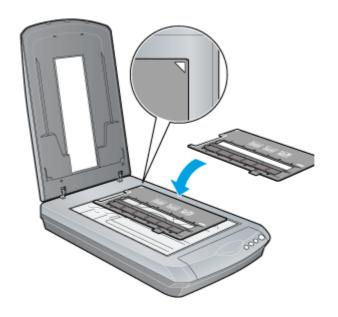
35mm ストリップフィルムのセット方法

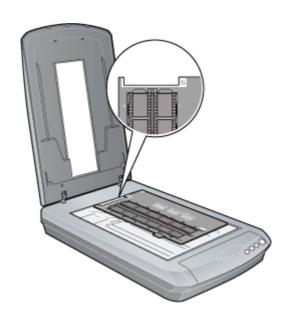
35mm ストリップフィルム（ネガ / ポジ）を取り込む場合は、以下のフィルムホルダを使用します。

1. **フィルムをフィルムホルダにセットします。フィルムのベース面（像が正しく見える面）を下にして、フィルムの天地を下図のように向けてください。**

ポイント

- フィルムは、指紋や手の油が付かないように、イラストのように端面を指ではさんで持つか、手袋をはめて持ってください。
- フィルムの天地を間違えてセットした場合でも、サムネイル表示の場合は、［90 度回転］ボタンをクリックすると、選択している画像を右方向（時計回り）に 90 度ずつ回転できます。
  ［全選択］ボタンをクリックしてから、［90 度回転］ボタンを使うと一括でコマの向きを変えられます。

- フィルムを１本だけセットする場合は、左側にセットしてください。右側にセットすると、正しく認識されません。

2. **原稿カバーを開け、次の図のように、原稿台の右上に合わせてセットします。**

ポイント

- 必ずスキャナに付属のフィルムホルダを使用してください。
- フィルムホルダの切り抜き部分を、フィルムや原稿などでふさがないでください。

- **全自動モードでフィルムを取り込む場合、またはプレビューをサムネイル表示する場合**
  全自動モードおよび、ホーム／プロフェッショナルモードでプレビューをサムネイル表示する場合に認識できる原稿種とセット方法については、以下の項目を参照してください。
  「全自動モード／サムネイル表示で使用できる原稿種とセット方法」11

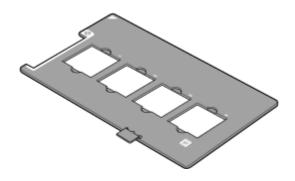
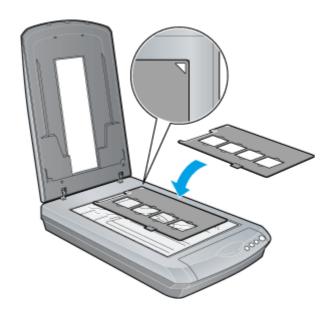
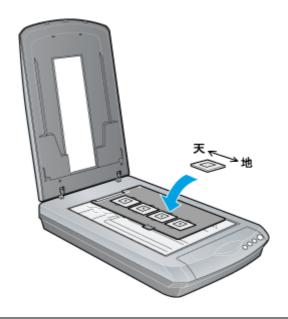
3. **フィルムが動かないように注意して、原稿カバーを静かに閉じます。**

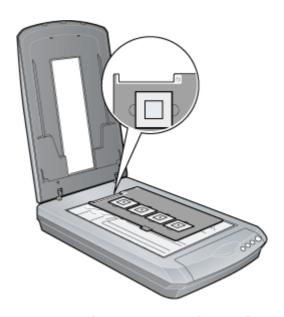
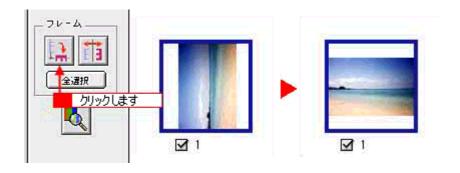
ポイント

原稿カバーは、指を挟まないよう注意しながら、静かに閉じてください。

以上で、35mm ストリップフィルムのセットは終了です。次に EPSON Scan を起動してストリップフィルムを取り込みます。
「EPSON Scan の起動方法」21

35mm スライドフィルムのセット方法

35mm スライドフィルムを取り込む場合は、以下のフィルムホルダを使用します。

1. **原稿カバーを開けます。フィルムホルダの角を、原稿台の右上に合わせてセットします。**

2. **フィルムをフィルムホルダにセットします。フィルムのベース面（像が正しく見える面）を下にして、フィルムの天地を下図のように向けてください。**

ポイント

- スライドは 2mm 以内の厚さのものを使用してください。
- フィルムホルダの上側の切り抜き部分を、フィルムや原稿などでふさがないでください。

- フィルムの天地を間違えてセットした場合でも、サムネイル表示の場合は、[90 度回転］ボタンをクリックすると、選択している画像を右方向（時計回り）に 90 度ずつ回転できます。
  ［全選択］ボタンをクリックしてから、[90 度回転］ボタンを使うと一括でコマの向きを変えられます。

・ **全自動モードでフィルムを取り込む場合、またはプレビューをサムネイル表示する場合**
全自動モードおよび、ホーム／プロフェッショナルモードでプレビューをサムネイル表示する場合に認識できる原稿種とセット方法については、以下の項目を参照してください。
「全自動モード／サムネイル表示で使用できる原稿種とセット方法」11

3. **フィルムが動かないように注意して、原稿カバーを静かに閉じます。**

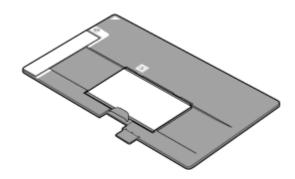
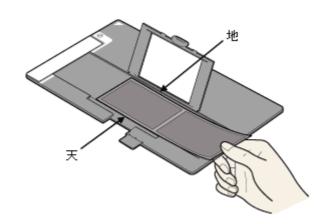
原稿カバーは、指を挟まないよう注意しながら、静かに閉じてください。

以上で、35mm スライドフィルムのセットは終了です。次に EPSON Scan を起動してスライドフィルムを取り込みます。
「EPSON Scan の起動方法」21

120 / 220（ブローニ）フィルムのセット方法

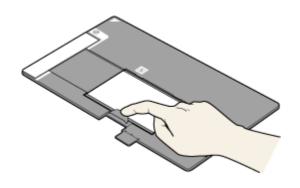
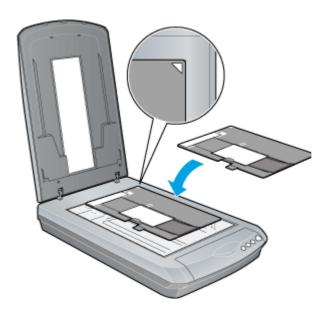
120 / 220 フィルムを取り込む場合は、以下のフィルムホルダを使用します。

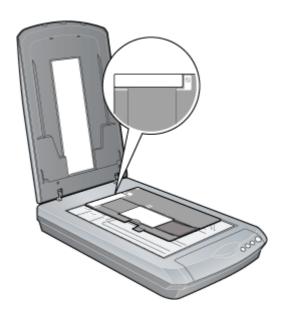
ポイント

6 × 4.5 cm のフィルムを取り込んだ場合
１コマ目のフィルムはすべて取り込まれますが、コマとコマの幅はカメラによって異なるため、２コマ目のフィルムの端が切り取られて取り込まれる場合があります。この場合は、２コマ目のフィルムをセットし直してから、取り込んでください。

1. カバーのツマミを上に引き上げて、カバーを開けます。
2. フィルムをフィルムホルダにセットします。フィルムのベース面（像が正しく見える面）を下にして、フィルムの天地を下図のように向けてください。

ポイント

フィルムは、指紋や手の油が付かないように、イラストのように端面を指ではさんで持つか、手袋をはめて持ってください。

3. カバーをセットします。

   ツマミをカチッと音がするまで押してセットしてください。

4. 原稿カバーを開け、フィルムホルダの角を、原稿台の右上に合わせてセットします。

ポイント

- フィルムホルダの上部には、光量を補正するための切り抜き部分（上部の白い板が貼ってある部分）があります。この部分にフィルムがかからないように正しくセットしてください。

- 原稿をプレビュー（低解像度で仮取り込み）してから取り込む場合は、通常表示でプレビューし、取り込み枠を指定してください。

5. **フィルムが動かないように注意して、原稿カバーを静かに閉じます。**

原稿カバーは、指を挟まないよう注意しながら、静かに閉じてください。

これで 120 / 220 **(ブローニ)フィルムのセットは終了です。次に** EPSON Scan **を起動してブローニフィルムを取り込みます。**
「EPSON Scan **の起動方法**」21

EPSON Scan の起動方法

EPSON Scan の起動には、

- 自動的にファイル名を付けて保存できる単独起動
  「EPSON Scan を単独起動」21
- 使い慣れたアプリケーションで画像を取り込み、すぐに編集できる TWAIN 対応アプリケーション からの起動
  「TWAIN 対応アプリケーションから起動」22
- コピー、E メール、OCR（光学文字認識）、印刷、DPE などの機能を実現できる EPSON Smart Panel からの起動
  「スキャナビボタンを使って起動」24

の 3 つの起動方法があります。

EPSON Scan を単独起動

EPSON Scan を単独起動する方法を説明します。単独起動で取り込んだ画像は、自動的にファイル名を付けて保存できます。

1. **EPSON Scan を起動します。**

   アップルメニュー -［EPSON Scan］をクリックします。

   Mac OS X の場合は、ハードディスク -［アプリケーション］フォルダ -［EPSON Scan ］をダブルクリックします。

2. **EPSON Scan が起動し、［保存ファイルの設定］画面が表示されます。**

   必要に応じて、［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定し、［OK］ボタンをクリックします。
   ［次回スキャン時に、このダイアログを表示する］チェックボックスのチェックを外すと次回から表示されなくなります。

3. **EPSON Scan 画面が表示されます。**

EPSON Scan を初めて起動した場合は、全自動モードが起動します。
EPSON Scan には全自動モード、ホームモード、プロフェッショナルモード、オフィスモード（ADF 装着時のみ）があり、モードの切り替えが可能です。モードの切り替え方法やモードについての詳細は以下をご覧ください。
「取り込みモードの選択方法」26

全自動モード画面

ポイント

簡単な画像の調整をしてから、手軽に取り込みたい方は、ホームモードでお使いになることをお勧めします。ホームモードは、出版用途でなければ十分な品質が得られ、最もお勧めのモードです。

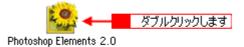
TWAIN 対応アプリケーションから起動

ここでは、付属の TWAIN 対応アプリケーション Adobe Photoshop Elements 2.0 を使って、EPSON Scan を起動する方法を説明します。

ポイント

- Adobe Photoshop Elements 2.0 の詳しい使い方については Adobe Photoshop Elements 2.0 のヘルプをご覧ください。
- Adobe Photoshop や Paint Shop Pro など、一般の TWAIN 対応アプリケーションからも EPSON Scan を起動することができます。一般的には、［ファイル］メニューの［読み込み］や［インポート］でスキャナ名を選択するか、［TWAIN 対応機器の選択］でスキャナ名を選択後、［TWAIN 対応機器からの入力］を選択します。

1. Adobe Photoshop Elements 2.0 を起動します。

［ハードディスク］-［アプリケーション］フォルダ -［Adobe Photoshop Elements 2］フォルダ -［Adobe Photoshop Elements 2.0］をダブルクリックして起動します。
Mac OS X の場合は、Adobe Photoshop Elements 2.0 は対応していません。市販の Adobe Photoshop 7.0 などを使って同様の操作を行ってください。

2. ［ファイル］メニュー -［読み込み］-［EPSON GT-9400］を選択します。

3. EPSON Scan が起動します。

初めて EPSON Scan を起動した場合は、全自動モードが起動します。
EPSON Scan には全自動モード、ホームモード、プロフェッショナルモード、オフィスモード（ADF 装着時のみ）があり、モードの切り替えが可能です。モードの切り替え方法やモードについての詳細は以下をご覧ください。
「取り込みモードの選択方法」26

全自動モード画面

ポイント
簡単な画像の調整をしてから、手軽に取り込みたい方は、ホームモードでお使いになることをお勧めします。ホームモードは、出版用途でなければ十分な品質が得られる最もお勧めのモードです。

スキャナビボタンを使って起動

スキャナビボタンを使って EPSON Smart Panel 経由で EPSON Scan を起動する方法を説明します。スキャナビボタンを押して起動する EPSON Smart Panel についての詳細は以下をご覧ください。
「起動する機能を設定する」169

1. **スキャナ前面のスキャナビボタンを押します。**

EPSON Smart Panel が自動的に起動します。

スキャナビボタンを押しても EPSON Smart Panel が起動しない場合は、以下の項目を参照して設定してください。
「スキャナビボタンやその他の前面ボタンを押しても動作しない」141

2. **用途に応じたアプリケーションのボタンをクリックします。**

クリックした後は、それぞれのアプリケーションに最適な設定を行って EPSON Scan **を起動してください。アプリケーションの最適な設定についての詳細は以下をご覧ください。**

「画像を活用する場合のおすすめの方法」111

取り込みモードの選択方法

EPSON Scan には全自動モード、ホームモード、プロフェッショナルモード、オフィスモード（ADF 装着時のみ）があり、モードの切り替えが可能です。目的と用途に合わせて各種機能を活用してください。

ここでは、モードの特徴とモードの切り替え方法を説明します。

モードの特徴

各モードの特徴は以下のとおりです。

全自動モード

自動的に画像を取り込みます。
簡単に取り込みたい場合や、スキャナをはじめて使用する場合にお勧めします。
オプションの ADF（オートドキュメントフィーダ）を装着したときは使用できません。

＊原稿によっては、正常に取り込めない場合があります。思った通りの結果で取り込まれない場合は、ホームモード、またはプロフェッショナルモードにて読み取り領域を手動で設定して取り込んでください。

ホームモード

簡単な設定で取り込むことができる、最もお勧めのモードです。出版用途でなければ、十分な品質が得られます。

プロフェッショナルモード

高度な画質調整機能を備えたモードです。出版用途での利用や、他のモードより詳細な設定をして取り込みたい場合にご使用ください。

オフィスモード（ADF 装着時のみ）

オプションの ADF（オートドキュメントフィーダ）を装着したときのみ使用できます。
文書ファイリングなど、同じサイズの原稿を速く大量に取り込みたい場合にお勧めします。定型サイズの用紙をプレビューせずに取り込めるため、ADF からの取り込みで、特にお勧めします。

モードの切り替え方法

モードは、次の方法で切り替えてください。

初めて起動した場合、全自動モードを選択している場合

初めて起動した場合は、全自動モードが起動します。モードを切り替えたい場合は、自動認識中に［停止］ボタンをクリックしてください。

ADF 装着時は初めて起動した場合は、ホームモードが起動します。モードを切り替えたい場合は、以下をご覧ください。
「全自動モード以外を選択している場合」27

スキャン動作が停止しますので、画面の右上にある［モード］のプルダウンメニューでモードを切り替えてください。

［停止］ボタンは、自動認識中しか表示されません。モードの切り替えは、一旦、［停止］ボタンをクリックしてから行ってください。

スキャン中（または、スキャンして EPSON Scan 以外のアプリケーションへ画像を転送中）は、［キャンセル］ボタンに変わります。［キャンセル］ボタンを押すと、スキャンを中止して、EPSON Scan が終了します。

全自動モード以外を選択している場合

［モード］のプルダウンメニューから選択します。

取り込み設定を保存する方法

プロフェッショナルモードでは、取り込み枠・出力設定・画質調整などの設定をまとめて保存することができます。

例えば次のような使い方ができます。

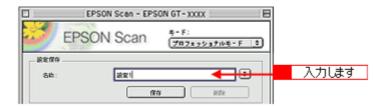
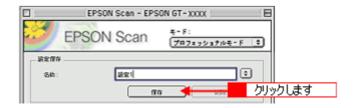
取り込み枠の再利用	取り込み枠の位置をすべて保存できるので、写真・名刺などを取り込む時に、常に同じ位置／同じ向きにセットすれば、取り込み枠を毎回作成する必要がありません。
出力サイズの再利用	壁紙またはデスクトップピクチャ用、A4 印刷用などの設定を保存しておけば、出力サイズを毎回設定する必要がありません（取り込み枠を微調整するだけです）。

取り込み設定を保存する

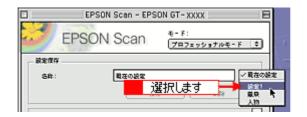
1. **EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。**

「EPSON Scan の起動方法」21

2. **取り込む原稿種の設定・イメージタイプの設定を行います。**
3. **原稿をプレビューし、取り込み枠の設定や画質調整などを行います。**
4. **設定保存の［名称］の欄に、新規名称を入力します。**

入力できる文字数は、半角で 32 文字、全角で 16 文字以内です。

5. **［保存］ボタンをクリックして取り込み設定を保存します。**

保存した設定を利用して取り込む

保存した取り込み設定を利用して画像を取り込みます。

1. **EPSON Scan（プロフェッショナルモード）を起動し、原稿をプレビューします。**
2. **取り込みに利用する設定保存名を選択します。**

EPSON Scan の各種設定が、保存されている設定に変わります。

3. ［スキャン］ボタンをクリックして、画像を取り込みます。

取り込み設定を削除する

保存した取り込み設定を削除します。

1. 削除したい設定保存名をリストから選択し、［削除］ボタンをクリックします。

2. ［OK］ボタンをクリックします。

［OK］ボタンをクリックすると、削除が実行され、ダイアログボックスが閉じます。

全自動モードの設定を変更する方法

全自動モードで画像を取り込むときの原稿の種類（反射原稿 / 透過原稿）や、出力の解像度をあらかじめ設定しておくことができます。

ポイント

- オプションの ADF 装着時には、全自動モードの設定は変更できません。
- 全自動モードで使用する原稿種をあらかじめ限定しておくと、仮取り込み（プレビュー）の時間を短縮できます。ただし、指定していない原稿がセットされた場合は、正しく認識されません。
- 出力解像度は、反射原稿（雑誌や写真など）とフィルムそれぞれに設定できます。

1. **EPSON Scan を起動し、全自動モードを選択します。**

   「EPSON Scan の起動方法」21

2. **EPSON Scan が起動して、以下の画面が表示されたら、［停止］ボタンをクリックします。**

   ［停止］ボタンは、自動認識中しか表示されません。スキャン中（または、スキャンして EPSON Scan 以外のアプリケーションへ画像を転送中）は、［キャンセル］ボタンに変わります。［キャンセル］ボタンを押すと、スキャンを中止して、EPSON Scan が終了します。

3. **［オプション］ボタンをクリックします。**

4. **全自動モードの設定を変更します。**

1	全自動モードで用いる原稿種	全自動モードで取り込む原稿の種類（反射またはフィルム）を選択します。 チェックボックスをチェックしてから、反射（写真や雑誌など）またはフィルムのどちらかをチェックします。
2	解像度を指定	出力の解像度をプルダウンリストから選択します。 チェックボックスをチェックしてから、解像度を選択します。 初期設定では、反射原稿（写真や雑誌など）とフィルムの出力解像度は 300dpi に設定されています。
3	ホコリ除去	チェックを付けると、画像取り込み時に、フィルムまたはガラスに付いているホコリを取り除いて、画像を取り込みます。フィルム上のホコリは、取り込むと白または黒く表示されます。取り込む画像によっては、この機能が適切に機能しない場合があります。
4	［OK］ボタン	元の画面に戻ります。

ポイント

［全自動モードで用いる原稿種］を指定した後、指定していない原稿がセットされた場合は、正しく認識されませんのでご注意ください。

5. **［OK］ボタンをクリックします。**

ポイント

［オプション］ダイアログを閉じた後でスキャンを開始したい場合は、［スキャン］ボタンをクリックします。

以上で、全自動モードの設定変更は終了です。

取り込み枠の調整方法

原稿の一部分だけ取り込みたい場合は、通常表示でプレビューし、プレビュー画面で領域を指定します。

ポイント

- 例えば雑誌のページから写真部分だけを指定して、画像を取り込むことができます。
- 原稿の一部分を取り込みたい場合は、通常表示でプレビューしてください。サムネイル表示では、原稿の任意の部分だけを取り込むことはできません。
- TWAIN 対応アプリケーションから EPSON Scan を起動した場合、複数の取り込み枠を指定しても、アプリケーションが複数枚取り込みに対応していないと、有効になっている取り込み枠の領域だけが取り込まれます。

取り込み枠をマウスで指定する

1. **EPSON Scan を起動し、ホームモードまたは、プロフェッショナルモードを選択します。**

   「EPSON Scan の起動方法」21

2. **通常表示でプレビューします。**

   サムネイル表示の場合は、通常表示でプレビューし直してください。
   メインウィンドウにある［プレビュー］ボタン右横の縦長の（ ）ボタンをクリックし、表示されるメニューで通常表示を選択してから、［プレビュー］ボタンをクリックしてください。
   ただし、原稿種によって、縦長のボタンは表示されません。その場合は、通常表示のみになります。

3. **プレビュー画面上で、ドラッグして取り込み枠を指定します。**

出力サイズを指定して取り込み枠を作成する

取り込んだ画像の出力サイズを指定します。

1. **出力サイズを選択します。**

   ［出力サイズ］リストから、出力するサイズを選択します。

指定されたサイズの縦横比で取り込み枠が作成されます。取り込み枠を拡大／縮小または移動して取り込む領域を決めてください。このとき、取り込み枠の縦横比は維持されます。

取り込み枠を削除したい場合は、ボタンをクリックします。

取り込み枠を広げる、狭める

指定した取り込み枠を広げたり、狭めることができます。

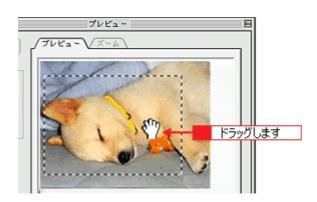
1. **取り込み枠の線上にカーソルを移動すると矢印の形になります。このとき、広げたい、または狭めたい方向の線上に、ポインタを合わせてドラッグします。**

ポイント

- 取り込み枠を変形させると、プレビューウィンドウの左下に取り込み枠のサイズ（mm またはインチ）、取り込み後の画像のサイズ（ピクセル）、ファイル容量の目安が連動して表示されます。
- 縦横比を固定して調整するには、［Shift］キーを押しながらドラッグします。
- 取り込み枠を削除したい場合は、ボタンをクリックします。

取り込む位置を変更する

取り込み枠を、別の位置に移動できます。取り込み枠のサイズは変わりません。

1. **取り込み枠の中にカーソルを移動すると手の形になります。このとき、ドラッグして移動できます。**

取り込んだ画像の保存方法

取り込んだ画像の保存方法について説明します。

EPSON Scan を単独起動した場合

1. **[スキャン] ボタンをクリックします。**

ホームモード、プロフェッショナルモードの場合は、［スキャン］ボタンをクリックすると、［保存ファイルの設定］ダイアログボックスが表示されます。

2. **［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定してください。**

［保存形式］については、以下の項目を参照してください。
「画像ファイル形式について」36

ポイント

- ［保存ファイルの設定］ダイアログボックスは、[スキャン] ボタン右横にある縦長の（ ）ボタンをクリックし、[保存ファイルの設定] を選択しても表示されます。
- ［保存ファイルの設定］ダイアログでの設定については、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。
「各画面の説明を見たいときは」165

3. **［OK］ボタンをクリックします。**

画像が取り込まれます。

後で画像を開く時はこの［保存先］で設定したフォルダを指定しますので、フォルダ名を覚えておいてください。

TWAIN 対応アプリケーションで保存する場合

ここでは、本スキャナに付属の Adobe Photoshop Elements 2.0 を例に、取り込んだ画像の保存方法を説明します。

Mac OS X の場合は、Adobe Photoshop Elements 2.0 は対応していません。市販の Adobe Photoshop 7.0 などを使って同様の操作を行ってください。

1. TWAIN 対応アプリケーションで保存します。

取り込み終了後、［ファイル］メニュー －［別名で保存］をクリックしてください。

ポイント

保存の手順は、お使いの TWAIN 対応アプリケーションによって異なります。詳しくは、お使いの TWAIN 対応アプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

2. 保存するフォルダを選びます。

後で画像を開くときにフォルダを指定しますので、フォルダ名は覚えておいてください。
ここでは、フォルダ名に［sample］を選択した場合を例に説明します。

3. ファイル形式を選択して、ファイル名を入力します。

4. ［保存］や［OK］などのボタンをクリックして保存します。

以上で、取り込んだ画像の保存は終了です。

画像ファイル形式について

主な画像のファイル形式を紹介します。お使いのアプリケーションが各形式に対応しているかご確認の上、ファイル形式を決めてください。
Windows では BMP 形式、Macintosh では PICT 形式で保存しておけば、ほとんどのアプリケーションで開くことができます。

形式（拡張子）	説 明
TIFF 形式 （＊.TIF ）	グラフィックソフト、DTP ソフトなど、多くのソフトウェアでデータ交換するために作られたファイル形式です。
Multi － TIFF 形式 （＊.TIF ）	TIFF 形式ですが、複数ページのデータが 1 つのファイルにまとめて保存されます。
BMP 形式 （＊.BMP ）	多くの Windows 用アプリケーションが対応しているファイル形式です。
PICT 形式（Macintosh のみ）	Macintosh 標準の画像ファイル形式です。ほとんどの Macintosh 用アプリケーションが対応しています。
JPEG 形式 （＊.JPG ）	圧縮形式のファイルです。圧縮品質を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータは復元不可）、さらに保存のたびに劣化していきます。レタッチなどの加工が前提の場合、TIFF 形式などで保存してください。
PDF 形式 （＊.pdf ）	Windows と Macintosh で、画面表示・印刷結果ともに同様の見栄えが得られる汎用的なドキュメント形式です。

画像を補正する場合のおすすめモード

ここでは、使用できるオプションや取り込む画像の目的に応じたお勧めのモードを説明します。

◎ 最適なモード　○ 使用できるモード　× 使用できないモード

目的	全自動モード	ホームモード	プロフェッショナルモード
フィルムを取り込む 「フィルム（透過原稿）のセット方法」10	○	○	○
出力サイズの指定 （定型サイズに簡単に拡大／縮小） 「拡大／縮小の設定方法」40 B5 A4	×	○	◎
明るさ・色あいの調整 「明暗を厳密に調整する方法」56	×	○	◎
モアレ（網目状の陰影）を取り除く 「モアレ（網目状の陰影）を取り除く方法」66	×	○	○

目的	ホームモード	オフィスモード	プロフェッショナルモード
文字原稿／線画のかすれ補正 「文字原稿／線画の取り込みに適した設定」82	×	○	○
原稿台より大きな原稿を取り込む 「原稿台より大きい原稿を分割して取り込もう」90	×	×	○
フィルムのデジタル化 （お持ちのフィルムをデジタル化して保存） 「フィルムをインデックス画像として取り込もう」98	○	◎	◎

目的	ホームモード	オフィスモード	プロフェッショナルモード
同じサイズの原稿を大量に取り込む （ADF を使用して取り込む） 「大量の原稿をスピーディに取り込もう」107	×	◎	○

ポイント

- 同じサイズの原稿を大量に取り込むにはオプションの ADF が必要です。
  「大量の原稿をスピーディに取り込もう」107
- ADF 装着時は、プロフェッショナルモードでサムネイル表示はできません。

お好みの画像サイズで取り込もう

拡大／縮小を設定できるモード

拡大／縮小の設定ができるのはホームモードとプロフェッショナルモードです。ここでは、それぞれの設定の違いを簡単に説明します。

モードによる拡大縮小の設定の違い

取り込みたい画像の拡大／縮小方法によって、適切なモードを選択してください。

ホームモード	出力したいサイズを［出力サイズ］リストから選択して、簡単に拡大／縮小できます。取り込み枠の縦横比は固定です。
プロフェッショナルモード	・出力したいサイズを［出力サイズ］リストから選択して、簡単に拡大／縮小できます。 ・初期設定では、取り込み枠の縦横比は固定ですが、トリミングを「なし」に設定すると、取り込みたい領域を出力したいサイズに拡大／縮小して取り込むことができます。

ポイント

プロフェッショナルモードで使用できる「トリミング」について
作成済みの取り込み枠の縦横比を維持するか、または選択した出力サイズの縦横比に変化させるかどうかを設定する機能です。この設定によって、倍率も自動的に変わります。
詳しくは、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。

実際の拡大／縮小の設定方法については、以下をご覧ください。
「拡大／縮小の設定方法」40

拡大／縮小の設定方法

カラー写真を壁紙またはデスクトップピクチャのサイズで取り込む手順を例に、ホームモード、プロフェッショナルモードの場合の取り込み手順を説明します。
「ホームモードの場合」40
「プロフェッショナルモードの場合」42

ポイント

解像度を設定する場合は、目的に応じた解像度を設定してください。用途に応じた最適な解像度については、以下の項目を参照してください。
「解像度を上げるときれいになる？」51

ホームモードの場合

サムネイル表示と通常表示での取り込み方法を説明します。複数の原稿を取り込む場合はサムネイル表示が便利ですが、一つの領域を取り込む場合は、取り込み枠を拡大／縮小できる通常表示がお勧めです。

通常表示を選択するには、メインウィンドウにある［プレビュー］ボタン右横の縦長の（ ）ボタンをクリックし、表示されるメニューで通常表示を選択してから、［プレビュー］ボタンをクリックしてください。

1. **スキャナの原稿台に、カラー写真をセットします。**

2. **EPSON Scan を起動し、ホームモードを選択します。**

   「EPSON Scan の起動方法」21

3. **［原稿種］、［イメージタイプ］、［出力設定］を目的に合わせて設定します。**

   ［原稿種］は実際にセットしている原稿に合わせて選択してください。
   出力設定は、［スクリーン /Web］または［プリンタ］を選んだ場合は、用途に応じた最適な解像度が自動設定されます。［その他］を選んだ場合は、目的に適した解像度を入力してください。
   ここでは、［スクリーン /Web］を選択します。

4. **［プレビュー］ボタンをクリックして、仮取り込み（プレビュー）をします。**

5. **出力サイズを設定します。**

   出力サイズリストから、出力するサイズを選択してください。
   ここでは、壁紙またはデスクトップピクチャのサイズ、［画面 -(768X1024)］を選択します。また、 ボタンをクリックすると縦／横の向きが変更できます。

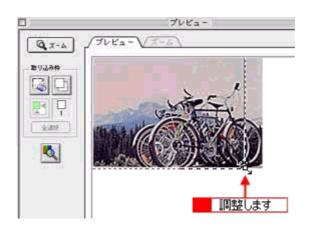
選択した出力サイズの縦横比で、取り込み枠がプレビュー画面に表示されます。

6. **取り込み枠をドラッグして移動し、取り込む領域を決めます。**

サムネイル表示の場合

取り込み枠の中にカーソルを移動すると手の形になり、ドラッグして移動できます。拡大／縮小したい場合は、通常表示に切り替えてください。

通常表示の場合

取り込み枠の中にカーソルを移動すると手の形になり、ドラッグして移動できます。取り込み枠を拡大／縮小する場合は、取り込み枠の角にカーソルを移動すると矢印になるので、ドラッグして大きさを調整してください。

ポイント

- サムネイル表示の場合
  取り込み枠のサイズを拡大／縮小することはできません。
- 通常表示の場合
  取り込み枠のサイズを拡大／縮小しても縦横比は変わりません。［出力サイズ］で選択したサイズに収まるように、倍率が自動設定されます。

7. **［スキャン］ボタンをクリックして画像を取り込みます。**

指定したサイズで画像が取り込まれます。

8. **画像を保存します。**

「取り込んだ画像の保存方法」34

ポイント

- Windows の壁紙用の画像は BMP 形式で、Macintosh のデスクトップピクチャ用の画像は PICT 形式で保存することをお勧めします（アプリケーションソフトの機能を使って壁紙またはデスクトップピクチャに設定する場合を除く）。
- ここで紹介した手順で取り込みを行えば、希望するサイズ / 解像度の画像ファイルを作成できます。壁紙またはデスクトップピクチャの作成・印刷用画像の作成・ホームページ用のサムネイル画像の作成などにお役立てください。

プロフェッショナルモードの場合

プロフェッショナルモードでは、取り込みたい領域をお好みのサイズに拡大／縮小して取り込むことができます。

ポイント

プロフェッショナルモードの場合、原稿種がカラー写真のような反射原稿の場合、サムネイル表示はできません。サムネイル表示できるのは、原稿種が透過原稿の場合のみです。

1. **スキャナの原稿台に、カラー写真をセットします。**

2. **EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。**

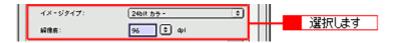
「EPSON Scan の起動方法」21

3. **［原稿設定］を目的に合わせて設定します。**

［原稿種］は実際にセットしている原稿に合わせてください。
［取込装置］、［自動露出］は原稿に適した項目を選択してください。

4. **［イメージタイプ］と［解像度］を目的に合わせて設定します。**

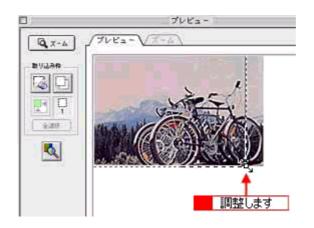
ここでは、解像度は 96dpi に設定します。

通常、コンピュータの画面の解像度は 70 ～ 90dpi くらいです。そのため、例えば、壁紙またはデスクトップピクチャ用の画像を 150dpi で取り込んでも、画面から画像がはみ出してしまいます。

5. **［プレビュー］ボタンをクリックして、原稿をプレビューします。**

6. **［出力サイズ］を設定します。**

ここでは、壁紙またはデスクトップピクチャのサイズ、［画面 -(768X1024)］を選択してください。また、ボタンをクリックすると縦／横の向きが変更できます。

7. **作成された取り込み枠を拡大／縮小または移動し、取り込みたい領域を設定します。**

このとき、取り込み枠の縦横比は固定されています。また、倍率は自動的に計算されます。

ポイント

縦横比を固定せずに思い通りの領域を取り込みたい場合は、出力サイズの横にある「+」(Macintosh の場合は「▷」)をクリックして、トリミングを［なし］に設定してください。取り込み枠のロックが解除されるので、再度、手順 7 の操作を繰り返してください。
トリミングを「なし」に設定した場合、取り込み後の画像サイズは、設定した出力サイズからはみ出ないサイズになります。(倍率が自動的に計算されます。)

8.　［スキャン］ボタンをクリックして画像を取り込みます。

指定したサイズで画像が取り込まれます。

9.　画像を保存します。

「取り込んだ画像の保存方法」34

ポイント

- Windows の壁紙用の画像は BMP 形式で、Macintosh のデスクトップピクチャ用の画像は PICT 形式で保存してください。(アプリケーションソフトの機能を使って壁紙またはデスクトップピクチャに設定する場合を除く)。
- ここで紹介した手順で取り込みを行えば、希望するサイズ / 解像度の画像ファイルを作成できます。壁紙またはデスクトップピクチャの作成・印刷用画像の作成・ホームページ用のサムネイル画像の作成などにお役立てください。

ユーザー定義サイズの作成方法

［出力サイズ］リストに、目的のサイズ（縦横のサイズ）がない場合は、目的のサイズを［ユーザー定義サイズ］として作成し、登録できます。

ポイント

- ［出力サイズ］は、ホームモード、プロフェッショナルモードで設定できます。
- ［出力サイズ］は、プレビュー後に設定できます。

1. ［出力サイズ］リストから、［ユーザー定義サイズ］を選択します。

2. 表示された画面で、［幅］と［高さ］を設定します。

設定できる最小値は 25.4mm（25 ピクセル、1 インチ）、最大値は 15,240.0mm（30,000 ピクセル、600 インチ）です。作成した定義サイズが選択できない場合は、［解像度］の設定値を下げてください。

3. ［出力サイズ名］を入力します。

入力できる文字数は、半角で 32 文字、全角で 16 文字以内です。

4. ［保存］ボタンをクリックします。

5. ［OK］ボタンをクリックします。

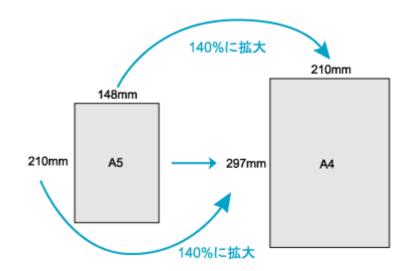
以上で、ユーザー定義サイズの作成と登録は終了です。

拡大／縮小と解像度の関係

解像度項目で設定する解像度は、出力解像度（取り込み後の画像の解像度）を示します。入力解像度（スキャナから取り込む際の解像度）は、出力解像度の設定、出力サイズの設定、取り込み枠の設定によって自動的に決まります。そのため、拡大／縮小する場合、解像度の数値を拡大／縮小率に合わせて計算・設定する必要はありません。

拡大／縮小する場合に、入力解像度がどのように決まるか、参考として説明します。

縦横比が同じ原稿の拡大／縮小率

A5 サイズの原稿を、A4 サイズで拡大して取り込む場合を例に説明します。
A5 サイズを A4 サイズに拡大するには、縦横それぞれを 140% に拡大します。

従って、入力解像度は

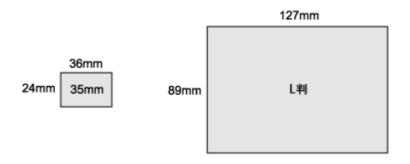
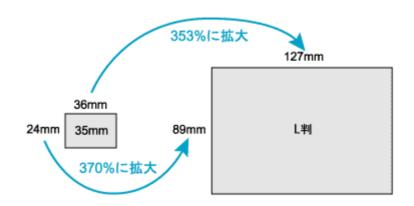
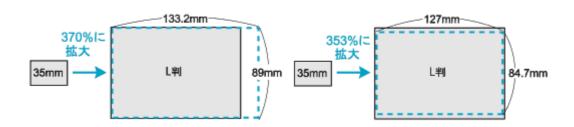
例えば、A5 サイズの原稿を
出力サイズ：A4
解像度：300dpi
の設定で取り込んだ場合、

入力解像度は自動的に

300dpi × 140%＝ 420dpi

となります。

縦横比が違う原稿の拡大／縮小率

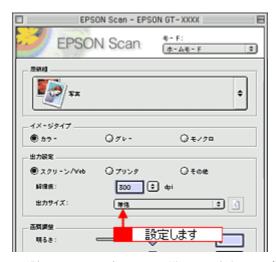
縦横比が同じ原稿は、縦横を同じ比率で拡大／縮小すればよいのですが、35mm フィルムを L 判に拡大する場合、縦横比が異なります。このような場合、拡大／縮小率はどのようになるのでしょうか？
35mm フィルムと L 判はそれぞれ下図のサイズです。

35mm フィルムを L 判の大きさに拡大するには、縦を約 370%、横を 353% に拡大することになります。

この場合、35mm フィルムの縦の長さがちょうど収まる約 370% に拡大すると、横がはみ出してしまいます。横の長さがちょうど収まる約 353% に拡大すると、縦が少し小さめになりますが、 L 版のサイズに収まります。

従って、［出力サイズ］で 35mm フィルムを L 判で出力するには、縦横の両方が収まる、353% に拡大されます。
入力解像度は

例えば、35mm フィルムを
出力サイズ：L 版
解像度：300dpi
の設定で取り込んだ場合、

入力解像度は自動的に

300dpi × 353%＝ 1059dpi

となります。

- 入力解像度と出力解像度を一致させたい場合は、出力サイズを等倍に設定してください。

- プロフェッショナルモードを選択している場合、ここの説明は［出力サイズ］のトリミングを［あり］に設定している場合（初期設定）の例です。

フィルムや写真をきれいに取り込もう

画像をシャープにする方法

ここでは、原稿にシャープさが足りない場合に、アンシャープマスクの度合いを調整し、輪郭部分を強調してシャープに取り込む方法を説明します。

ポイント
- アンシャープマスクは、プロフェッショナルモードで使用できます。ホームモードでは、自動的に適用されます。ここでは、プロフェッショナルモードを選択した場合を例に説明します。
- 全自動モードの場合は、認識された原稿種によって自動的にアンシャープマスクが適用されます。
- イメージタイプで［カラースムージング］、［中間調］、［モノクロ］を選択した場合は、設定できません。

1. EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。

   「EPSON Scan の起動方法」21

2. ［原稿設定］、［出力設定］を設定します。

   原稿に適した項目を設定してください。

3. ［プレビュー］ボタンをクリックします。

   画像の仮取り込み（プレビュー）が実行され、プレビュー画像が表示されます。

4. ［お勧めの調整方法］を参照して、一通り画質の調整を行います。

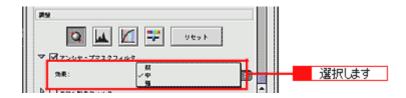
   「お勧めの調整方法」57

5. ［アンシャープマスクフィルタ］チェックボックスをチェックします。

6. 必要に応じて［効果］を選択します。

   「+」（Macintosh の場合は「 ▷ 」）をクリックして、アンシャープマスクの強度を、弱／中／強から選択してください。

調整前

調整後(中)

7. **取り込みを実行します。**

以上で、アンシャープマスクの調整は終了です。

解像度を上げるときれいになる？

解像度を上げると、画素が増え、画像がよりきめ細かになります。しかし、解像度を上げれば上げるほどきれいになるというものではありません。次の説明をご覧になり、各用途に合った解像度を設定してください。

用途に応じた解像度

用途に応じた解像度の目安は以下のとおりです。

用途	目安となる解像度	説明
E メール送信	96 〜 150dpi	目安となる解像度以上に上げると、E メールの送受信に時間がかかり、メールを受信する相手に負荷がかかります。なるべくデータが小さくなるように解像度を設定してください。
OCR（光学文字認識）	400dpi	目安となる解像度以上に上げても、文字の認識率は向上しません。認識率が良くない場合は、しきい値を調整してください。しきい値を調整した方が、よりよい効果が得られます。 「文字原稿／線画の取り込みに適した設定」82
EPSON インクジェットプリンタでのファイン印刷	150dpi（カラー、グレー画像の場合） 360dpi（白黒の線画の場合）	目安となる解像度で十分です。それ以上に上げても印刷品質は向上しません。むしろデータ容量が多くなるため、画像の取り込み／保存／読み込み／印刷などが遅くなります。
EPSON インクジェットプリンタでのフォト／スーパーファイン印刷	300dpi（カラー、グレー画像の場合） 720dpi（白黒の線画の場合）	
レーザープリンタでの印刷	200dpi（カラー、グレー画像の場合） 600dpi（白黒の線画の場合）	
ディスプレイ表示	96dpi	通常、コンピュータの画面の解像度は 70 〜 90dpi くらいです。そのため、例えば、壁紙またはデスクトップピクチャ用の画像を 150dpi で取り込んでも、画面から画像がはみ出してしまいます。

また、解像度を上げるほど、多くのハードディスク／メモリ容量を必要とします。
以下は、解像度ごとの画像データ容量です。

原稿の種類	原稿サイズ	解像度		
		150dpi	300dpi	600dpi
カラー写真	L 判＊	約 1.1MB	約 4.3MB	約 17.4MB
	A4	約 6.1MB	約 24.5MB	約 98MB
白黒写真	L 判＊	約 0.4MB	約 1.4MB	約 5.8MB
	A4	約 2MB	約 8.2MB	約 32.6MB
文字原稿／線画	A4	—	約 1MB	約 4MB

＊約 90mm × 130mm

ポイント

- 解像度が 2 倍になると、データ容量は約 4 倍になります。
- 取り込む画像の容量の目安は、EPSON Scan のプレビューウィンドウの下側に、画像のサイズ（ピクセル）、ファイル容量として表示されます。
- ハードディスクには、最低でも取り込む画像データ容量の 2 倍以上の空き容量がないと、取り込むことはできません。

48bit カラーを選ぶときれいになる？

ここでは、48bit カラーまたは 16bit グレーで取り込むことのメリットについて、48bit カラーを例に説明します。

> **ポイント**
>
> イメージカラーで 48bit カラーまたは 16bit グレーを選択できるのは、プロフェッショナルモードのみです。

見た目に違いは分からない

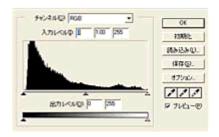
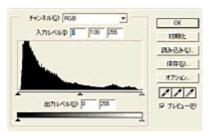
48bit カラーで取り込んでも、24bit カラーで取り込んでも、ディスプレイ上では違いがわかりません。これは、コンピュータが 24bit までのデータしか扱えない（1,677 万色までしか表示できない）ためです。

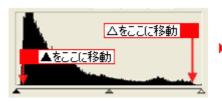
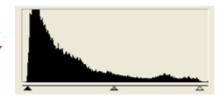
では何が違うのか

見た目には違いが分からなくても、48iti カラーで取り込んだ画像はデータ量が豊富です。そのため、フォトレタッチソフトでレベル補正などを行った後の階調飛び（ヒストグラムの歯抜け）を少なくできます。

下図では、画像／ヒストグラムともに、24bit と 48bit の違いはわかりません。

24bitカラーの元画像とヒストグラム

48bitカラーの元画像とヒストグラム

元画像は白い部分（花の中心にある雪の部分）が白くなっていないため、データの中で本来は白であるべき部分が白くなるように、［ヒストグラム調整］ダイアログで補正してみます。

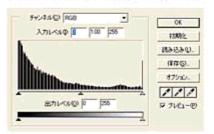
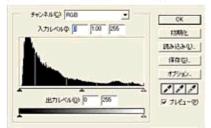
ハイライトポイントを黒い山の右端に、シャドウポイントを黒い山の左端に移動すると、取り込み枠内の最も明るいピクセルが白に近く、最も暗いピクセルが黒に近くなるように、全体の明暗が調整されます。

調整前のヒストグラム

調整後のヒストグラム

下図は補正後の画像とヒストグラムです。

24bit の場合は、元々少ないデータの範囲を広げたため、所々で歯抜けが起きています。見た目はよくなりますが、階調表現力は厳密には低下します。

48bit の場合は、元々のデータ量が多いので、範囲を広げても歯抜けは最小限で済んでいます。階調表現力を損なわずに、見た目がよくなります。

補正後の24bitカラーの画像とヒストグラム

補正後の48bitカラーの画像とヒストグラム

48bit 入力の利用の仕方

出版用途などで画像の品質が重要な場合はもちろん、次のような利用の仕方もあります。

画質調整を使い慣れたフォトレタッチソフトで行う場合に利用

EPSON Scan では、自動露出調整だけを行い、厳密な画質調整をせずに 48bit で取り込みます。その後、使い慣れたフォトレタッチソフトでレタッチし、24bit に変換してください。
高品質の画像を効率よく作成することができます。

元々品質が悪い原稿を取り込む場合に利用

大幅なレタッチを行うと階調飛びが激しくなり、粗い画像になります。そのため、品質が悪い原稿を取り込む場合は、48bit で取り込んでおけば、24bit で取り込んだ場合に比べ、レタッチ後の階調飛びを抑えることができます。

データ容量について
コンピュータが扱えるデータは 24bit ですので、48bit で取り込む場合、その画像にはファイル 2 つ分のデータ容量が割り当てられます。
そのため、48bit 画像は 24bit 画像の 2 倍のデータ容量になります。ハードディスクやメモリ容量にご注意ください。

明暗を簡単に調整する方法

取り込んだ画像が明るすぎたり暗すぎた場合、明暗を調整して、メリハリのある画像にする方法を説明します。
ここでは、プロフェッショナルモードを選択した場合を例に説明します。ここでの調整は［イメージタイプ］でカラー／グレーを選択した場合に使用できます。

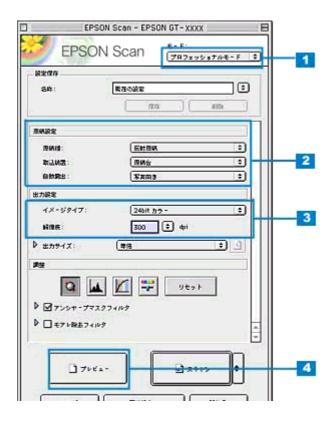
明るさ／コントラストの調整

明るさは、取り込んだ画像が明るすぎたり、暗すぎる場合に調整します。コントラスト（明暗の差）に大きな影響を与えずに、画像全体の明暗を調整できます。
コントラストは、明暗をはっきりさせたり、逆に全体の明暗の差を少なくする場合に調整します。

1. **EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。**

   「EPSON Scan の起動方法」21

2. **［原稿設定］を目的に合わせて設定します。**

   反射原稿の場合は［取込装置］と［自動露出］、透過原稿の場合は［フィルムタイプ］を設定してください。

3. **［イメージタイプ］と［解像度］を目的に合わせて設定します。**

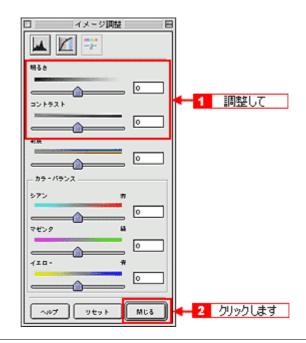
4. **［プレビュー］ボタンをクリックして、原稿をプレビューします。**

   画像の仮取り込み（プレビュー）が実行され、プレビュー画面が表示されます。

5. **取り込み枠を指定します。**

   「取り込み枠の調整方法」32
   サムネイル表示でコマが複数ある場合は、調整したいコマをクリックします。

6. **［イメージ調整］ボタンをクリックします。**

7. **明るさ、コントラストのスライダーを左右に動かして調整します。**

ポイント

- テキストボックスに数値を直接入力して微調整することもできます。
- 明るさの調整範囲は -100 〜 100 です。設定を -（マイナス）にすると暗くなり、設定を +（プラス）にすると明るくなります。明暗いずれも極端に設定すると、メリハリのない画像になる場合があります。
- コントラストの調整範囲は -100 〜 100 です。コントラストを上げる（スライダを右に動かす）と明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなってメリハリのある画像になります。コントラストを下げる（スライダを左に動かす）と逆の効果が得られます。

明るさを調整した例

－20　＋50

コントラストを調整した例

－20　＋50

8. **イメージ調整ダイアログの［閉じる］ボタンをクリックして画面を閉じ、［スキャン］ボタンをクリックして取り込みを実行します。**

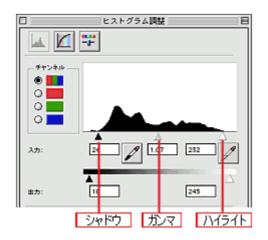
以上で、明暗の簡単な調整は終了です。

明暗を厳密に調整する方法

きれいな画像にするためには、「画像のもっとも明るい部分」（ハイライト）、「画像のもっとも暗い部分」（シャドウ）、および「その中間の明るさの部分」（ガンマ）の明暗を適切に設定することが必要です。ここでは、ハイライト／シャドウ／ガンマを調整し、明暗を厳密に調整する手順を説明します。

ここでは、プロフェッショナルモードを選択した場合を例に説明します。

ヒストグラムを使って調整する

ヒストグラム調整では、ピクセル分布を見ながら調整できるため、モニタの表示能力の影響を受けずに、客観的に明暗を最適にできます。ヒストグラムとは、画像の黒（0 ）〜白（255 ）までのデータ分布（ピクセル数）をグラフで表したものです。
厳密に画像を調整するには、ヒストグラム調整をお勧めします。

ヒストグラムで調整する項目は以下の通りです。

ハイライト	画像のもっとも明るくしたい部分を設定します。
シャドウ	画像のもっとも暗くしたい部分を設定します。
ガンマ	画像の明るい部分や暗い部分に大きな影響を与えずに、ハイライトとシャドウの中間部分（ミッドトーン）の明るさを設定します。

調整を始める前に

ちょうどよい明るさとはどんな画像でしょうか？下図の例のように、ハイライト、シャドウ、ガンマを調整すると、明暗をさまざまに変化させることができます。ハイライト／シャドウ／ガンマを適切に調整して、画像がちょうどよい明るさになるように補正してください。

●適切な画像
（ハイライトも、シャドウも適切）

●ハイライトが弱く、シャドウは適切

●ハイライトは適切、シャドウが弱い

●ハイライトもシャドウも弱い

●ガンマが暗い方向に寄っている

お勧めの調整方法

ちょうどよい明るさになるように、ヒストグラムを使って画質を補正してみましょう。

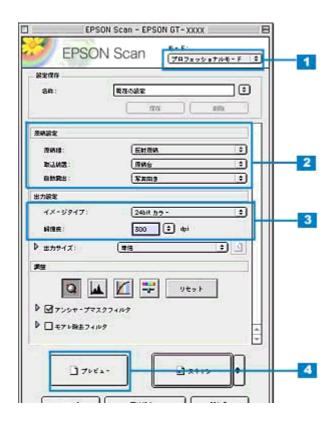
ポイント

- 画質調整はプレビュー画像が表示されているときに有効ですので、プレビューを実行してください。プレビュー画像では、調整効果をリアルタイム に確認することができます。
- 厳密な調整を行いたい場合は、ディスプレイを調整することをお勧めします。ディスプレイが調整されていないと、取り込んだ画像が適切な明るさ / 色あいで表示されません。そのため、印刷結果も予測できません。
「ディスプレイについて」182

1. **EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。**

「EPSON Scan の起動方法」21

2. **［原稿設定］を目的に合わせて設定します。**

反射原稿の場合は［取込装置］と［自動露出］、透過原稿の場合は［フィルムタイプ］を設定してください。

3. ［イメージタイプ］と［解像度］を目的に合わせて設定します。

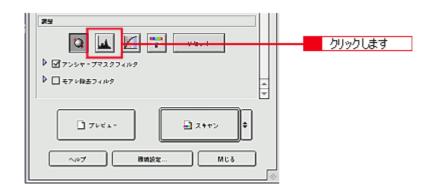
4. ［プレビュー］ボタンをクリックして、原稿をプレビューします。

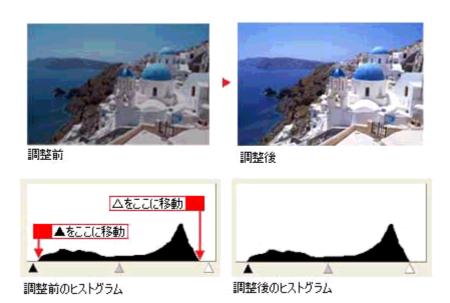
画像の仮取り込み（プレビュー）が実行され、プレビュー画面が表示されます。

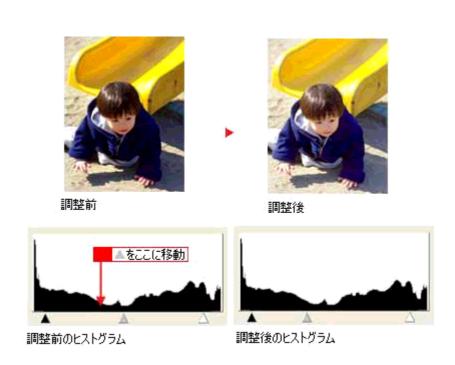
5. 取り込み枠を指定します。

「取り込み枠の調整方法」32
サムネイル表示でコマが複数ある場合は、調整したいコマをクリックします。

6. ［ヒストグラム調整］ ボタンをクリックします。

ヒストグラム調整ダイアログが表示されます。

7. ハイライトとシャドウを調整します。

ハイライトポイントを黒い山の右端に、シャドウポイントを黒い山の左端に移動してください。
取り込み枠内の最も明るいピクセルが白に近く、最も暗いピクセルが黒に近くなるように、全体の明暗が調整されます。

8. **ガンマを調整します。**

   ハイライトとガンマの中間にある、ガンマポイントを移動してください。明るい部分や暗い部分に大きな影響を与えずに、中間部分の明暗を調整します。例えば、夕方や曇りの日に撮ったため、全体的に暗くなってしまった写真などを補正できます。

ポイント

調整する取り込み枠またはコマを切り替えたい場合は、プレビューウィンドウ上で切り替えたい枠またはコマをクリックしてください。このダイアログを一旦閉じる必要はありません。

9. **調整が終了したら、ヒストグラム調整ダイアログの［閉じる］ボタンをクリックして画面を閉じ、取り込みを実行します。**

以上で、ちょうどよい明るさにするお勧めの方法の手順は終了です。

ポイント

ちょうどよい明るさに調整するよりも、メリハリをつけたい場合には以下をご覧ください。

「メリハリをつけた調整をする方法」61

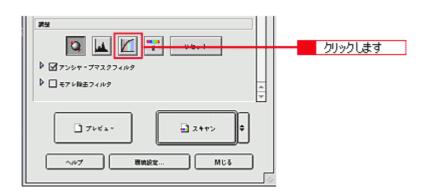
さらに微妙な調整をするには

ヒストグラムを調整した後、さらに微妙な調整をする場合は、濃度補正やシャドウ部／ハイライト部の階調補正をしてみましょう。

濃度補正

濃度はトーンともいいます。画像の濃度データを、トーン曲線に合わせて補正します。シャドウ（最暗部）、ミッドトーン（中間調）、ハイライト（最明部）へと変化していく濃度の曲線を補正することで、画像全体の濃度をバランスよく仕上げることができます。これは、現在プレビューウィンドウで選択されている取り込み枠に対して有効です。

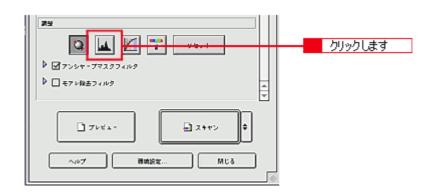
1. **［濃度補正］ボタンをクリックし、微妙な部分を追加補正します。**

「濃度を調整する方法」62

シャドウ部／ハイライト部の階調補正

[ヒストグラム調整] ダイアログで設定したハイライト点 / シャドウ点より外側の階調を補正することができます。

2. **［ヒストグラム調整］ボタンをクリックし、[端部カーブ形状変更] ボタンを使用してシャドウ部／ハイライト部の階調を補正します。**

「シャドウ部／ハイライト部の階調を調整する方法」64

以上で、明暗の厳密な調整は終了です。
以下の項目で色あいの調整方法を説明していますが、明暗調整をしっかり行えば、通常、色あいの調整は必要ありません。
「より色鮮やかに取り込む方法」75

メリハリをつけた調整をする方法

ヒストグラムでハイライトとシャドウを調整して、メリハリのある画像に補正してみましょう。

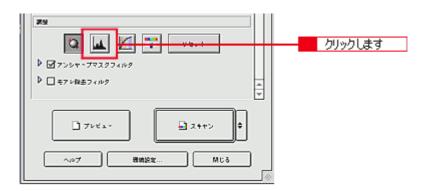
1. **EPSON Scan（プロフェッショナルモード）を起動します。**

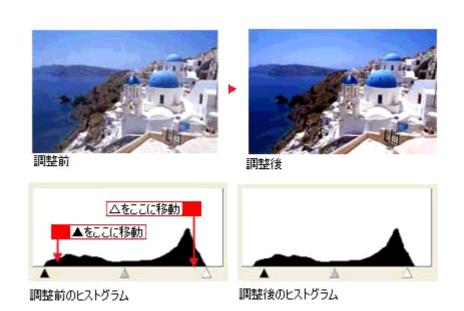
「EPSON Scan の起動方法」21

2. **［プレビュー］ボタンをクリックします。**

画像の仮取り込み（プレビュー）が実行され、プレビュー画像が表示されます。

3. **［ヒストグラム調整］ボタンをクリックします。**

ヒストグラム調整ダイアログが表示されます。

4. **ハイライトとシャドウを調整します。**

ハイライトポイントを黒い山の右端よりやや左に、シャドウポイントを黒い山の左端よりやや右に移動すると、メリハリのある画像になります。

調整が終了したら、ヒストグラム調整ダイアログの［閉じる］ボタンをクリックして画面を閉じ、取り込みを実行します。

テキストボックスに数値を直接入力して、微調整することもできます。

濃度を調整する方法

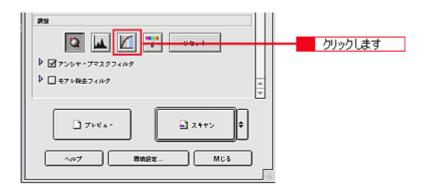
自動露出やヒストグラム調整で調整しきれない微妙な濃度の調整は、［濃度補正］で補正します。

1. **EPSON Scan（プロフェッショナルモード）を起動します。**

   「EPSON Scan の起動方法」21

2. **［プレビュー］ボタンをクリックします。**

   画像の仮取り込み（プレビュー）が実行され、プレビュー画像が表示されます。

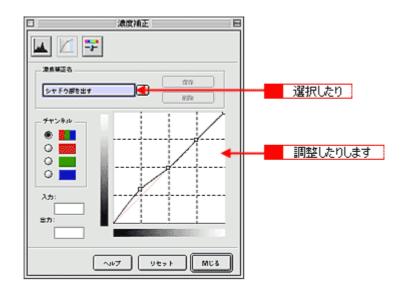
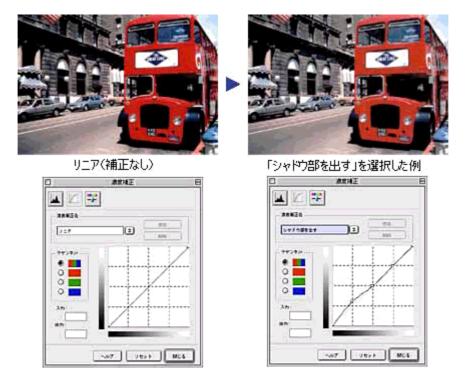
3. **［濃度調整］ ボタンをクリックします。**

4. **［濃度補正名］リストから最適なメニューを選択します。**

   露出オーバーの補正など、代表的なトーン曲線がメニューに用意されていますので、メニューから選択した後、画像にあわせて微調整することをお勧めします。

濃度補正名	説明
リニア	濃度補正をしません。プレビュー画像上で明暗に問題がなければ、リニアのままで取り込んでください。
より浅い感じに	露出アンダーな画像を、より浅い（明るい）感じに補正します。（露出アンダーとは、露出不足＝暗いことを言います）
より重い感じに	露出オーバーな画像を、より重い（暗い）感じに補正します。（露出オーバーとは、露出過多＝明るいことを言います）
コントラストを弱く	コントラスト（明暗の差）が高すぎる画像を、自然なコントラストに補正します。
コントラストを強く	コントラスト（明暗の差）が低すぎる画像に、メリハリを付けます。
シャドウ部を出す	シャドウ部分を少し明るくして、シャドウ部の階調表現を豊かにします。画像を印刷した時に、シャドウ部が黒ベタになってしまう場合に有効です。

5. **トーン曲線で微調整したい部分を補正します。**

   調整が終了したら、濃度調整ダイアログの［閉じる］ボタンをクリックして画面を閉じ、取り込みを実行します。

リニア(補正なし)　「シャドウ部を出す」を選択した例

ポイント

補正前の濃度に戻すには、［濃度補正名］で［リニア］を選択します。

シャドウ部／ハイライト部の階調を調整する方法

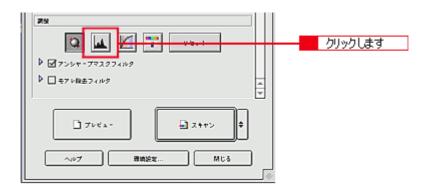
ヒストグラムで設定したハイライト／シャドウポイントより外側の階調を、[端部カーブ形状変更] ボタンで調整することができます。

1. **EPSON Scan（プロフェッショナルモード）を起動します。**

   「EPSON Scan の起動方法」21

2. **[プレビュー] ボタンをクリックします。**

   画像の仮取り込み（プレビュー）が実行され、プレビュー画像が表示されます。

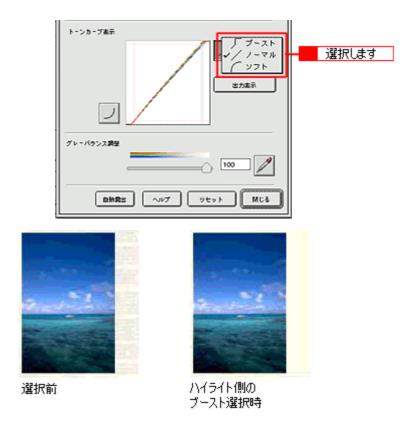
3. **[ヒストグラム調整] ボタンをクリックします。**

4. **[端部カーブ形状変更] ボタンをクリックします。**

   ハイライトまたはシャドウの [端部カーブ形状変更] ボタンをクリックし、補正したいメニューを選択してください。

ブースト	真っ白に飛ばすまたは、真っ黒に潰す場合に選択してください。
ノーマル	ハイライトやシャドウ部分の階調をそのまま表現する場合に選択してください。
ソフト	真っ白に飛んでしまった場合や、真っ黒に潰れてしまった場合に選択してください。

次のように使用してください。

紙の表面のムラや裏写りを除去したい場合 ：
ハイライト側のボタンを押し、表示されるリストでブーストを選択してください。

黒い部分のムラを除去したい場合 ：
シャドウ側のボタンを押し、表示されるリストでブーストを選択してください。

調整が終了したら、ヒストグラム調整ダイアログの［閉じる］ボタンをクリックして画面を閉じ、取り込みを実行します。

モアレ（網目状の陰影）を取り除く方法

ここでは、取り込んだ画像にモアレ（網目状の陰影）がある場合、モアレ除去を使用して取り除く方法を説明します。

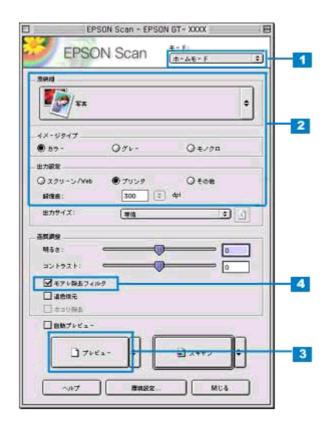
ポイント

- モアレ除去を行うと、印刷物（雑誌、カタログなど）の取り込みで発生する、モアレパターンの発生を防止できます。モアレとは、網目状などに発生する陰影で、肌色などの中間調部分で特に目立ちます。
- ホームモードの場合、原稿種で［XX フィルム］またはイメージタイプで［モノクロ］を選択すると、モアレ除去フィルタは選択できません。

1. **EPSON Scan を起動し、ホームモードを選択します。**

   「EPSON Scan の起動方法」21

2. **［原稿種］、［イメージタイプ］、［出力設定］を、目的に合わせて設定します。**

   ［原稿種］は実際にセットしている原稿に合わせて選択してください。
   出力設定は、［スクリーン /Web］または［プリンタ］を選んだ場合は、用途に応じた最適な解像度が自動設定されます。［その他］を選んだ場合は、目的に適した解像度を入力してください。

3. **［プレビュー］ボタンをクリックして、仮取り込み（プレビュー）をします。**
4. **［モアレ除去フィルタ］チェックボックスをチェックします。**

チェックOff

チェックOn

ポイント

- 画像にモアレパターンが発生しているかどうかは、取り込んだ画像をディスプレイ上で 100%（1:1）で表示して確認してください（縮小表示すると画像が荒くなってモアレが発生しているように見えるため）。
- モアレ除去はソフトウェアで処理しますので、チェックされていると取り込みに少し時間がかかります。
- モアレ除去の設定は、取り込み画像に適用されます。プレビュー画像には適用されません。
- モアレ除去は、解像度設定が 600dpi 以上のときは適用できません。

5.　［スキャン］ボタンをクリックして、取り込みを実行します。

以上で、モアレを取り除く調整は終了です。

それでもモアレが目立つときは

1.　取り込みモードをプロフェッショナルモードに切り替えます。

「モードの切り替え方法」26

2.　［印刷線数］の設定を変更します。

印刷線数を変更すると、モアレが目立たなくなる場合があります。

モアレ除去フィルタの横にある「+」（Macintosh の場合は「 ▷ 」）をクリックして、原稿に適した印刷線数を選択してください。また、一致する線数の選択肢がない場合には、近い値を試してください。

ポイント

モアレ除去機能を使用すると、取り込んだ画像がややボケる場合があります。この場合はアンシャープマスクフィルタのチェックボックスをチェックしてください。

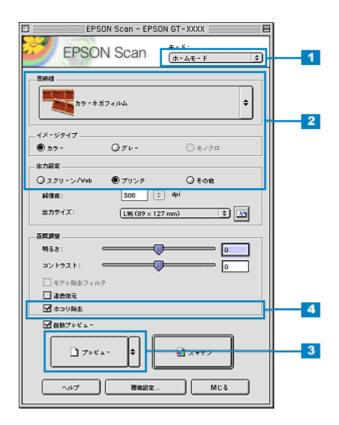
フィルムのゴミを取り除く方法

画像取り込み時に、フィルムまたはガラスに付いているホコリを取り除いて、画像を取り込みます。ここでは、ホームモードの場合を例に説明します。
フィルムをセットする前に、ブロアーなどでフィルムの主なホコリを取り除いておいてください。

1. **EPSON Scan を起動し、ホームモードを選択します。**

   「EPSON Scan の起動方法」21

2. **[原稿種]、[イメージタイプ]、[出力設定] を、目的に合わせて設定します。**

   原稿種でポジフィルム、カラーネガフィルムまたは白黒ネガフィルムを選択したときのみ、ここでの調整ができます。出力設定は、[スクリーン /Web] または [プリンタ] を選んだ場合は、用途に応じた最適な解像度が自動設定されます。[その他] を選んだ場合は、目的に適した解像度を入力してください。

3. **[プレビュー] ボタンをクリックして、仮取り込み（プレビュー）をします。**

   ホコリ除去は、プレビューには適用されません。取り込み後の画像に対してのみ有効です。

4. **[ホコリ除去] チェックボックスをチェックします。**

   以下のように、フィルムの上のホコリが除去されます。

チェックOff

チェックOn

ポイント

- ホコリ除去はソフトウェアで処理しますので、チェックされていると解像度によって取り込みに時間がかかります。
- ホコリ程度の大きさの画像は消えることがあります。
- フィルムによっては、思い通りにホコリ除去が機能しない場合があります。その場合は、フィルム、または原稿台のガラス面の異物を取り除いてから取り込んでください。
- 極端に小さなホコリは除去されない場合があります。
- ホコリ程度の大きさの画像が並んでいる場合、ぼかしがかかったようになることがあります。

5. ［スキャン］ボタンをクリックして、取り込みを実行します。

以上で、フィルムのゴミを取り除く調整は終了です。

色あせてしまった原稿やフィルムの色を復元する方法

昔撮影して色あせてしまったり、日に当たって変色した古い写真やフィルムの色あいを、元の色に戻して取り込む方法を説明します。ここでは、ホームモードの場合を例に説明します。

1. **EPSON Scan を起動し、ホームモードを選択します。**

   「EPSON Scan の起動方法」21

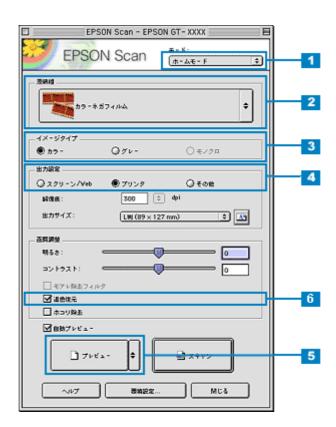
2. **［原稿種］で写真、ポジフィルムまたはカラーネガフィルムを選択します。**

   写真、ポジフィルムまたはカラーネガフィルム以外を選択すると、ここでの調整はできません。

3. **［イメージタイプ］を選択します。**

   イメージタイプで［グレー］を選択した場合は使用できません。

4. **［出力設定］を目的に合わせて設定します。**

   出力設定は、［スクリーン /Web］または［プリンタ］を選んだ場合は、用途に応じた最適な解像度が自動設定されます。［その他］を選んだ場合は、目的に適した解像度を入力してください。

5. **［プレビュー］ボタンをクリックして、仮取り込み（プレビュー）をします。**

6. **［退色復元］チェックボックスをチェックします。**

   以下のように、変色していたものが元の色に復元されます。

チェックOff

チェックOn

ポイント

- 変色していない原稿を取り込むときは、この機能を使用しないでください。
- 取り込む画像の絵柄によっては、この機能が適切に機能しない場合があります。
- カラーネガフィルムの銘柄によっては、この機能が適切に機能しない場合があります。

7. ［スキャン］ボタンをクリックして、取り込みを実行します。

以上で、色あせてしまった原稿やフィルムの色を復元する調整は終了です。

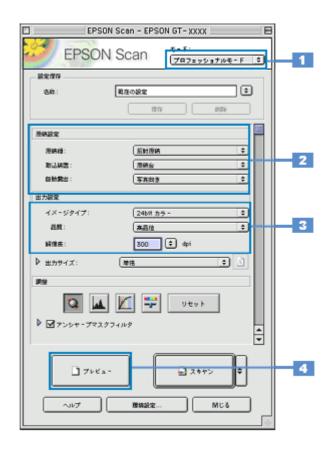
おかしな色かぶりを取り除く方法

画像に照明などの色がかぶっている場合は、グレーバランスを調整することで色かぶりを取り除くことができます。グレーバランスは、選択した色を無彩色（白黒またはグレー）とする機能です。

1. **EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。**

「EPSON Scan の起動方法」21

2. **［原稿設定］を目的に合わせて設定します。**

［原稿種］は実際にセットしている原稿に合わせてください。
反射原稿の場合は［取込装置］と［自動露出］、透過原稿の場合は［フィルムタイプ］を設定してください。

3. **［イメージタイプ］と［解像度］を目的に合わせて設定します。**

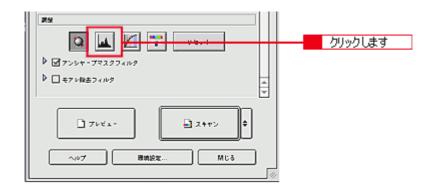
4. **［プレビュー］ボタンをクリックして、原稿をプレビューします。**

画像の仮取り込み（プレビュー）が実行され、プレビュー画面が表示されます。

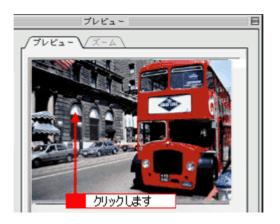
5. **取り込み枠を作成します。**

「取り込み枠の調整方法」32
サムネイル表示でコマが複数ある場合は、調整したいコマをクリックします。

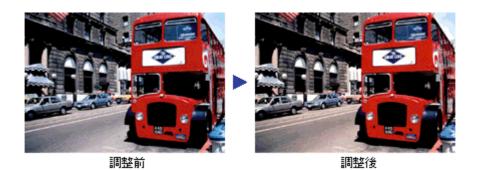
6. **［ヒストグラム調整］ ボタンをクリックします。**

ヒストグラム調整ダイアログが表示されます。

7. グレーバランス調整の［スポイト］ボタンをクリックします。

8. 画像の中で、白黒またはグレー（無彩色）となるべき部分をクリックします。

［スポイト］ボタンによる調整をキャンセルしたい場合は、キーボード上の［esc］キーを押してください。

9. 色が変わりすぎてしまった場合は、スライドバーで微調整します。

調整が終了したら、ヒストグラム調整ダイアログの［閉じる］ボタンをクリックして画面を閉じ、取り込みを実行します。

調整前　　調整後

ポイント

グレーバランス調整の範囲は 0 ～ 100 **です。**
数値を上げるほど、色かぶりを除去する効果が高くなります。100 **に設定すると、選択した色が完全な無彩色（白黒、グレー）となり、画像全体の色かぶりが取り除かれます。**
0 **に設定した場合は、グレーバランス機能は無効になります。ただし、選択した色の情報は保持されているので、もう一度調整することもできます。**

より色鮮やかに取り込む方法

ここでは、原稿に鮮やかさが足りない場合に、彩度を調整して鮮やかに取り込む方法を説明します。

1. **EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。**

   「EPSON Scan の起動方法」21

2. **［原稿設定］を目的に合わせて設定します。**

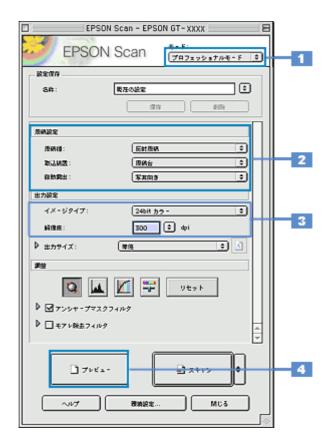
   反射原稿の場合は［取込装置］と［自動露出］、透過原稿の場合は［フィルムタイプ］を設定してください。

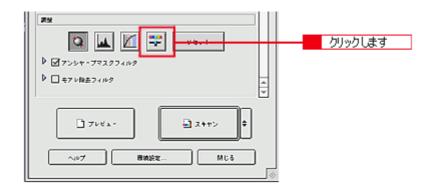
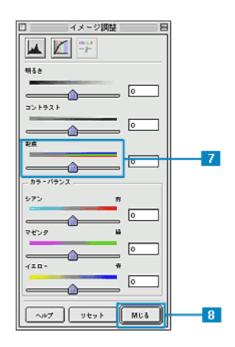
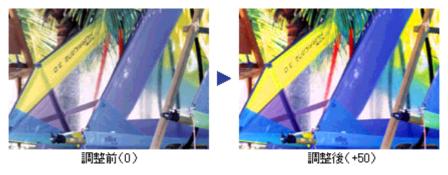
3. **［イメージタイプ］と［解像度］を目的に合わせて設定します。**

4. **［プレビュー］ボタンをクリックして、原稿をプレビューします。**

   画像の仮取り込み（プレビュー）が実行され、プレビュー画面が表示されます。

5. **取り込み枠を指定します。**

   「取り込み枠の調整方法」32
   サムネイル表示でコマが複数ある場合は、調整したいコマをクリックします。

6. **［イメージ調整］ ボタンをクリックします。**

   イメージ調整ダイアログが表示されます。

7.　彩度のスライダーを左右に動かして、色の鮮やかさを調整します。

ポイント

設定を -（マイナス）にすると色みがなくなり（無色彩化され）、グレーに近くなります。白黒写真風のカラー画像にして取り込むことができます。

8. **イメージ調整ダイアログの［閉じる］ボタンをクリックして画面を閉じ、［スキャン］ボタンをクリックして取り込みを実行します。**

以上で、画像の鮮やかさの調整は終了です。

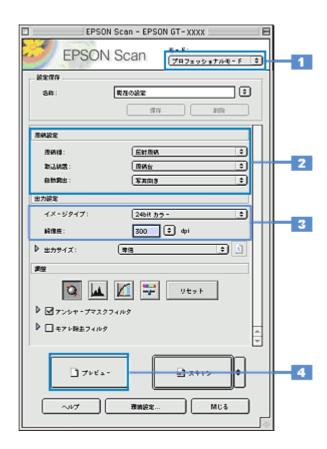
全体的な色あいを変えて取り込む方法

ここでは、天候や撮影場所の照明によって、写真が全体的に赤みを帯びていたり、青っぽいような場合に、色あいを補正して取り込む方法を説明します。

1. **EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。**

「EPSON Scan の起動方法」21

2. **［原稿設定］を目的に合わせて設定します。**

［原稿種］は実際にセットしている原稿に合わせてください。
反射原稿の場合は［取込装置］と［自動露出]、透過原稿の場合は［フィルムタイプ］を設定してください。

3. **［イメージタイプと［解像度］を目的に合わせて設定します。**

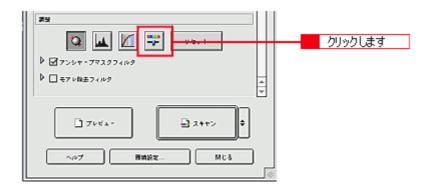
4. **［プレビュー］ボタンをクリックして、原稿をプレビューします。**

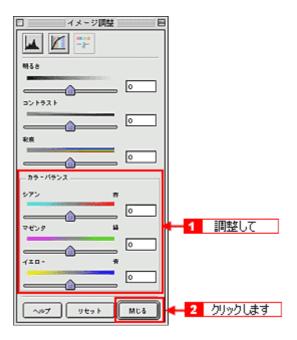
画像の仮取り込み（プレビュー）が実行され、プレビュー画面が表示されます。

5. **取り込み枠を指定します。**

「取り込み枠の調整方法」32
サムネイル表示でコマが複数ある場合は、調整したいコマをクリックします。

6. **［イメージ調整］ ボタンをクリックします。**

イメージ調整ダイアログが表示されます。

7. **スライダーを左右に動かして、色あいを調整します。**

シアン－赤	スライダを左に動かすとシアンが強くなり（赤が弱くなり）、右に動かすと赤みが強くなり（シアンが弱くなり）ます。
マゼンタ－緑	スライダを左に動かすとマゼンタが強くなり（緑が弱くなり）、右に動かすと緑が強くなり（マゼンタが弱くなり）ます。
イエロー－青	スライダを左に動かすとイエローが強くなり（青が弱くなり）、右に動かすと青みが強くなり（イエローが弱くなり）ます。

シアン－赤 を調整した場合の例

スライダを左に動かすとシアンが強くなり（赤が弱くなり）、右に動かすと赤みが強くなり（シアンが弱くなり）ます。

設定－

設定＋

8. **イメージ調整ダイアログの［閉じる］ボタンをクリックして画面を閉じ、［スキャン］ボタンをクリックして取り込みを実行します。**

以上で、画像の全体的な色あいを変える調整は終了です。

EPSON プリンタで鮮やかに印刷できる設定で取り込む方法（PRINT Image Matching）

メリハリのある画像を印刷するためには、PRINT Image Matching 機能を使用します。PRINT Image Matching 機能を使用すると、画像の持つ微妙な色あいの情報を画像データ内に保持することができます。EPSON Smart Panel を使用して、PRINT Image Matching 情報を持った JPEG（ジェーペグ）ファイルや TIFF（ティフ）ファイルを保存する手順については以下をご覧ください。
「EPSON プリンタで鮮やかに印刷できる設定で取り込もう」117

ポイント

- PRINT Image Matching の詳細については、以下の項目を参照してください。
  「PRINT Image Matching について」180
- PRINT Image Matching 情報を持ったファイルを印刷するためには、PRINT Image Matching に対応した、アプリケーションソフトとプリンタが必要です。
  「印刷方法」119

原稿に合った設定で取り込もう

文字原稿／線画の取り込みに適した設定

スキャナから OCR（光学文字認識）ソフトに文字原稿を取り込むと、原稿上の文字を文字データに変換することができます。ここでは、OCR（光学文字認識）で利用しやすいように文字原稿の認識率を上げたり、かすれている線画をきれいに取り込む場合の設定方法について説明します。

ポイント

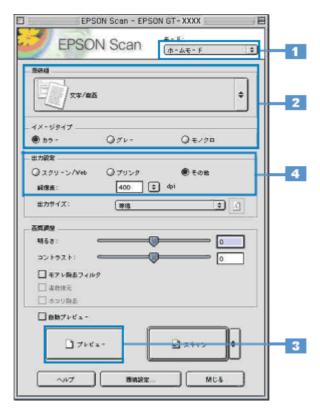
- 文字原稿の認識率は、原稿の状態に左右されます。次の場合、認識率は下がることがあります。なお、手書き文字は認識できません。
  - 何度もコピーした原稿（コピーのコピー）
  - FAX 受信した原稿
  - 文字間や行間が狭すぎる原稿
  - 文字に罫線や下線がかかっている原稿
  - 草書体、行書体、毛筆体、斜体などのフォントや、8 ポイント未満の小さな文字が使われている原稿
  - 折り跡やしわがある原稿
  - 本の綴じ込み付近
- 本スキャナには、読ん de!! ココ パーソナル（OCR ソフト）が添付されています。読ん de!! ココ パーソナルからの取り込みでは、EPSON Scan を使わず、OCR ソフト独自の取り込み画面で取り込むことができます。詳しくは、読ん de!! ココ パーソナルの取扱説明書（PDF ファイル）をご覧ください。ここでは EPSON Scan を使った取り込み方法を説明します。

文字／線画の取り込み手順

1. **EPSON Scan を起動し、ホームモードを選択します。**

   「EPSON Scan の起動方法」21

2. **［原稿種］、［イメージタイプ］を原稿に合わせて設定します。**

   ［原稿種］リストから［文字／線画］を選択してください。

3. ［プレビュー］ボタンをクリックして、仮取り込み（プレビュー）をします。

4. ［解像度］を設定します。

   ［出力設定］の項目で［その他］を選択し、原稿に最適な解像度を設定してください。

   文字原稿の場合：400dpi
   線画の場合：600dpi
   に設定してください。

5. 取り込み枠を作成します。

   「取り込み枠の調整方法」32

6. ［スキャン］ボタンをクリックして、取り込みを実行します。

7. 文字原稿の場合は、OCR（光学文字認識）ソフトで文字認識を実行します。

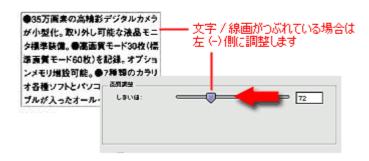
   詳しくは、読ん de!! ココ パーソナルの取扱説明書（PDF ファイル）をご覧ください。
   認識率がよくない場合は、次の手順へ進んでください。

文字や線画がかすれたりつぶれる場合は

1. EPSON Scan を起動し直します。

2. ［イメージタイプ］を選択します。

   ［イメージタイプ］は［モノクロ］を選択してください。

3. プレビュー画像で効果を確認しながら、［しきい値］を調整します。

しきい値とは、白として取り込む部分と、黒として取り込む部分の明るさの境界を決めるものです。
最適なしきい値は原稿の状態によって異なりますので、繰り返し確認しながら、最適な調整値を見つけてください。

それでも認識率が向上しないときは

しきい値を調整しても認識率が向上しない場合は、OCR ソフト側の補正機能（かすれ補正など）を使用してください。また、文字のフォントサイズによって認識領域を分けるなどの工夫をしてみてください。詳しくは、OCR ソフトの取扱説明書をご覧ください。

カラーのビジネス文書に適した設定

カラーのロゴ・グラフ・イラストなどが入っている書類は、色数を減らして取り込むと、ロゴ・グラフ・イラストなどに色ムラが発生しません。また、取り込んだ画像をフォトレタッチソフトで編集する場合、減色されているため目的の色を簡単に選択できて便利です。

ここでは、原稿の色の分布を解析し、使用頻度の高い 30 色程度に自動減色するカラースムージングを使用し、カラー書類をきれいに取り込む場合の設定方法について説明します。

以降の説明は、次の場合には不向きです。

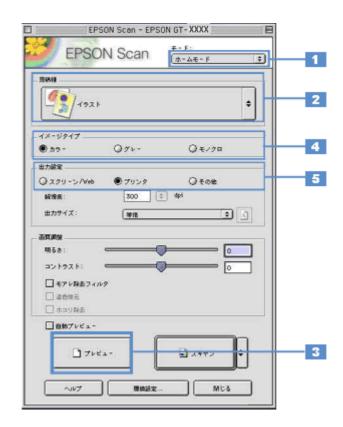
- カラー写真をフルカラーで取り込みたい場合
- グラデーションや近似色を正確に取り込みたい場合

カラー書類の取り込み手順

1. **EPSON Scan を起動し、ホームモードを選択します。**

   「EPSON Scan の起動方法」21

2. **［原稿種］を選択します。**

   ［原稿種］リストから［イラスト］を選択してください。

3. **［プレビュー］ボタンをクリックして、仮取り込み（プレビュー）をします。**

4. **［イメージタイプ］を選択します。**

   ［イメージタイプ］リストから［カラー］を選択します。原稿種で［イラスト］を、イメージタイプで［カラー］を選択すると、カラースムージングが自動的に適用されます。

ポイント

- カラースムージングの設定は、プレビューには適用されません。スキャンのときにのみ有効です。
- プロフェッショナルモードを使用する場合は、［イメージタイプ］リストから［カラースムージング］を選択してください。

5. ［出力設定］を選択します。

［出力設定］の項目で［プリンタ］を選択してください。印刷に最適な解像度が自動的に設定されます。

6. 取り込み枠を作成します。

「取り込み枠の調整方法」32

7. ［スキャン］ボタンをクリックして、取り込みを実行します。

新聞・雑誌の取り込みに適した設定

新聞や雑誌を取り込むと、新聞の白い部分が黄色っぽくなったり、雑誌の裏面が透けて写ることがあります。

ここでは、自動露出を調整し、新聞・雑誌をきれいに取り込む場合の設定方法について説明します。

お勧めのモード

- 簡単に新聞の白い部分の黄色みや、雑誌の裏写りを除去したい場合は、ホームモードをお勧めします。
  「ホームモードの場合」87
- 雑誌の写真をきれいに取り込んで、裏写りを除去しつつ画質調整をしたい場合は、プロフェッショナルモードをお勧めします。
  「プロフェッショナルモードの場合」88

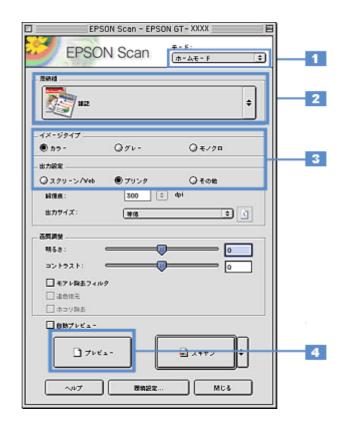
新聞・雑誌の取り込み手順

ホームモードの場合

1. **EPSON Scan を起動し、ホームモードを選択します。**

   「EPSON Scan の起動方法」21

2. **［原稿種］を選択します。**

   ［原稿種］リストから［雑誌］または［新聞］を選択します。
   ［雑誌］または［新聞］を選択すると、背景の黄色みを除去したり、裏写りを防止できます。

3. **［イメージタイプ］、［出力設定］を設定します。**

   原稿に合わせて、［イメージタイプ］を選択し、［出力設定］の項目で［プリンタ］を選択してください。印刷に最適な解像度が自動的に設定されます。

4. ［プレビュー］ボタンをクリックして、仮取り込み（プレビュー）をします。

5. 取り込み枠を作成します。

「取り込み枠の調整方法」32

6. ［スキャン］ボタンをクリックして、取り込みを実行します。

ポイント

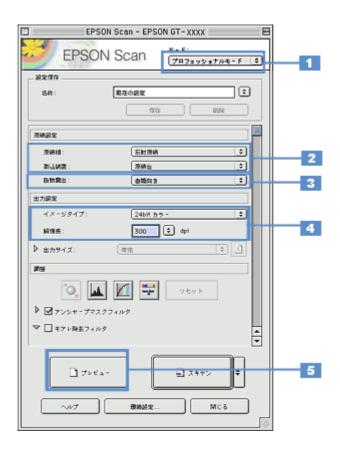
通常は、［原稿種］で［雑誌］または［新聞］を選択すると、［モアレ除去フィルタ ］のチェックボックスが、自動的にチェックされます。モアレ除去機能が必要でない場合は、チェックを外してください。

プロフェッショナルモードの場合

1. EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。

「EPSON Scan の起動方法」21

2. ［原稿種］を目的に合わせて選択します。

［原稿種］で［反射原稿］を選択してください。

3. 自動露出を選択します。

［自動露出］で［書類向き］を選択してください。
［書類向き］を選択すると、背景の黄色みを除去したり、裏写りを防止できます。

4. ［イメージタイプ］と［解像度］を目的に合わせて設定します。

5. ［プレビュー］ボタンをクリックして、原稿をプレビューします。

6. 取り込み枠を作成します。

「取り込み枠の調整方法」32

7. ［スキャン］ボタンをクリックして、取り込みを実行します。

便利な取り込み方法

原稿台より大きい原稿を分割して取り込もう

スキャナの原稿台よりも大きな原稿を分割して取り込み、フォトレタッチソフトで合成する方法を説明します。

ポイント

- 取り込む原稿としては、パンフレットやポスターなどの一枚紙の原稿を使用してください。雑誌などの製本物は、分けて取り込むときに角度がずれてしまうのでうまく取り込めません。
- ここでは、Adobe Photoshop Elements 2.0 を使って説明します。
- ここで説明している内容は、仕様として保証するものではありません。ここで説明している手順で取り込みと貼り合わせをしても、分割して取り込んだ画像の明るさや色あい、角度などは完全には一致しない場合があります。

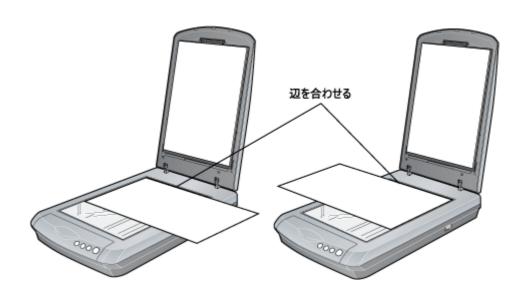
分割して取り込む方法

原稿のおよそ半分を取り込む

1. **原稿をセットします。**

   原稿のおよそ半分を原稿台にセットします。

ポイント

分けて取り込むときには一回目、二回目とも、原稿台のスケールに合わせる辺が一致するようにセットしてください。

2. **Adobe Photoshop Elements2.0 を起動します。**

   ［ハードディスク］-［アプリケーション］フォルダ -［Adobe Photoshop Elements 2］フォルダ -［Adobe Photoshop Elements 2.0］をダブルクリックして起動します。
   Mac OS X の場合は、Adobe Photoshop Elements 2.0 は対応していません。市販の Adobe Photoshop 7.0 などを使って同様の操作を行ってください。

3. EPSON Scan を起動します。

Adobe Photoshop Elements 2.0 の［ファイル］メニュー -［読み込み］-［EPSON GT-9400］を選択してください。
EPSON Scan が起動します。

4. プロフェッショナルモードを選択します。

［モード］のプルダウンメニューから［プロフェッショナルモード］を選択します。

5. ［プレビュー］ボタンをクリックして、プレビューします。

通常表示でプレビューしてください。

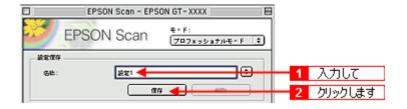
ポイント

取り込み枠を作成しないで、全面を取り込んでから、フォトレタッチソフトで選択したい部分を切り抜いてください。
または、取り込み枠を作成する場合は、少し大きめに作成してください。これは、取り込んだ画像を貼り合わせる際に、画像の欠落がないように、ゆとりをもたせるためです。

6. ［お勧めの調整方法］を参照して、一通り画質の調整を行います。

「お勧めの調整方法」57

7. 設定を保存します。

原稿の半分の設定（取り込み枠、イメージタイプ、解像度、画質などすべての設定）に名前を付けて保存します。
設定保存の［名称］欄に、新規名称を入力して、［保存］ボタンをクリックしてください。入力できる文字数は、半角で 32 文字、全角で 16 文字以内です

8. ［スキャン］ボタンをクリックして、取り込みます。

   画像が新規ファイルとして表示されます。

以上で、原稿のおよそ半分を取り込みは終了です。次に残りのおよそ半分を取り込んでみましょう。

残りのおよそ半分を取り込む

1. 原稿をセットしなおします。

   残りのおよそ半分を原稿台にセットしてください。このとき、すでに取り込んだ画像の部分を少し含めてセットすると、貼り合わせやすくなります。

2. プレビューします。

   すでに取り込んだ画像と同じ手順でプレビューしてください。

3. ［設定保存］の名称リストでさきほど保存した名称を選択します。

4. ［スキャン］ボタンをクリックして、取り込みます。

   画像が新規ファイルとして表示されます。

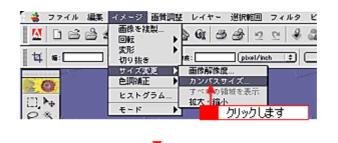
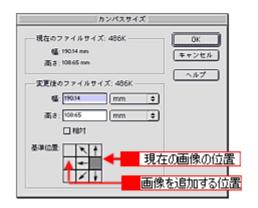
5. EPSON Scan を終了します。

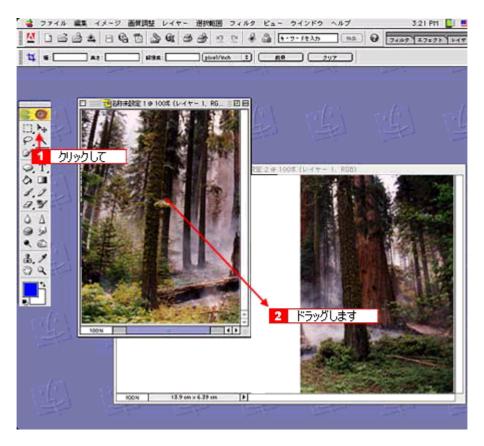
   ［閉じる］ボタンをクリックして、EPSON Scan を終了します。

以上で、原稿取り込みは終了です。次にアプリケーションでふたつの画像を貼り合わせてみましょう。

画像を貼り合わせる

1. カンバスサイズを指定します。

   取り込んだ画像のどちらかの画像をクリックして、［イメージ］－［サイズ変更］－［カンバスサイズ］をクリックします。
   ダイアログの下側にあるマス目のような項目は、カンバスサイズを広げたときに、現在の画像をどの位置に配置するかを決めるものです。
   例えば、現在の画像を右側に配置して、左側に画像を貼り付けたい場合は、下図のように設定します。
   画像を横に追加する場合は幅の値を、画像を縦に追加する場合は高さを約 2 倍以上に指定してください。

2. **画像を貼り合わせます。**

移動ツールを選択して、カンバスサイズを広げた画像に、もう片方の画像をドラッグしてください。
2 つの画像が貼り合わされるので、移動ツールで微調整してください。

この後は、画像を統合して、必要な部分を切り抜いて保存してください。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

貼り合わせた画像

複数の原稿を連続スキャンして取り込もう

TWAIN 対応アプリケーションから EPSON Scan を起動して複数の領域を取り込む場合は、画像をひとつずつ保存しなければなりません。
EPSON Scan を単独起動した場合、取り込んだ画像は自動的にファイル名を付けて保存されます。

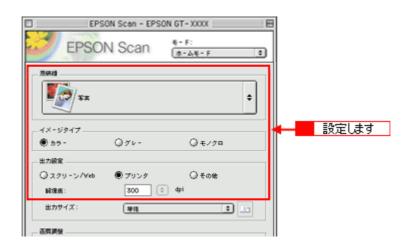
ここでは、ホームモードを例に複数の領域を指定して一気に取り込む方法を説明します。

複数の領域を指定して一気に取り込む

1. EPSON Scan を単独で起動し、ホームモードを選択します。

「EPSON Scan の起動方法」21

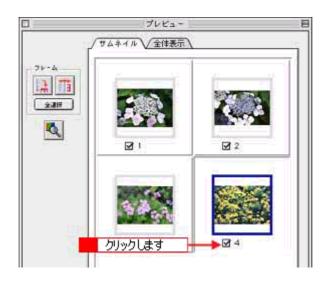
2. [イメージタイプ]、[出力設定] を、目的に合わせて設定します。

[原稿種] は実際にセットしている原稿に合わせてください。
出力設定は、[スクリーン /Web] または [プリンタ] を選んだ場合は、用途に応じた最適な解像度が自動設定されます。[その他] を選んだ場合は、目的に適した解像度を入力してください。

3. プレビューします。

[プレビュー] ボタン右にある縦長の ( ) ボタンをクリックし、[サムネイル表示] または [通常表示] を選択します。
[プレビュー] ボタンをクリックします。

4. 取り込みたい複数のコマ、または領域を選択します。

サムネイル表示の場合

プレビューされた画像の一覧から、取り込まないフィルムのチェックを外します。

<u>**通常表示の場合**</u>

取り込みたい領域を選択してください。

「取り込み枠の調整方法」32

5. **通常表示の場合は、取り込み枠をすべて作成し、[全選択]ボタンをクリックしてください。**

6. **[スキャン]ボタンをクリックします。**

   [保存ファイルの設定]ダイアログが表示されます。

7. **表示された[保存ファイルの設定]ダイアログで、[保存先]や[ファイル名]などを設定してください。**

   [保存ファイルの設定]ダイアログでの設定については、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。

後で画像を開く時はこの［保存先］で設定したフォルダを指定しますので、フォルダ名を覚えておいてください。

8. **［OK］ボタンをクリックします。スキャンと保存が連続して実行されます。**

フィルムをインデックス画像として取り込もう

たくさんのフィルムを整理する場合、インデックス画像として保存しておくと便利です。ここでは、プロフェッショナルモードを例にインデックス画像の作り方を説明します。

ポイント

サムネイル表示と通常表示のメリット
プロフェッショナルモードでは、プレビューウィンドウは、サムネイル表示と通常表示があります。サムネイル（インデックス）を作る場合のそれぞれのメリットは以下のとおりです。

- サムネイル表示：任意のコマまたは複数のコマを一括で回転し、天地を揃えて取り込むことができます。
- 通常表示：取り込み枠をコピーできます。

サムネイル表示は 35mm フィルムのみで表示できます。そのほかのフィルムの場合は通常表示でプレビューしてください。

インデックスを作る方法（サムネイル表示の場合）

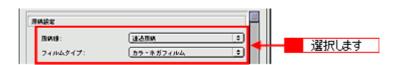
フィルムホルダは合わせる辺と隙間ができないようにセットしてください。少しでも隙間があったり、斜めにセットすると、正しく認識されません。

1. **EPSON Scan を単独起動し、プロフェッショナルモードを選択します。**

   「EPSON Scan の起動方法」21

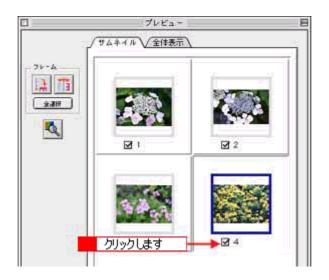
   単独起動の場合、取り込んだ画像は自動的にファイル名を付けて保存されるので便利です。インデックスを作成するときは、取り込み作業を繰り返すので単独起動をお勧めします。

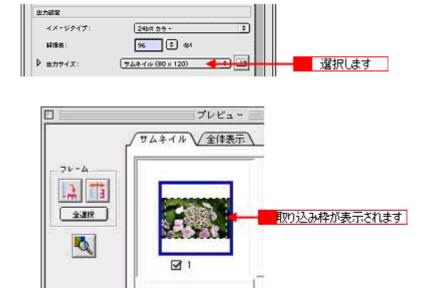
2. **［原稿設定］を原稿に合わせて設定します。**

   ［原稿種］は［透過原稿］を選択してください。
   ［フィルムタイプ］はセットしたフィルムに合わせて選択してください。

3. **解像度を 96 ～ 150dpi 程度に設定します。**

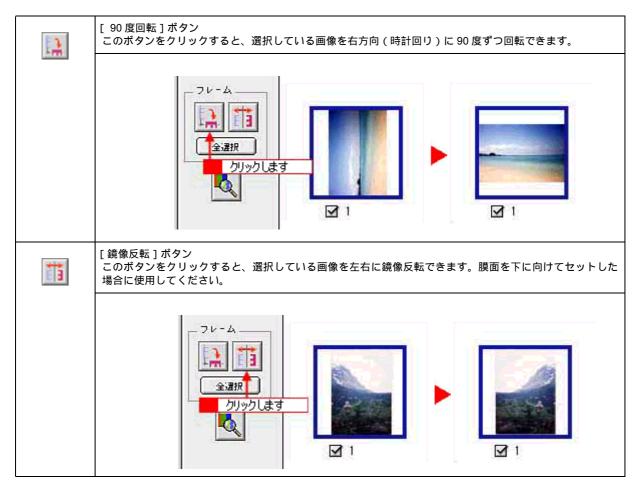
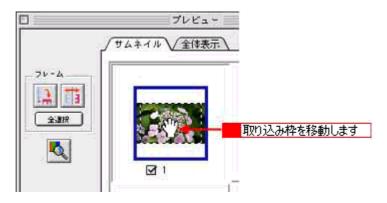
4. **サムネイル表示でプレビューします。**

   ［プレビュー］ボタンの右にある縦長の（ ）ボタンで、［サムネイル表示］を選択し、［プレビュー］ボタンをクリックします。

5. **必要に応じて、プレビューされた画像の一覧から、取り込まないフィルムのチェックを外します。**

6. ［出力サイズ］を選択します。

［出力サイズ］リストで、［サムネイル (80X120)］を選択してください。
現在選択されているコマに、取り込み枠が表示されます。

ポイント

- サムネイルを選択すると、80X120 ピクセルに設定されます。小さすぎる場合は、他のサイズを選択するか、または［ユーザー定義サイズ］で目的のサイズを設定してください。
- サムネイルの方向を変更したい場合は、［ 90 度回転］ボタン、［鏡像反転］ボタンを使用してください。［全選択］ボタンをクリックしてから、［ 90 度回転］ボタン、［鏡像反転］ボタンをクリックすると、すべてのコマの向きを一括で変えられます。

	[90 度回転］ボタン このボタンをクリックすると、選択している画像を右方向（時計回り）に 90 度ずつ回転できます。
	[鏡像反転］ボタン このボタンをクリックすると、選択している画像を左右に鏡像反転できます。膜面を下に向けてセットした場合に使用してください。

7. 取り込み枠を、取り込みたい領域に移動します。

8. 手順 6 と 7 を取り込みたいコマ分繰り返します。

9. ［スキャン］ボタンをクリックします。

   ［保存ファイルの設定］ダイアログが表示されます。

10. 表示された［保存ファイルの設定］ダイアログで、［保存先］や［ファイル名］などを設定してください。

    ［保存ファイルの設定］ダイアログでの設定については、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。

ポイント

- 後で画像を開く時はこの［保存先］で設定したフォルダを指定しますので、フォルダ名を覚えておいてください。
- 保存形式は、圧縮形式の JPEG （拡張子：jpg ）をお勧めします。圧縮品質を選択でき、圧縮率を高くできます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータは復元不可）、さらに保存のたびに劣化するので、用途によっては、JPG 以外の形式で保存してください。詳しくは、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。

11. **［OK］ボタンをクリックします。スキャンと保存が連続して実行されます。**

サムネイルを作る方法（通常表示の場合）

1. **EPSON Scan を単独起動し、プロフェッショナルモードを選択します。**

   「EPSON Scan の起動方法」21

2. **［原稿設定］を原稿に合わせて設定します。**

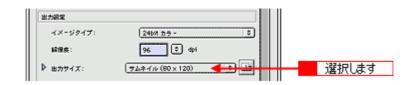
   ［原稿種］は［透過原稿］を選択してください。
   ［フィルムタイプ］はセットしたフィルムに合わせて選択してください。

3. **解像度を 96 ～ 150dpi 程度に設定します。**

4. **通常表示でプレビューします。**

   ［プレビュー］ボタンの右にある縦長の（ ）ボタンで、［通常表示］を選択し、［プレビュー］ボタンをクリックします。

5. **［出力サイズ］を選択します。**

   ［出力サイズ］リスト、［サムネイル (80X120)］を選択してください。
   取り込み枠が表示されます。

ポイント

サムネイルを選択すると、80X120 ピクセルに設定されます。小さすぎる場合は、他のサイズを選択するか、または［ユーザー定義サイズ］で目的のサイズを設定してください。

6. **取り込み枠の大きさを変更して、移動します。**

取り込み枠の大きさをドラッグして変更し、取り込みたいコマの上に移動します。
「取り込み枠の調整方法」32

7. **取り込み枠を、取り込みたいコマ分コピーします。**

プレビュー画面左上のボタンを使って、作成した取り込み枠をコマ分コピーして移動してください。

作成した取り込み枠を削除したい場合は、プレビュー画面左上のボタンを使って削除してください。

8. ［全選択］ボタンをクリックします。

9. ［スキャン］ボタンをクリックします。

［保存ファイルの設定］ダイアログが表示されます。

10. 表示された［保存ファイルの設定］ダイアログで、［保存先］や［ファイル名］などを設定してください。

［保存ファイルの設定］ダイアログでの設定については、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。

ポイント

・ 後で画像を開く時はこの［保存先］で設定したフォルダを指定しますので、フォルダ名を覚えておいてください。

- 保存形式は、圧縮形式の JPEG （拡張子：jpg ）をお勧めします。圧縮品質を選択でき、圧縮率を高くできます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータは復元不可）、さらに保存のたびに劣化するので、用途によっては、JPG 以外の形式で保存してください。詳しくは、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。

11. ［OK］ボタンをクリックします。スキャンと保存が連続して実行されます。

スキャナの最高画質で取り込もう

ここでは、プロフェッショナルモードでの設定を例に、スキャナの最高解像度で取り込む場合の設定を説明します。

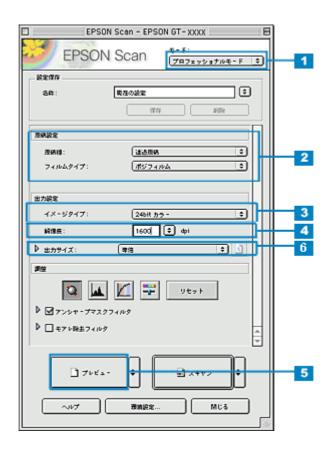
ポイント

- 解像度を数千 dpi まで上げると、データ転送の規格上の制限などにより、取り込み可能サイズに制限が生じます。そのため、エラーメッセージが表示され、取り込みができない場合があります。また取り込みに非常に時間がかかる場合があります。
- 反射原稿を取り込む場合、解像度が高すぎると読み取れない範囲が発生することがあります。

1. **EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。**

   「EPSON Scan の起動方法」21

2. **［原稿設定］を原稿に合わせて設定します。**

   ［原稿種］は実際にセットしている原稿に合わせてください。
   反射原稿の場合は［取込装置］と［自動露出］、透過原稿の場合は［フィルムタイプ］を設定してください。

3. **［イメージタイプ］を選択します。**

4. **解像度を選択します。**

   解像度リストからお使いのスキャナの光学解像度を選択してください。
   光学解像度については、以下の項目（センサ解像度の主走査の値）を参照してください。
   「基本仕様」176

5. **［プレビュー］ボタンをクリックして、原稿をプレビューします。**

   画像の仮取り込み（プレビュー）が実行され、プレビュー画面が表示されます。

6. **［出力サイズ］の設定が［等倍］になっていることを確認します。**

そのほかの設定になっている場合は、[等倍]を選択してください。

ポイント

手順 4 で設定した解像度は、出力解像度（取り込み後の画像の解像度）です。スキャナからの入力解像度を設定した解像度と一致させたい場合は、[出力サイズ]を必ず[等倍]に設定してください。[等倍]以外を選択すると、入力解像度と出力解像度が一致しません。

7. 取り込み枠を指定します。

「取り込み枠の調整方法」32
サムネイル表示でコマが複数ある場合は、調整したいコマをクリックします。

8. [スキャン]ボタンをクリックして、取り込みを実行します。

大量の原稿をスピーディに取り込もう

ここではオプションの ADF（オートドキュメントフィーダ）を使って、大量の原稿をスピーディに取り込む方法を説明します。

ポイント

- ADF から取り込むときは EPSON Scan を単独起動し、オフィスモードを使用して取り込んでください。
  単独起動することによって、取り込んだ画像を自動的に保存できます。また、オフィスモードを使用することによって、簡単な手順で取り込むことができます。オフィスモードの詳細は、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。
  「各画面の説明を見たいときは」165
- ADF 装着時は、プロフェッショナルモードでサムネイル表示はできません。
- ADF 動作中に、ADF 本体を開けたり ADF のカバーを開けたりすると、スキャナ本体がエラーとなり取り込みができません。必ず、閉じた状態でお使いください。

原稿の全領域を連続して取り込む場合

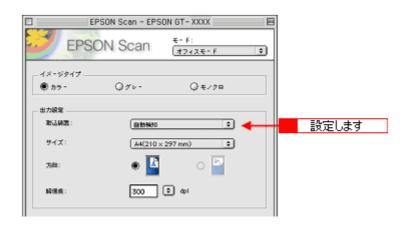
1. **ADF に原稿をセットします。**

   「ADF への原稿セットの仕方」194

2. **EPSON Scan を単独起動し、オフィスモードを選択します。**

   「EPSON Scan の起動方法」21

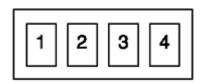
3. **出力設定項目の［取込装置］、［サイズ］、［方向］、［解像度］を原稿や目的に合わせて設定します。**

   ［取込装置］で［自動検知］を選択した場合：
   ADF に原稿がセットされているときは、ADF から原稿の片面を取り込みます。ADF に原稿がないときは、原稿台から取り込みます。

4. **［スキャン］ボタンをクリックして、画像を取り込みます。**

5. **［保存ファイルの設定］ダイアログボックスが表示されるので、保存設定を行います。**

   ［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定してください。
   詳しくは、［保存ファイルの設定］ダイアログのヘルプをご覧ください。

ポイント

- ［保存形式］は、［PDF］または［Multi-TIFF］をお勧めします。PDF または Multi-TIFF を選択すると、連続して取り込んだ全ページが 1 つのファイルとして保存されます。

- PDF を開くには Adobe Acrobat または Acrobat Reader が、Multi-TIFF 形式のファイルを開くには Multi-TIFF に対応したアプリケーションが必要です。
- 後で画像を開く時は、この［保存先］で設定したフォルダを指定しますので、フォルダ名を覚えておいてください。

6. ［OK］ボタンをクリックします。

原稿の一部分を連続して取り込む場合

たとえば伝票の一部分を連続して取り込みたい場合は、次の手順に従ってください。

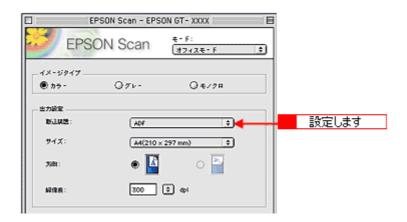
1. ADF に原稿をセットします。

「ADF への原稿セットの仕方」194

2. EPSON Scan を起動し、オフィスモードを選択します。

「EPSON Scan の起動方法」21

3. 出力設定項目の［取込装置］、［サイズ］、［方向］、［解像度］を、原稿や目的に合わせて設定します。

［取込装置］で ADF を選択してください。

4. ［プレビュー］ボタンをクリックして、原稿をプレビューします。

1 番上の原稿が給紙されて画像の仮取り込み（プレビュー）が行われます。プレビューが終了すると排紙されます。

5. 取り込み枠を指定します。

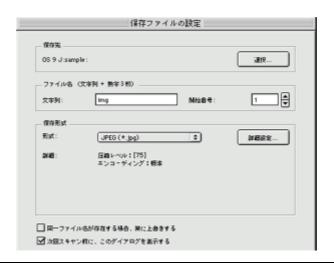
取り込み枠は、1 つだけ設定してください。ADF からの取り込みでは、複数枠の取り込みはできません。
「取り込み枠の調整方法」32

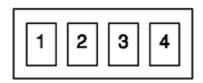
6. 排紙された原稿を順番通りまとめ直し、原稿をすべてセットします。

プレビュー時と同じ向きでセットしてください。

7. ［スキャン］ボタンをクリックして、取り込みを実行します。

8. ［保存ファイルの設定］ダイアログボックスが表示されるので、保存設定を行います。

［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定してください。
詳しくは、［保存ファイルの設定］ダイアログのヘルプをご覧ください。

ポイント

- ［保存形式］は、［PDF］または［Multi-TIFF］をお勧めします。PDF または Multi-TIFF を選択すると、連続して取り込んだ全ページが 1 つのファイルとして保存されます。

- PDF を開くには Adobe Acrobat または Acrobat Reader が、Multi-TIFF 形式のファイルを開くには Multi-TIFF に対応したアプリケーションが必要です。
- 後で画像を開く時は、この［保存先］で設定したフォルダを指定しますので、フォルダ名を覚えておいてください。

9. ［OK］ボタンをクリックします。

取り込んだ画像の活用方法

画像を活用する場合のおすすめの方法

取り込んだ画像を活用したい、そんなときには EPSON Smart Panel を使ってみましょう。目的に合ったアイコンをクリックするだけで、いろいろな活用が楽しめます。

スキャナ前面のスキャナビボタンを押すと EPSON Smart Panel のメイン画面が表示されます。EPSON Smart Panel では、目的のアプリケーションを直接起動し、取り込んだ画像をそのアプリケーションに転送して使用することができます。
スキャナビボタンを押しても EPSON Smart Panel が起動しない場合は以下をご覧ください。
「スキャナビボタンやその他の前面ボタンを押しても動作しない」141

こんなことができます

EPSON Smart Panel を使うと、DPE、コピー、OCR（光学文字認識）、E メールなどの機能が使え、素早く簡単な操作で最適な結果を得ることができます。EPSON Smart Panel の機能については、以下をご覧ください。

アイコン	機能
DPE	EPSON Easy Photo Print を起動します。写真を取り込んで簡単に焼き増し印刷できます。 「写真やフィルムの焼き増しをしよう」113
ファイル保存	取り込んだ画像を任意の形式に変換して、画像やテキストを指定したフォルダに保存します。 「目的に合ったファイル形式で保存しよう」115
PRINT Image Matching ファイル保存・印刷	プリンタの色空間をできる限り活かして写真プリントできるよう、PRINT Image Matching 情報を付加した JPEG ファイル または TIFF ファイルを作成します。 「EPSON プリンタで鮮やかに印刷できる設定で取り込もう」117 ※ PRINT Image Matching 情報を有効にして印刷するには PhotoQuicker などの PRINT Image Matching 対応のアプリケーションと、PRINT Image Matching 対応の EPSON カラリオプリンタが必要になります。PRINT Image Matching についての詳細は以下をご覧ください。 「PRINT Image Matching について」180
コピー	コピーユーティリティを起動します。スキャナ、コンピュータ、プリンタを連携して取り込んだ画像をコピーできます。 「書類や原稿をコピーしよう」121

アイコン	機能
OCR	OCR ソフト（読ん de!! ココ パーソナル）を起動します。文字原稿を取り込んで、原稿上の文字形状を文字と認識してテキストデータに変換できます。 「原稿の文字を修正しよう」123
カード・カレンダー	PhotoImpression を起動します。取り込んだ画像を使って、カードやカレンダーを作成できます。 「お好きな画像でカードやカレンダーを作ろう」125
アプリケーション	画像取り込み後、選択したアプリケーションを起動します。取り込んだ画像を、起動したアプリケーションで自由に使用できます。対応アプリケーションについては、エプソン販売のホームページをご覧ください。（http://www.i-love-epson.co.jp） 「お好きなアプリケーションに取り込もう」127
Eメール	E メールソフトを起動します。画面に従って操作するだけで、画像をメールに添付して送ることができます。 対応メールソフトについては、エプソン販売のホームページをご覧ください。（http://www.i-love-epson.co.jp） 「画像を E メールで送ろう」129
Web	取り込んだ画像をPRINT Image Matching機能を使ってJPEG形式に変換し、Webにアップロードします。 「画像をホームページで公開しよう」131
PDA	画像取り込み後、PDA シンクファイルに変換して、Sync フォルダまたは指定したフォルダにエクスポートします。 「画像を PDA に取り込もう」133

写真やフィルムの焼き増しをしよう

写真として印刷するのに適した設定で原稿を取り込み、印刷することができます。
DPE の詳細は、［?］ボタンをクリックしてヘルプを参照してください。ここでは機能の概要を説明します。

ポイント

- モノクロネガフィルムの場合、DPE 機能は使用できません。
- DPE 機能を使用する場合、EPSON カラリオプリンタが必要です。対応プリンタについては、エプソン販売のホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp/）をご覧ください。

1. **スキャナ前面にあるスキャナビボタンを押して、EPSON Smart Panel を起動します。**
2. **EPSON Smart Panel の［DPE］ボタンをクリックします。**

   以下のダイアログが表示されます。

1	入出力先	写真の取り込みを行う TWAIN 対応機器を選択します。	
		スキャナ	お使いのスキャナが選択されます。
		プリンタ	［プリンタ］ボタンをクリックするとプリンタドライバ一覧を表示します。
2	プレビュー	設定した内容に応じた印刷イメージをプレビュー画面に表示します。	

<table>
<tr><td rowspan="6">3</td><td rowspan="6">詳細設定</td><td colspan="2">DPE で取り込み〜印刷する用紙の種類・サイズの、以下の項目を設定します。</td></tr>
<tr><td>原稿</td><td>取り込み原稿の種類を選択します。</td></tr>
<tr><td>用紙</td><td>印刷する用紙の種類を選択します。</td></tr>
<tr><td>写真サイズ</td><td>印刷する用紙の種類・サイズを選択します。</td></tr>
<tr><td>写真枚数</td><td>印刷する枚数を指定します。</td></tr>
<tr><td>退色復元</td><td>クリックすると、昔撮影して色あせてしまったり、日に当たって変色した古い写真やフィルムの色あいを、元の色に戻すことができます。取り込む画像によっては、この機能は適切に機能しない場合があります。</td></tr>
<tr><td>4</td><td>［印刷］ボタン</td><td colspan="2">写真を取り込み、印刷を実行します。</td></tr>
</table>

目的に合ったファイル形式で保存しよう

ファイル保存では、取り込んだ画像を任意のファイル形式に変換して、テキストや画像をフォルダに保存することができます。ここでは、手順と機能の概要を説明します。

ポイント

PRINT Image Matching 情報を含む画像を保存したい場合は、「ファイル保存・印刷」や「Web」機能を使用してください。

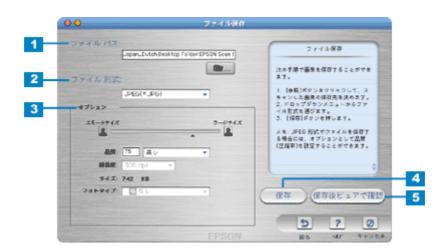
「EPSON プリンタで鮮やかに印刷できる設定で取り込もう」117
「画像をホームページで公開しよう」131

1. **スキャナ前面にあるスキャナビボタンを押して、EPSON Smart Panel を起動します。**
2. **EPSON Smart Panel の［ファイル保存］ボタンをクリックします。**
3. **スキャナが画像の取り込みを開始します。**

   全自動モード以外の場合は、プレビューをしてから、起動した画面の［スキャン］ボタンをクリックします。画像の取り込みが終了したら［閉じる］ボタンをクリックします。

4. **以下の画面が表示されたら、取り込む画像を確認します。**

1	画像インデックス	取り込んだ画像のサムネイルが表示されます。取り込んだ各画像には、頭文字で始まり４桁の番号を伴うデフォルトファイル名がつけられます。 インデックス画面の各サムネイルファイルをダブルクリックすると、取り込んだ画像が以下の「イメージビューア」で表示されます。
2	［新規スキャン］ボタン	新たに原稿を取り込む場合に、クリックします。原稿台にセットされている原稿を取り込みます。
3	［次へ］ボタン	このボタンをクリックすると、確認した画像データで次のステップ（ファイル保存）へ進みます。

5.　画像を保存します。

1	ファイルパス	ファイルの保存先を表示します。［参照］ボタンをクリックして、保存先を選択しなおすこともできます。
2	ファイル形式	保存する際のファイル形式を選択します。
3	オプション	JPEG、PDF 形式でファイルを保存する場合、画像の圧縮率を設定できます。圧縮するとファイルサイズは小さくなりますが、画像が劣化します。
4	［保存］ボタン	設定に従って、ファイルを保存します。
5	［保存後ビュアで確認］ボタン	PhotoQuicker がインストールされていない場合は、保存した先のフォルダを開きます。PhotoQuicker がインストールされている場合は、PhotoQuicker が起動します（Mac OS X を除く）。

EPSON プリンタで鮮やかに印刷できる設定で取り込もう

ファイル保存・印刷では、取り込んだ画像を PRINT Image Matching 機能を使用した JPEG 形式または TIFF 形式に変換して、指定したフォルダに保存できます。
保存したファイルは、PRINT Image Matching 対応のプリンタで印刷できます。

ポイント

- PRINT Image Matching の詳細については、以下の項目を参照してください。
  「PRINT Image Matching について」180
- 「Web」、「カード・カレンダー」でも、PRINT Image Matching 情報を持った JPEG ファイルを保存することができます。「カードカレンダー」機能では、編集ソフトウェアとして、添付の PhotoImpression を使用します。
- PRINT Image Matching 情報が不要な場合は、［ファイル保存］ボタンで画像を保存してください。
  「目的に合ったファイル形式で保存しよう」115

1. スキャナ前面にあるスキャナビボタンを押して、EPSON Smart Panel を起動します。

2. EPSON Smart Panel の［ファイル保存・印刷］ボタンをクリックします。

3. スキャナが画像の取り込みを開始します。

全自動モード以外の場合は、プレビューをしてから、起動した画面の［スキャン］ボタンをクリックします。画像の取り込みが終了したら［閉じる］ボタンをクリックします。

4. 以下の画面が表示されたら、取り込む画像を確認します。

1	画像インデックス	取り込んだ画像のサムネイルが表示されます。取り込んだ各画像には、頭文字で始まり４桁の番号を伴うデフォルトファイル名が付けられます。 インデックス画面の各サムネイルファイルをダブルクリックすると、取り込んだ画像が以下の「イメージビューア」で表示されます。
2	［新規スキャン］ボタン	新たに原稿を取り込む場合に、クリックします。原稿台にセットされている原稿を取り込みます。
3	［次へ］ボタン	このボタンをクリックすると、確認した画像データで次のステップ（ファイル保存）へ進みます。

5. **画像を保存します。**

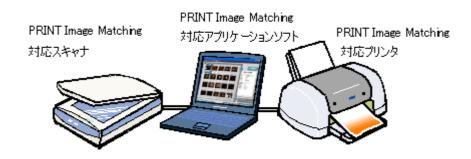
1	ファイルパス	ファイルの保存先を表示します。［参照］ボタンをクリックして、保存先を選択することもできます。
2	ファイル形式	PRINT Image Matching 機能対応の JPEG、TIFF 形式が指定されています。TIFF 形式では圧縮による画像劣化のない、より高画質なプリントを出力できます。

3	オプション	画像の圧縮率を設定できます。圧縮するとファイルサイズは小さくなりますが、画像が劣化します。 また、[フォトタイプ] でシーンに応じた項目を選択すると、取り込んだ画像がフォトタイプに合わせて補正され、より見栄えの良い印刷結果が得られます。 ただし、複数の画像を連続取り込み・保存する場合、ファイル１つ１つに異なる設定をすることはできません。[標準] か [なし] を選択するか、同じシーンの画像ごとにまとめて取り込むことをお勧めします。 [フォトタイプ] 補正効果については以下の通りです。 ・なし：補正は行いません。 ・標準 : 一般的なシーン全般で効果を与えます。 ・ポートレート : 人肌を明るく、ソフトな印象に仕上げます。 ・風景 : 空や緑の印象を強め、鮮やかな風景写真に仕上げます。 ・夕景 : 夕日の色をより印象的にします。 ・夜景 : 全体はやや暗めに、光などの明るい部分は彩度とシャープネスをやや高めます。 ・花 : やや明るくソフトに、色鮮やかに仕上げます。 ・接写 : コントラストとシャープネスを高め、すっきりとした印象に仕上げます。 ・スポーツ : 動きのある被写体のコントラスト、シャープネス、彩度を高め、印象を強めます。 ・逆光 : 逆光により対象物が暗く写ってしまった写真を明るく補正します。 ・紅葉 : 紅葉をより鮮やかな印象にします。 ・記念写真 : やや明るく、シャープネスを高め、はっきりしたスナップショットに仕上げます。
4	[保存] ボタン	設定された値に従って、ファイルを保存します。
5	[保存後ビュアで確認] ボタン	PhotoQuicker がインストールされていない場合は、保存した先のフォルダを開きます。PhotoQuicker がインストールされている場合は、PhotoQuicker が起動します（Mac OS X を除く）。

ポイント

お使いのコンピュータに PhotoQuicker 3.2 以降がインストールされている場合は、ファイルの保存後、PhotoQuicker を起動するかどうかを決めるダイアログが表示されます。「はい」を選択すると、PhotoQuicker が起動します。
PhotoQuicker は、PRINT Image Maching 情報を持った画像ファイルを印刷することのできるアプリケーションです。エプソン販売のホームページからダウンロードすることができます。（http://www.i-love-epson.co.jp）

印刷方法

PRINT Image Matching 機能を使用するときは、スキャナ、プリンタ、アプリケーションソフトが、PRINT Image Matching に対応している必要があります。

対応アプリケーションソフト

EPSON PhotoQuicker などの PRINT Image Matching 対応アプリケーション

EPSON PhotoQuicker は、EPSON インクジェットプリンタなどに同梱されているソフトウェアです。
本スキャナには同梱されていませんが、エプソン販売のホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp/）からダウンロードできます。

対応プリンタ

お使いのプリンタが、PRINT Image Matching に対応しているかについては、プリンタの取扱説明書、およびエプソン販売のホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp/）をご覧ください。

ポイント

- ご利用の EPSON プリンタやデジタルカメラに PRINT Image Matching 機能が搭載されているかどうか、またプリンタやデジタルカメラの使用方法については、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
- PRINT Image Matching 機能を使って印刷するには、PRINT Image Matching に対応したプリンタドライバとアプリケーションを組み合わせて印刷する必要があります。また、用紙の種類によっても PRINT Image Matching 機能の有効 / 無効が切り替わります。詳しくはプリンタの取扱説明書をご覧ください。

書類や原稿をコピーしよう

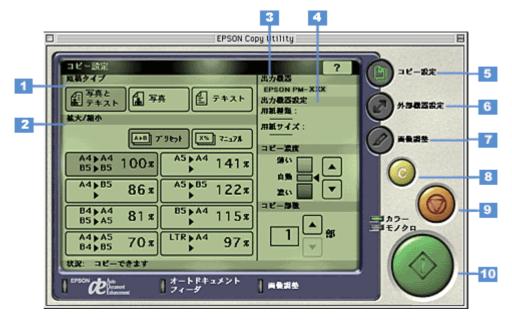
スキャナとプリンタを使用してコピーをすることができます。
コピーユーティリティの詳細は、［？］ボタンをクリックしてヘルプを参照してください。ここでは機能の概要を説明します。

ポイント

コピーユーティリティを使用する場合、EPSON カラリオプリンタが必要です。対応プリンタについては、エプソン販売のホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp/）をご覧ください。

1. **スキャナ前面にあるスキャナビボタンを押して、EPSON Smart Panel を起動します。**

2. **EPSON Smart Panel の［コピー］ボタンをクリックします。**

   以下のダイアログが表示されます。

1	原稿タイプ	コピーを行う原稿の種類を「写真とテキスト」「写真」「テキスト」の中から選択します。	
2	拡大 / 縮小	原稿に対する拡大 / 縮小率を設定します。	
		プリセット	あらかじめ設定してある拡大 / 縮小率を指定できます。
		マニュアル	拡大 / 縮小率を手動で設定できます。
3	出力機器	コピーの出力先（プリンタ）が表示されます。	
4	出力機器設定	コピー出力を行う用紙の種類とサイズが表示されます。	
5	［コピー設定］ボタン	コピーに必要な基本的な設定を実行する画面を表示します。上に表示されている画面が、「コピー設定」画面です。	

6	［外部機器設定］ボタン	このボタンをクリックすると以下の外部機器設定画面が表示されます。この画面では、入力機器と出力機器の設定をします。	
		入力機器	EPSON Smart Panel で設定されている入力機器が選択されます。
		入力カラー	原稿取り込みの色を「カラー」「モノクロ」のどちらかから選択できます。
		出力機器	コピーの出力先（プリンタ）を選択できます。
		印刷プロパティ	選択したプリンタの設定画面を表示します。
7	［画像調整］ボタン	このボタンをクリックすると以下の画像調整画面が表示されます。この画面では、取り込む原稿の色補正を設定できます。	
		Auto Document Enhancement	画像の濃淡を判断するしきい（白黒の境）値を自動的に調整する機能を「On」「Off」のどちらかから選択できます。
		モノトーン効果	取り込む原稿の色調を「セピア」「ブラック」「ブルー」「Off」から選択できます。
		カラー調整	取り込む原稿の「明度」「コントラスト」「彩度」を調整できます。
8	［クリア］ボタン	クリックすると設定値を初期値に戻します。	
9	［中止］ボタン	コピーの開始後に、クリックするとコピーを中止します。	
10	［コピー］ボタン	コピーを開始するボタンです。	

原稿の文字を修正しよう

原稿上の文字をテキストデータとして取り出すことができます。ここでは、手順の概要を説明します。詳細は、読ん de!! ココ パーソナルの取扱説明書（PDF）またはヘルプを参照してください。

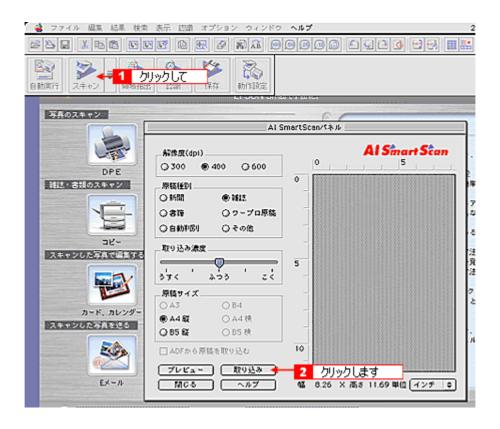
文字認識の流れ

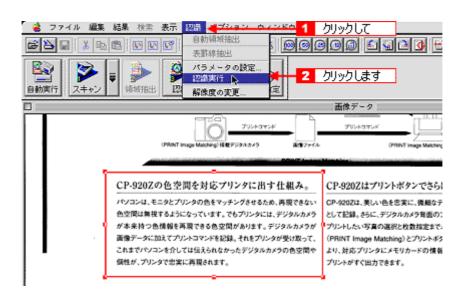
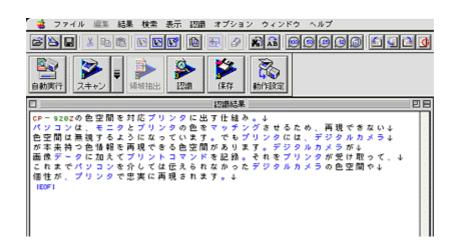
1. **スキャナ前面にあるスキャナビボタンを押して、EPSON Smart Panel を起動します。**

2. **EPSON Smart Panel の［OCR］ボタンをクリックします。**

   読ん de!! ココ パーソナルが起動します。
   オンライン登録をされる方は起動時に表示された画面で、登録を行ってください。

3. **以下の画面が表示されるので［取り込み］ボタンをクリックします。**

   以下の画面が表示されない場合は、［スキャン］ボタンをクリックしてください。

4. **文字認識させる部分を選択します。**

5. ［認識］メニューをクリックし、［認識実行］をクリックします。

6. 認識結果の微調整をします。必要に応じて保存します。

以上で、読ん de!! **ココ パーソナルを使用した文字認識の操作説明は終了です。**

お好きな画像でカードやカレンダーを作ろう

取り込んだ画像を、カードやカレンダーが簡単操作で作成できる PhotoImpression で利用できる状態にします。カード、カレンダー機能の詳細は、［？］ボタンをクリックしてヘルプを参照してください。

1. **スキャナ前面にあるスキャナビボタンを押して、EPSON Smart Panel を起動します。**

2. **EPSON Smart Panel の［カード・カレンダー］ボタンをクリックします。**

3. **スキャナが画像の取り込みを開始します。**

   全自動モード以外の場合は、プレビューをしてから、起動した画面の［スキャン］ボタンをクリックします。画像の取り込みが終了したら［閉じる］ボタンをクリックします。

4. **以下の画面が表示されたら、取り込む画像を確認します。**

1	画像インデックス	取り込んだ画像のサムネイルが表示されます。取り込んだ各画像には、頭文字で始まり 4 桁の番号を伴うデフォルトファイル名がつけられます。 インデックス画面の各サムネイルファイルをダブルクリックすると、取り込んだ画像が以下の「イメージビューア」で表示されます。
2	［新規スキャン］ボタン	新たに原稿を取り込む場合に、クリックします。原稿台にセットされている原稿を取り込みます。
3	［次へ］ボタン	このボタンをクリックすると、PhotoImpression を起動し、取り込んだ画像が編集可能になります。

5. **PhotoImpression を使って編集します。**

   PhotoImression の詳細については、ヘルプを参照してください。ヘルプは、PhotoImpression の画面上から起動することができます。

クリックします
PhotoImpression
写真の取得
編集
作成
保存
印刷
アルバム
フォルダから
カメラ/スキャナ
新規作成
スクリーンキャプチャ
PI4 Sample

お好きなアプリケーションに取り込もう

取り込んだ原稿をどのアプリケーションで利用するかを選択することができます。
アプリケーション機能の詳細は、［？］ボタンをクリックしてヘルプを参照してください。

対応しているアプリケーション

対応しているアプリケーションについて詳しくは、エプソン販売のホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp/）でご確認ください。

1. スキャナ前面にあるスキャナビボタンを押して、EPSON Smart Panel を起動します。

2. EPSON Smart Panel の［アプリケーション］ボタンをクリックします。

3. スキャナが画像の取り込みを開始します。

全自動モード以外の場合は、プレビューをしてから、起動した画面の［スキャン］ボタンをクリックします。画像の取り込みが終了したら［閉じる］ボタンをクリックします。

4. 以下の画面が表示されたら、取り込む画像を確認します。

1	画像インデックス	取り込んだ画像のサムネイルが表示されます。取り込んだ各画像には、頭文字で始まり 4 桁の番号を伴うデフォルトファイル名がつけられます。 インデックス画面の各サムネイルファイルをダブルクリックすると、取り込んだ画像が以下の「イメージビューア」で表示されます。
2	［新規スキャン］ボタン	新たに原稿を取り込む場合に、クリックします。原稿台にセットされている原稿を取り込みます。
3	［次へ］ボタン	このボタンをクリックすると、確認した画像データで次のステップ（アプリの起動）へ進みます。

5. **アプリケーションを起動します。**

1	アプリケーションリスト	編集可能なアプリケーションを検索し、リストを表示します。
2	［設定］ボタン	このボタンをクリックすると、アプリケーションを登録したり、選択したアプリケーションにファイルを送る際に使用されるファイル形式を設定したり、登録したアプリケーションの削除をすることができます。また、アプリケーションリスト（インデックス）に登録されているアプリケーションの順序を変更することができます。
3	［アプリケーションを検索する］ボタン	このボタンをクリックすると、再度画像編集可能なアプリケーションを検索し、リストを表示し直します。
4	［起動］ボタン	このボタンをクリックすると、選択したアプリケーションが起動し、取り込んだ画像を編集できるようにします。

画像を E メールで送ろう

選択した画像を、メールソフトに自動的に添付することができます。E メール機能の詳細は、［？］ボタンをクリックしてヘルプを参照してください。ここでは機能の概要を説明します。
対応メールソフトについては、エプソン販売のホームページをご覧ください。（http://www.i-love-epson.co.jp）

1. **スキャナ前面にあるスキャナビボタンを押して、EPSON Smart Panel を起動します。**

2. **EPSON Smart Panel の［E メール］ボタンをクリックします。**

3. **スキャナが画像の取り込みを開始します。**

   全自動モード以外の場合は、プレビューをしてから、起動した画面の［スキャン］ボタンをクリックします。画像の取り込みが終了したら［閉じる］ボタンをクリックします。

4. **以下の画面が表示されたら、取り込む画像を確認します。**

1	画像インデックス	取り込んだ画像のサムネイルが表示されます。取り込んだ各画像には、頭文字で始まり 4 桁の番号を伴うデフォルトファイル名がつけられます。 インデックス画面の各サムネイルファイルをダブルクリックすると、取り込んだ画像が以下の「イメージビューア」で表示されます。
2	［新規スキャン］ボタン	新たに原稿を取り込む場合に、クリックします。原稿台にセットされている原稿を取り込みます。
3	［次へ］ボタン	このボタンをクリックすると、次のステップ（アプリの起動）へ進みます。

メール送信

1	電子メールシステムリスト	電子メール送信可能なアプリケーションを検索し、リストを表示します。
2	［設定］ボタン	このボタンをクリックすると、電子メールシステムリストの並び順を変更したり、電子メールアプリケーションにファイルを送る際に使用されるファイル形式を設定することができます。
3	［アプリケーションを検索する］ボタン	このボタンをクリックすると、再度電子メール送信可能なアプリケーションを検索し、リストを表示し直します。
4	［起動］ボタン	このボタンをクリックすると、選択した電子メールアプリケーションが起動し、取り込んだ画像が自動的に新規メールに添付され、文字入力待ち状態になります。

ポイント

メールを送信する前に、ファイルサイズを確認してください。ファイルサイズが大きすぎる場合は、［設定］ボタンをクリックして、サイズを小さくしてください。

画像をホームページで公開しよう

インターネット上で使用するのに適した解像度とファイル形式で画像を取り込み、指定のサイトにアップロードすることができます。また、PRINT Image Matching 機能を使用して、保存するファイルに色空間情報を付加します。Web 機能の詳細は、[?] ボタンをクリックしてヘルプを参照してください。ここでは手順と機能の概要を説明します。

ポイント

- PRINT Image Matching の詳細については、以下の項目を参照してください。
  「PRINT Image Matching について」180
- 「EPSON Photo Album」では、会員登録（無料）を行うだけで、誰でもインターネット上で画像を公開することができます。「EPSON Photo Album」を使用するには、「MyEPSON」への登録が必要になります。「EPSON Photo Album」について詳しくは、エプソン販売のホームページをご覧ください。（http://www.epsonphoto.ne.jp）

1.　スキャナ前面にあるスキャナビボタンを押して、EPSON Smart Panel を起動します。

2.　EPSON Smart Panel の［Web］ボタンをクリックします。

3.　スキャナが画像の取り込みを開始します。

全自動モード以外の場合は、プレビューをしてから、起動した画面の［スキャン］ボタンをクリックします。画像の取り込みが終了したら［閉じる］ボタンをクリックします。

4.　以下の画面が表示されたら、取り込む画像を確認します。

1	画像インデックス	取り込んだ画像のサムネイルが表示されます。取り込んだ各画像には、頭文字で始まり４桁の番号を伴うデフォルトファイル名がつけられます。 インデックス画面の各サムネイルファイルをダブルクリックすると、取り込んだ画像が以下の「イメージビューア」で表示されます。

2	［新規スキャン］ボタン	新たに原稿を取り込む場合に、クリックします。原稿台にセットされている原稿を取り込みます。
3	［次へ］ボタン	このボタンをクリックすると、選択したファイルで次のステップ（Scan to Web）へ進みます。

5. 取り込んだ画像をアップロードします。

1	サイト名称（または URL）	取り込んだ画像をアップロードするサイトを選択します。
2	ユーザー ID	サイトに接続するときのユーザー ID を入力します。
3	接続パスワード	サイトに接続するときのパスワードを入力します。
4	ファイルの指定	サイトにアップロードするファイルを表示します。ファイル名、ファイルサイズ、更新日時がそれぞれ表示されます。
5	プレビュー	リスト上で選択されているファイルの縮小イメージ（サムネイルイメージ）を表示します。 複数ファイルが選択されているときは、最上位のファイルを表示します。
6	［ファイル選択］ボタン	このボタンをクリックすると、コンピュータに保存されている画像ファイルをリストに登録することができます。
7	［選択解除］ボタン	このボタンをクリックすると、リスト上のファイル選択を解除できます。
8	［アップロード］ボタン	このボタンをクリックすると、選択したファイルをサイトにアップロードします。

ポイント

- ［アップロード］ボタンをクリックすると、アップロード先のサイト（URL）と［キャンセル］ボタンが表示されます。
- アップロードが完了すると、アップロードを実行する前の画面に自動的に戻ります。

画像を PDA に取り込もう

原稿を PDA（携帯端末）で使用するのに適した解像度とサイズで取り込み、保存することができます。PDA 機能の詳細は、EPSON Smart Panel の［？］ボタンをクリックしてヘルプを参照してください。

PDA との接続について

対応している PDA

以下の機種用のデータを保存することができます。また、対応している PDA の最新の情報はエプソン販売のホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp/）でご確認ください。

Palm	PalmOS Ver3.0 以上
Pocket PC	Microsoft Windows CE Ver.3.0 以上
Zaurus	MI-E1、MI-C1、MI-P1/I-P2 シリーズ、MI-J1、MI-EX1、MI-310

PDA に画像を取り込むまでの流れ

PDA に画像を取り込む場合の流れについて説明します。

1. **携帯端末を接続するコンピュータに接続（シンク）するために必要なアプリケーションをインストールします。**

   Palm をご使用の場合は、「Hot Sync」、Pocket PC の場合は「Active Sync」をインストールします。Zaurus の場合は、PC 接続キットが必要です。

   ポイント
   コンピュータとの接続に必要なアプリケーションは、PDA に添付されています。

2. **コンピュータと PDA をインターフェイスケーブルで接続します。**

   接続の詳細については、PDA の取扱説明書を参照してください。

   ポイント
   PDA 機能を使用するためには、PixExpress というソフトウェアが必要です。PixExpress は、コンピュータと PDA を接続した状態で、EPSON Smart Panel をインストールすると、自動的にインストールされます。インストールの方法は、スタートアップガイド（冊子）を参照してください。

3. **スキャナ前面にあるスキャナビボタンを押して、EPSON Smart Panel を起動します。**

4. **EPSON Smart Panel の［PDA］ボタンをクリックします。**

5. **スキャナが画像の取り込みを開始します。**

   全自動モード以外の場合は、プレビューをしてから、起動した画面の［スキャン］ボタンをクリックします。画像の取り込みが終了したら［閉じる］ボタンをクリックします。

6. **以下の画面が表示されたら、取り込む画像を確認します。**

1	画像インデックス	取り込んだ画像のサムネイルが表示されます。取り込んだ各画像には、頭文字で始まり４桁の番号を伴うデフォルトファイル名がつけられます。 インデックス画面の各サムネイルファイルをダブルクリックすると、取り込んだ画像が以下の「イメージビューア」で表示されます。
2	［新規スキャン］ボタン	新たに原稿を取り込む場合に、クリックします。原稿台にセットされている原稿を取り込みます。
3	［次へ］ボタン	このボタンをクリックすると、選択したファイルで次のステップ（PDA アシスタント）へ進みます。

変換

1	ファイル	取り込んだ画像をリストから選択します。
2	PDA	変換する PDA のタイプを選択します。

3	ユーザー	PDA のユーザー名を入力します。
4	カラータイプ	変換するファイルのカラータイプを「カラー」「グレー」「白黒」から選択します。
5	Sync フォルダー	変換したファイルの保存先を表示します。
6	変換サイズ	変換するファイルのサイズを指定できます。「全てに適用」ボタンをクリックすると、取り込んだ画像すべてに、指定したサイズを適用できます。
7	明るさ	明暗が調整できます
8	コントラスト	明暗の比率を調整できます。
9	［変換］ボタン	このボタンをクリックすると、設定した内容でファイルを変換します。

困ったときは

スキャナ本体の動作確認

スキャナの電源スイッチを押して、ステータスランプが緑色に点灯または点滅しているか確認してください。
スキャナが動かない場合や、ステータスランプが赤色に点灯 / 点滅する場合は、以下の項目をご覧ください。

「電源がオンにならない」137
「電源をオンにすると、ガタガタと音がする / ランプが赤色になった」138

電源がオンにならない

電源スイッチを押してもスキャナが動作しない。こんなときは、次のチェック項目を確認してください。

チェック

電源プラグがコンセントから抜けていませんか？

差し込みが浅かったり、斜めになっていないか確認し、しっかりと差し込んでください。また、壁に固定されたコンセントに電源プラグを差し込んでいるか再度確認してください。

チェック

コンセントに電源はきていますか？

ほかの電気製品の電源プラグを差し込んで、動作するかどうか確認してください。ほかの電気製品が正常に動作するときは、本機の故障が考えられます。

ポイント

以上の２点を確認しても電源が入らない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、『スタートアップガイド（冊子）』の裏表紙の内側をご覧ください。

電源をオンにすると、ガタガタと音がする / ランプが赤色になった

チェック

輸送用固定レバーがロックされた状態になっていませんか？

コンセントを抜いて電源をオフにしてから、輸送用固定レバーを下図のようにスライドさせてください。

チェック

スキャナとコンピュータが正しく接続されていますか？

USB が、スキャナとコンピュータにしっかり接続されているかを確認してください。

ポイント

以上の項目を確認してもエラーが発生する場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、『スタートアップガイド（冊子）』の裏表紙の内側をご覧ください。

スキャナが認識されない

コンピュータがスキャナを認識しない。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

ご利用のコンピュータは Mac OS 8.6 から 9.x または Mac OS X 10.2 以上ですか？

本スキャナは Mac OS 8.6 から 9.x または Mac OS X 10.2 以上で使用できます。

チェック

インストールが不完全な状態で終了している可能性があります。

何らかの原因で、正常にインストールできない、取り込みができないなどの症状が発生した場合は、いくつかの項目をチェックして再度、インストール作業を実行する必要があります。詳しくは、『スタートアップガイド（冊子）』をご覧ください。

ポイント

以上の項目を確認しても症状が改善しない場合は、インフォメーションセンターへご相談ください。インフォメーションセンターのご相談先は、『スタートアップガイド（冊子)』の裏表紙の内側をご覧ください。

取り込みに時間がかかる

取り込みに時間がかかる。こんなときは、次のチェック項目を確認してください。

チェック

画像を高解像度で取り込んでいませんか？

画像を高解像度で取り込む設定にしていると、取り込みに時間がかかります。解像度を下げて、画像を取り込んでください。
適切な解像度がわからないときは、［全自動モード］で取り込んでください。
「解像度について」185

チェック

フィルムを取り込んでいませんか？

フィルムの取り込みでは複雑な画像変換処理が必要なため、反射原稿より時間がかかります。

スキャナビボタンやその他の前面ボタンを押しても動作しない

スキャナビボタンを押してもアプリケーションが何も起動しない。こんなときは、次のチェック項目を確認してください。

チェック

スキャナの準備はできていますか？

電源がオフになっていると、スキャナビボタンを押しても動作しません。必ず電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを押して、電源をオンにしておいてください。

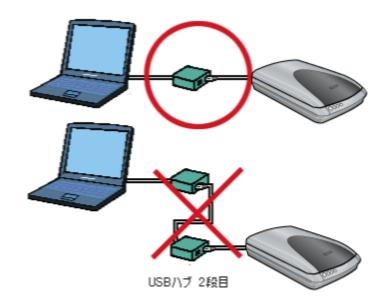
チェック

接続に問題はありませんか？

USB ケーブルをしっかりと接続してください。

チェック

USB ハブをお使いの場合、ハブは 1 段目に接続していますか？

- USB ハブに接続する場合は、必ずコンピュータに直接接続している USB ハブ（1 段目）に接続してください。2 段目以降の USB ハブに接続した場合は、動作保証外となります。
- USB ハブは、USB2.0 に対応しているものをお使いください。USB2.0 非対応のハブをお使いの場合は、USB1.1 として動作します。（USB2.0 と比較してデータ転送速度が遅くなります。）
- Macintosh は USB2.0 に対応していません。
- USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できますが、本機を接続する場合は、コンピュータに直接接続された 1 段目のハブに接続するか、USB ハブを使用しないで、コンピュータに直接接続してください。

なお、USB2.0 での動作については、エプソン販売ホームページでご確認ください。

チェック

EPSON Smart Panel をインストールしていますか？

EPSON Smart Panel は、スキャナビボタンが押されたことを監視して、［コピー］などのさまざまなアプリケーションソフトを起動するソフトウェアです。
『スタートアップガイド（冊子）』を参照し、EPSON Smart Panel をインストールしておいてください。

チェック

EPSON USB Scaner xxxx 機能拡張が使用停止になっていませんか？

コントロールパネルの［機能拡張マネージャ］を開き、EPSON USB Scaner xxxx がチェックされているか確認してください。チェックされていない場合は、チェックして Macintosh を再起動してください。

チェック

お使いのコンピュータおよび OS が、必要なシステム条件を満たしていますか？

お使いのコンピュータおよび OS のシステム条件については、以下の項目を参照してください。
「EPSON Scan のシステム条件」164

チェック

EPSON Smart Panel をインストールしたユーザーがログインしていますか？（Mac OS X のみ）

インストールを行った方以外のユーザーがログインしている場合は、アプリケーションフォルダにある EPSON Scanner Monitor を実行してください。一度 EPSON Scanner Monitor を実行すれば、前面ボタンが使用できるようになります。

チェック

お使いになる OS にのみ、インストールされていますか？

１台のコンピュータに Mac OS X と Mac OS 9 のように複数の OS がインストールされている場合、EPSON Smart Panel は、お使いになる OS どちらか１方にのみ、インストールしてください。

両方の OS にインストールすると、正しく動作しません。

チェック

Classic モードは起動していませんか？

Mac OS X でお使いの場合、Classic モードが起動していると前面のボタンが反応しなくなります。Classic モードを終了させてください。

チェック

インストールが不完全な状態で終了していませんか？

何らかの原因で、正常にインストールできない、取り込みができないなどの症状が発生した場合は、いくつかの項目をチェックして再度、インストール作業を実行する必要があります。詳しくは、スタートアップガイド（冊子）をご覧ください。

ポイント

以上の項目を確認しても症状が改善しない場合は、インフォメーションセンターへご相談ください。インフォメーションセンターのご相談先は、『スタートアップガイド（冊子）』の裏表紙の内側をご覧ください。

スキャナビボタンを押したときの動作が違う

スキャナビボタンを押したときの動作が意図した通りにならない。こんなときは、次のチェック項目を確認してください。

チェック

EPSON Smart Panel をインストールしていますか？

EPSON Smart Panel は、スキャナビボタンが押されたことを監視して、［コピー］、［OCR］などのさまざまなアプリケーションソフトを起動するソフトウェアです。
スタートアップガイド（冊子）を参照し、EPSON Smart Panel をインストールしておいてください。

チェック

EPSON Smart Panel での、スキャナビボタンの設定は意図通りになっていますか？

スキャナビボタン押下後の処理は EPSON Smart Panel がコントロールします。
EPSON Smart Panel でのスキャナビボタンに関する設定を確認してください。

ポイント

以上の項目を確認しても症状が改善しない場合は、インフォメーションセンターへご相談ください。インフォメーションセンターのご相談先は、『スタートアップガイド（冊子）』の裏表紙の内側をご覧ください。

プレビュー画像の色がおかしい

プレビューを実行したときの画像の色あいがおかしい。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

[環境設定］ダイアログの「常に自動露出を実行」のチェックが外れていませんか？

チェックが外れていると自動露出調整が行われないため、露出（明暗）が不適切な画像となり、ぼけているように見える場合があります。

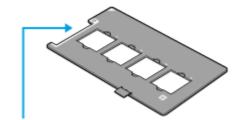
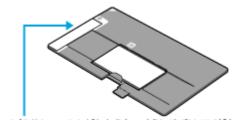
［環境設定］の［カラー］タブで「ドライバによる色補正」を選択して、「常に自動露出を実行」をチェックしておくか、［自動露出］ボタンを使用して調整してください。
ほとんどの場合は適切な露出に調整され、鮮明な画像になります。詳しくは、EPSON Scan のヘルプの「環境設定」をご覧ください。

自動調整で意図通りの結果が得られない場合は、プロフェッショナルモードの［ヒストグラム調整］ダイアログでハイライト / シャドウ / ガンマを調整してください。
「明暗を厳密に調整する方法」56

チェック

フィルムホルダの切り抜き部分に、フィルムがかかっていませんか？

同梱のフィルムホルダの上部には、光量を補正するための切り抜き部分（120/220 フィルムは上部に白い板が貼ってある部分）があります。この部分にフィルムがかからないように正しくセットしてください。

この部分にフィルムがかからないように注意してください

この部分にフィルムがかからないように注意してください

この部分にフィルムがかからないように注意してください

画像がぼけている・細部が良く見えない・ゆがんでいる

取り込んだ画像がぼけていたり、細部が良く見えなかったり、ゆがんでいる。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

取り込み中にスキャナを揺らしていませんか？

スキャナに振動を与えないように気を付けながら、もう一度取り込んでください。

チェック

プロフェッショナルモードの場合、「アンシャープマスク」のチェックが外れていませんか？

メインウィンドウ上のアンシャープマスクのチェックボックスをチェックしてください。

「画像をシャープにする方法」49

チェック

ディスプレイガンマの設定は適切ですか？

ディスプレイはメーカや型番によって、明るさ・コントラスト（明暗の差）が異なります（ガンマ値の設定にバラつきがあります）。そのため、画像をお使いのディスプレイに合わせて最適な明るさで取り込めるよう、［環境設定］の［カラー］タブで「ディスプレイガンマ」の設定を行ってください。

設定は、ご使用のプリンタドライバの設定と一致させてください。印刷しない場合は、1.8 に設定してください。なお、ディスプレイガンマの数値を上げると、自動露出調整後の画像は明るくなります。
［環境設定］ダイアログボックスの詳細については、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。

チェック

原稿自体のピントがずれていませんか？

取り込む原稿自体のピントがずれている可能性があります。プロフェッショナルモードのアンシャープマスクのチェックボックスをチェックしてみてください。

「画像をシャープにする方法」49

ただし、その場合、モアレ（網目状の陰影）が生じるおそれがあります。モアレが生じる場合は、次の項目を参照して対処してください。

「モアレ（網目状の陰影）を取り除く方法」66

チェック

［環境設定］ダイアログの「常に自動露出を実行」のチェックが外れていませんか？

チェックが外れていると自動露出調整が行われないため、露出（明暗）が不適切な画像となり、ぼけているように見える場合があります。

［環境設定］の［カラー］タブで「ドライバによる色補正」を選択して、「常に自動露出を実行」をチェックしておくか、［自動露出］ボタンを使用して調整してください。
ほとんどの場合は適切な露出に調整され、鮮明な画像になります。

チェック

解像度が適切に設定されていますか？

EPSON Scan の機能により、取り込む画像のきめ細かさ (解像度) を設定できます。適切な解像度を設定して取り込んでください。

「解像度について」185

点がいくつか現れるだけで画像にならない

取り込んだ画像が真っ白、影のように点がいくつか現れる。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

スキャナに原稿をセットしてありますか？

スキャナに原稿をセットしてください。原稿をセットしないで取り込むと、保護マットの裏を取り込むため、白い画像になるだけです。

チェック

原稿の取り込む面を下にしてセットしてありますか？

原稿の取り込みを行う面を下にしてセットしてください。

チェック

モノクロ（白黒 2 値）で取り込む場合、しきい値の設定は適切ですか？

プロフェッショナルモード／ホームモードメインウィンドウの「しきい値」の設定を変更してみてください。設定を変更すると線や文字を取り込めるようになります。

「文字原稿／線画の取り込みに適した設定」82

画像が暗い、原稿の裏面が取り込んだ画像に写ってしまう

取り込んだ画像が暗い、原稿の裏の内容まで取り込まれる。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

ディスプレイガンマの設定は適切ですか？

ディスプレイはメーカや型番によって、明るさ・コントラスト（明暗の差）が異なります（ガンマ値の設定にバラつきがあります）。そのため、画像をお使いのディスプレイに合わせて最適な明るさで取り込めるよう、［環境設定］の［カラー］タブで「ディスプレイガンマ」の設定を行ってください。

設定は、ご使用のプリンタドライバの設定と一致させてください。印刷しない場合は、1.8 に設定してください。なお、ディスプレイガンマの数値を上げると、自動露出調整後の画像は明るくなります。自動露出は環境設定ダイアログで設定できます。環境設定ダイアログの詳細は、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。

チェック

［環境設定］ダイアログの「常に自動露出を実行」のチェックが外れていませんか？

チェックが外れていると自動露出調整が行われないため、露出（明暗）が不適切な画像となり、ぼけているように見える場合があります。環境設定ダイアログの詳細は、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。

［環境設定］の［カラー］タブで「ドライバによる色補正」を選択して、「常に自動露出を実行」をチェックしておくか、［自動露出］ボタンを使用して調整してください。

ほとんどの場合は適切な露出に調整され、鮮明な画像になります。

チェック

原稿に裏が透けて見えるほどの薄い用紙を使用していませんか？

原稿の紙が薄いときは、裏面や重ねてある紙の画像が裏写りして取り込まれることがあります。裏写りは、黒い紙や下敷きを原稿の裏側に重ねて取り込むと、改善できる場合があります。

チェック

［原稿種］で［雑誌］または［新聞］、［自動露出］で［書類向き］を選択していますか？

ホームモードの場合は、［原稿種］リストから［雑誌］または［新聞］、プロフェッショナルモードでは、［自動露出］で［書類向き］を選択すると、ハイライト（画像の最も明るい部分）が 255（真っ白）になるように調整されます。そのため、裏写りを防止できます。また、背景地の黄色味などの色かぶりを除去できます。

→「新聞・雑誌の取り込みに適した設定」87

画像にモアレ（網目状の陰影）が生じる

取り込んだ画像に網目状の陰影（モアレ）が生じる。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

［モアレ除去フィルタ］チェックボックスをチェックしていますか？（反射原稿のみ）

［モアレ除去フィルタ］をチェックすると、モアレを防止することができます。
「モアレ（網目状の陰影）を取り除く方法」66

チェック

印刷物などのスクリーン処理された原稿を取り込んでいませんか？

印刷物などは、スクリーン処理がされているため、モアレ（網目状の陰影）が発生しやすい原稿です。モアレを完全になくすことはできませんが、次のいずれかの方法で少なくすることができます。

- EPSON Scan（プロフェッショナルモード）で「アンシャープマスク」のチェックを外して取り込む
- [モアレ除去フィルタ] をチェックして取り込む
- 原稿の向きを変えて取り込み、アプリケーションで本来の向きに回転する
- EPSON Scan のプロフェッショナルモードで「ズーム」の設定を少し変更して取り込む

ポイント

画像取り込みにおけるモアレ
スクリーン処理された印刷物の画像は、ドット（点）の集まりで構成されています。この画像を本スキャナで取り込んだときに、印刷上のドットと取り込み後にできるドットの位置が重なると、モアレが発生します。

アンシャープマスクのチェックを外したり、モアレ除去機能を使用したり、原稿の向きを変えて取り込むことによって、ドットの一致をある程度防ぐことができますが、完全に防ぐことはできません。

印刷におけるモアレ
画像を印刷する場合、画像にコンタクトスクリーンフィルム（配列されている微細な網点）を重ね、網点を抜けた光をとらえることによって、画像の濃淡を網点の大小および密度に変換します。網点は中心部ほど高濃度になっていて、明るい光は小さな点、暗い光は大きな点として抽出されます。網点はハーフトーンスクリーンとも言い、網点の配列される角度をスクリーン角度といいます。

2 色以上で印刷する場合は、それぞれの色ごとにこの処理（スクリーン処理）を行い、印刷時に再び重ね合わせられますが、このときにそれぞれのスクリーン角度が一致（＝網点が重複）すると、モアレが発生します。

画像にむらやシミ、斑点がでる

画像にむらやシミ、斑点がでる取り込んだ画像にむらやシミ、斑点がでる。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

原稿台が汚れていませんか？

原稿台のガラス面は、いつもきれいにしておいてください。

汚れているときは、以下の項目を参照して、お手入れをしてください。
「スキャナのメンテナンス」162

チェック

取り込むとき、原稿を強く押さえ付けていませんか？

原稿は、静かに置いて取り込んでください。

画像を取り込むとき、原稿カバーや原稿を強く押さえ付けていると、原稿台のガラス面に原稿が貼り付いて、ムラや斑点のでることがあります。
また、原稿の種類（紙種）によっても斑点がでる場合があります。その場合は、原稿をセットする場所を変えてみてください。

画像が画面に大きく表示される

取り込んだ画像が必要以上に画面に大きく表示される。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

画像を高解像度で取り込んでいませんか？

通常ディスプレイの解像度は 70 〜 90dpi **しかありません。しかし、アプリケーションによっては、取り込んだ画像データの各画素（画像を構成している細かな点の一つ一つ）を画面の解像度に対応させて表示するものがあります。その場合、高解像度の画像データは大きく表示されますが、アプリケーション上で縮小してご確認いただければ、問題ありません。印刷すると原稿と同じ大きさになります。**

画像の色がセットした原稿と違う

取り込んだ画像がセットした原稿の色あいと異なる。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

[イメージタイプ]を正しく設定していますか？

取り込む原稿の種類や画像の用途に合わせて、「イメージタイプ」を正しく設定してください。

チェック

ディスプレイの表示色数が 256 色以下になっていませんか？

フルカラー（1677 万色以上）のデータを表示させるのであれば、表示色を Windows の場合 High Color（65000 色）以上、Macintosh の場合 32,000 色以上にしなければきれいな表示は得られません。

チェック

[環境設定]ダイアログの「常に自動露出を実行」のチェックが外れていませんか？

チェックが外れていると自動露出調整が行われないため、露出（明暗）が不適切な画像となり、ぼけているように見える場合があります。

[環境設定]の[カラー]タブで「ドライバによる色補正」を選択して、「常に自動露出を実行」をチェックしておくか、[自動露出]ボタンを使用して調整してください。
ほとんどの場合は適切な露出に調整され、鮮明な画像になります。

チェック

ディスプレイの調整はできていますか？

ディスプレイ表示には、ディスプレイやディスプレイアダプタによってクセがあるため、正しく調整されていなければ、取り込んだ画像が適切な明るさ / 色あいで表示されませんし、また印刷結果が予測できません。ディスプレイを正しく調整してください。
「ディスプレイについて」182

チェック

アプリケーションソフトでのモニタ設定をしていますか？

Adobe Photoshop などのフォトレタッチソフトを使用している場合は、フォトレタッチソフト側の[モニタ設定]などで、モニタ（ディスプレイのことですが、多くのフォトレタッチソフトではモニタと表現しています）のキャリブレーションを行ってください。
モニタ設定を行うと、モニタやディスプレイアダプタによるクセをソフト上で取り除き、画像を適切に表示することができます。
詳しい手順については、お使いのフォトレタッチソフトの取扱説明書やヘルプをご覧ください。

ポイント

印刷物とディスプレイの色は一致しない
印刷物は CMY（シアン・マゼンタ・イエロー / 色の三原色）、ディスプレイは RGB（赤・緑・青 / 光の三原色）で色を表現するため、すべての明るさや色あいを完全に一致させることはできません。
自分が最も気になる部分（肌色など）が合うように、EPSON Scan またはフォトレタッチソフトで調整してみてください。

文字原稿の認識率がよくない

OCR ソフト（読ん de!! ココ パーソナルなど）で取り込んだ文字原稿の文字の認識率がよくない。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

原稿が斜めにセットされていませんか？

原稿が斜めにセットされていると、認識率は低下します。まっすぐにセットしてください。また、原稿カバーを閉じる時は、原稿が動かないようにゆっくり閉じてください。

チェック

［イメージタイプ］を正しく設定していますか？

イメージタイプを「モノクロ」に設定し、プロフェッショナルモードの場合は、［モノクロオプション］を「なし」に設定して「しきい値」を調整してください。
しきい値とは、白として取り込む部分と、黒として取り込む部分の明るさの境界を決めるものです。
「文字原稿／線画の取り込みに適した設定」82

それでも認識率が向上しない場合は、OCR ソフト側の補正機能（かすれ補正など）を試してみてください。また、文字のフォントサイズによって認識領域を分けるなどの工夫をしてみてください。詳しくは、OCR ソフトの取扱説明書をご覧ください。

チェック

原稿の品質に問題がありませんか？

文字原稿の認識率は、原稿の状態に左右されます。次の場合、認識率は下がることがあります。なお、手書き文字は認識できません。

- 何度もコピーした原稿（コピーのコピー）
- FAX 受信した原稿
- 文字間や行間が狭すぎる原稿
- 文字に罫線や下線がかかっている原稿
- 草書体、行書体、毛筆体、斜体などのフォントや、8 ポイント未満の小さな文字が使われている原稿
- 折り跡やしわがある原稿
- 本の綴じ込み付近

ポイント

詳しくは、OCR ソフトの取扱説明書をご覧ください。

ディスプレイと印刷結果の色が合わない

せっかくきれいに取り込んだ画像を印刷するとディスプレイと印刷結果の色あいが異なる。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

カラーマッチング技術を使用してみましたか？

Windows の「ICM/sRGB」や Macintosh の「ColorSync」などのカラーマッチング技術を使用してみてください。Windows の場合は、さらに［画面のプロパティ］で、お使いのディスプレイ用のカラープロファイル（色変換用の情報が入っているファイル）を追加しておいてください。

また、印刷に使用するアプリケーションソフトで ICM/sRGB の設定をしておいてください。そうしないと、ICM/sRGB を使用してもディスプレイと印刷結果の色は合いません。
「カラーマネージメントシステムについて」191

チェック

ディスプレイの調整はできていますか？

ディスプレイ表示には、ディスプレイやディスプレイアダプタによってクセがあるため、正しく調整されていなければ、印刷結果が予測できません。ディスプレイを正しく調整してください。
「ディスプレイについて」182

チェック

アプリケーションソフトでのモニタ設定をしていますか？

Adobe Photoshop などのフォトレタッチソフトを使用している場合は、フォトレタッチソフト側の［モニタ設定］などで、モニタ（ディスプレイのことですが、多くのフォトレタッチソフトではモニタと表現しています）のキャリブレーションを行ってください。
モニタ設定を行うと、モニタやディスプレイアダプタによるクセをソフト上で取り除き、画像を適切に表示することができます。
詳しい手順については、お使いのフォトレタッチソフトの取扱説明書やヘルプをご覧ください。

ポイント

印刷物とディスプレイの色は一致しない
印刷物は CMY（シアン・マゼンタ・イエロー / 色の三原色）、ディスプレイは RGB（赤・緑・青 / 光の三原色）で色を表現するため、すべての色を完全に一致させることはできません。また、インクジェットプリンタで印刷する場合、プリンタで表現する画素（インクの粒）はインクの色そのままであるのに対し、ディスプレイは画素 1 つ 1 つの階調を豊富に表現できます。そのため、画像の階調表現力はディスプレイの方が圧倒的に勝ります。

自分が最も気になる部分（肌色など）の色や階調が合うように、EPSON Scan またはフォトレタッチソフトで画質を調整してみてください。

書籍のご案内
「カラーマネージメント！」
カラーマネージメントシステムの使いこなしテクニックが徹底解説されています。モニタキャリブレーションについても詳しく解説されています。
ISBN4-87280-336-1
発行所：株式会社 IDG コミュニケーションズ

全自動モードまたは、サムネイルプレビューでコマが正常に切り出されない

全自動モードまたは、ホーム／プロフェッショナルモードのサムネイルプレビューで、コマが正常に切り出されない。こんなときは、次の項目を確認してください。

チェック

全自動モード、サムネイルプレビューに対応した原稿をセットしていますか？

セットした原稿が、全自動モード、サムネイルプレビューに対応した原稿であるか確認してください。対応している原稿は以下の通りです。

反射原稿の場合（プロフェッショナルモードは除く）：
カラーおよびモノクロの反射原稿（写真、新聞、雑誌、書類、イラスト、線画など）。ただし、サムネイルプレビューの場合は写真のみです。

透過原稿の場合：
35mm ストリップ / マウントされたポジフィルム（全自動モードの場合はカラーフィルムのみ）

ただし、上記の原稿をセットしても、原稿によっては思った通りの結果で取り込まれない場合があります。その場合は、ホームモードまたはプロフェッショナルモードで通常表示を選択して、手動で取り込み領域を指定してから取り込んでください。

チェック

極端に暗い（または明るい）画像をセットしていませんか？

以下のような画像をセットしていると、思った通りの画像を取り込めない場合があります。その場合は、ホームモードまたはプロフェッショナルモードで通常表示を選択して、手動で取り込み領域を指定してから取り込んでください。

- 極端に暗い（または明るい）画像
- 露出がアンダー（またはオーバー）気味に撮影された画像

チェック

原稿台のガラス面にゴミがありませんか？

原稿台のガラス面にゴミ、汚れなどがある場合、コマが正常に切り出せない場合があります。

チェック

スキャナに付属のフィルムホルダを、正しい位置にセットしていますか？

必ず、本スキャナに付属しているフィルムホルダを使用してセットしてください。また、フィルムホルダは合わせる辺と隙間ができないようにセットしてください。少しでも隙間があったり、斜めにセットすると正常に認識されません。

チェック

標準コマとパノラマが混在していませんか？

標準コマとパノラマが混在していると、パノラマが正常に認識されません。パノラマを含むフィルムを取り込む場合は、ホームまたはプロフェッショナルモードで通常表示を選択して取り込んでください。

チェック

ADF を装着していませんか？

ADF 装着時は、プロフェッショナルモードでサムネイル表示はできません。

チェック

正しい原稿種を選択していますか？

原稿種で、セットした原稿に合った原稿種を選択しないと正常に取り込まれません。

チェック

保護マットを外していますか？

透過原稿を取り込む場合は、必ず保護マットを取り外してください。

原稿種で「XX フィルム」または「透過原稿」を選択できない

プロフェッショナルモードの場合、原稿種で「透過原稿」を選択できない、ホームモードの場合、原稿種リストボックスに、ポジフィルム、カラーネガフィルム、白黒ネガフィルムが表示されない。こんなときは、次の項目を確認してください。

チェック

フィルムスキャンユニットケーブルが外れていませんか？

必ず、電源スイッチを押して電源をオフにしてから、フィルムスキャンユニットケーブルをスキャナにしっかりと接続してください。ケーブルがスキャナに接続されていないと、フィルムスキャンユニット（透過原稿ユニット）が使えずフィルムを取り込めません。

「フィルム（透過原稿）のセット方法」10

フィルムの取り込みで画像がおかしい

セットしたフィルムを取り込んでも、ディスプレイに表示される画像が意図しない結果となる。こんなときは、次の項目を確認してください。

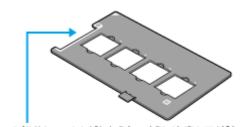
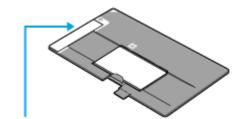
チェック

フィルムを正しくセットしていますか？

フィルムホルダにフィルムを正しくセットしてください。また、原稿台の正しい位置に、フィルムホルダをセットしてください。

「35mm ストリップフィルムのセット方法」13
「35mm スライドフィルムのセット方法」15
「120 / 220（ブローニ）フィルムのセット方法」18

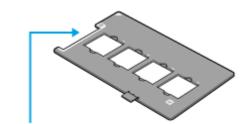
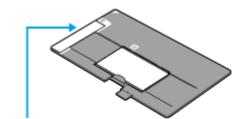
チェック

フィルムホルダの切り抜き部分に、フィルムがかかっていませんか？

同梱のフィルムホルダの上部には、光量を補正するための切り抜き部分（120/220 フィルムは上部に白い板が貼ってある部分）があります。この部分にフィルムがかからないように正しくセットしてください。

ネガフィルムのプレビュー画像が粗い、色がおかしい

ネガフィルム取り込み時に、プレビューに表示される画像が粗い、色がおかしい。こんなときは、次の項目を確認してください。

チェック

フィルムホルダの切り抜き部分に、フィルムがかかっていませんか？

同梱のフィルムホルダの上部には、光量を補正するための切り抜き部分（120/220 フィルムは上部に白い板が貼ってある部分）があります。この部分にフィルムがかからないように正しくセットしてください。

色付きの縞模様が生じる

取り込んだ画像に色付きの縞模様が生じる。こんなときは、次の項目を確認してください。

チェック

フィルムを表裏反対 (膜面をスキャナのガラス側) にして取り込んでみてく ださい。

膜面（取り込む面の反対側）をスキャナのガラス側に向けると、ガラスとフィルム面の間に感光剤の凹凸が入りますので、縞模様が発生しにくくなります。ただしこの場合、画像が鏡像反転しますので、次の方法で本来の向きに戻してください。

35mm **フィルムの場合：**

サムネイル表示でプレビューし、[鏡像反転] ボタンで鏡像反転して取り込む

120/220 **フィルムの場合：**

通常表示でプレビューして取り込み、TWAIN **対応アプリケーションで鏡像反転する**

ポイント

縞模様のことを、ニュートンリングといいます。

ADF 使用時のトラブル（オプション装着時のみ）

［原稿種］または［取込装置］で ADF を選択できない 。こんなときは、次のチェック項目を確認してください。

チェック

ADF のケーブルが外れていませんか？

ケーブルがスキャナに接続されていないと、オプションが使えません。ケーブルを接続してください。

チェック

ホームモードを使用していませんか？

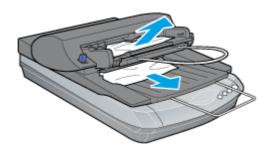
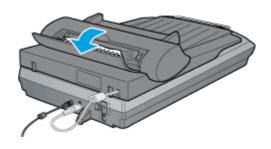
ホームモードは ADF に対応していません。オフィスモードに切り替えて取り込んでください。

ADF で原稿が詰まったときは

ADF で原稿が詰まったときは、次の手順で詰まった原稿を取り除いてください。

1. **スキャナの電源をオフにします。**
2. **紙詰まり解除レバーを手前に引きながら、原稿を少しずつ取り出します。**

3. **原稿をゆっくり引き抜きます。**

   原稿を強く引っ張ると破れるおそれがあるのでご注意ください。

4. **手順 3 までの方法でも取り出せない場合は、ADF のカバーを開けて取り出します。**

原稿を取り除いたら、ADF のカバーを閉じてスキャナをリセットします。
ADF 動作中に、カバーを開けたり ADF 本体を開けたりすると、スキャナ本体がエラーとなり取り込みができません。必ず、閉じた状態でお使いください。

仕様外の用紙は正しく給紙できません。用紙が仕様にあっているか確認してください。
「ADF で使用できる原稿」194

メンテナンス

スキャナのメンテナンス

いつでも快適にお使いいただくために、以下の方法で本スキャナのお手入れをしてください。

本体の清掃

以下の部分が汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた溶液に柔らかい布を浸し、よくしぼって汚れをふきとってから、乾いた布でふいてください。

- 原稿台のガラス面
- 外装ケース
- 保護マット
- 120/220 フィルム用フィルムホルダの白い板の部分

注意

シンナー、ベンジン、アルコールなどの揮発性薬品はケースなどの表面を痛めることがありますので、絶対に使わないでください。
スキャナには絶対に水などがかからないように注意してください。

蛍光ランプが切れたときの対応方法

蛍光ランプが切れたときは、交換修理が必要です。お買い求めの販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、『スタートアップガイド（冊子）』の裏表紙の内側をご覧ください。

故障のとき

スキャナ本体には、お客様自身で修理、交換できる部品はありません。故障のときや調整が必要なときは、お買い求めの販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、『スタートアップガイド（冊子）』の裏表紙の内側をご覧ください。

故障かな ? と思っても、「困ったときは」の内容を確認すれば、解決できることもあります。「困ったときは」の内容を確認してください。
「スキャナ本体の動作確認」136

輸送するときは

本スキャナを輸送するときは、衝撃などから守るために十分に注意して梱包してください。

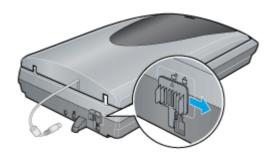
1. **キャリッジがホームポジションにあることを確かめます。**

   通常は、正しく取り込みが終了すると、キャリッジはホームポジションに移動します。

2. **USB ケーブルを取り外します。**

3. **電源スイッチをオフにして、電源をオフにします。**

4. **電源プラグをコンセントから抜き、スキャナ背面のケーブルをコネクタから外します。**

5. **輸送用固定レバーを、下図のようにスライドさせ、キャリッジを固定します。**

6. **梱包材を取り付け、スキャナを梱包します。**

   専用の梱包箱と梱包材を使って、開梱したときと同じ状態で梱包してください。正しく梱包しないと、輸送中に振動や衝撃が加わって故障の原因になります。

本スキャナの輸送時は、上下を逆にしないでください。

ソフトウェア関連情報

EPSON Scan のシステム条件

EPSON Scan を使用するために最小限必要なハードウェアおよびシステム条件は次の通りです。

ポイント

以下の条件をすべて満たす場合にのみご使用いただけます。

USB1.1 の場合

- Mac OS 8.6 以上 /Mac OS 9.x または、Mac OS X 10.2 以上のコンピュータ
- USB インターフェイスを標準装備している機種

USB2.0 には対応していません。（2003 年 4 月現在）
最新の情報はエプソン販売ホームページでご確認ください。

システムソフトウェア	Mac OS 8.6 から 9.x Mac OS X 10.2 以上 （USB インターフェイスを標準装備している機種）
メモリ空き容量	64MB 以上（128MB 推奨） ただし Mac OS X の場合は、128MB 以上
ハードディスク空き容量	インストール時：20MB 実行時：50MB 取り込みを行う画像データによって、さらに多くの空き容量が必要となります。

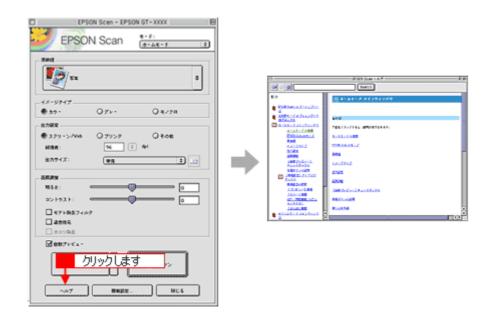
Mac OS X では、複数のユーザーが同時に 1 台のコンピュータを使用することができます（マルチユーザーログイン）。ソフトウェアをインストールするときは、一人（コンピュータの管理者）だけがログインした状態で行ってください

各画面の説明を見たいときは

EPSON Scan の各画面、各項目の説明は、「ヘルプ」をご覧ください。
ヘルプは以下の方法で表示されます。

ヘルプの表示方法 1

EPSON Scan の使用時に、知りたい項目がある EPSON Scan の画面上で、[ヘルプ] ボタンをクリックしてください。

ヘルプが表示されます。

ヘルプの表示方法 2

EPSON Scan ヘルプを直接起動します。

［アップルメニュー］-［EPSON Scan ヘルプ］をクリックして起動します。

Mac OS X の場合は、直接起動はできません。ヘルプの表示方法 1 の手順で表示してください。
「ヘルプの表示方法 1」165

EPSON Scan の削除方法

EPSON Scan を削除（アンインストール）するときは、以下の手順に従ってください。

ポイント

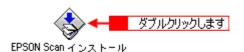
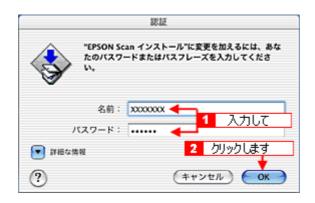
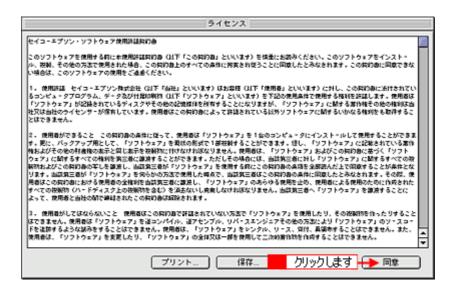
Mac OS X では、複数のユーザーが同時に 1 台のコンピュータを使用することができます（マルチユーザーログイン）。ソフトウェアをアンインストールするときは、一人（コンピュータの管理者）だけがログインした状態で行ってください。

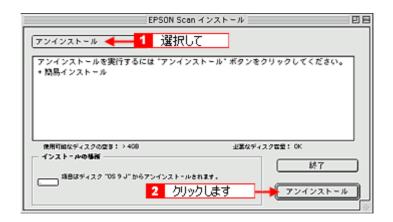
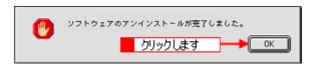
1. **スキャナの電源をオフにするか、またはインターフェイスケーブルを取り外します。**

2. **ソフトウェア CD-ROM をセットします。**

3. **Mac OS X の場合は、［Mac OS X］フォルダをダブルクリックします。**

4. **画面を下の方にスクロールさせ、［EPSON Scan］フォルダをダブルクリックします。**

5. **［EPSON Scan インストール］アイコンをダブルクリックします。**

6. **Mac OS X をお使いの方は、以下の画面が表示されたら、Mac OS にログインしているユーザーの名前とパスワードを入力して、［OK］ボタンをクリックします。**

7. **使用許諾契約の内容を確認し、［同意］ボタンをクリックします。**

8. **メニューから［アンインストール］を選択して、［アンインストール］ボタンをクリックします。**

EPSON Scan の削除が実行されます。

9. **［OK］ボタンをクリックします。**

10. **［終了］ボタンをクリックします。**

以上で削除は終了です。Macintosh を再起動してください。

EPSON Smart Panel

スキャナ前面のスキャナビボタンを押すと EPSON Smart Panel のメイン画面が表示されます。EPSON Smart Panel では、目的のアプリケーションを直接起動し、取り込んだ画像をそのアプリケーションに転送して使用することができます。

EPSON Smart Panel でできること

EPSON Smart Panel は、本スキャナをより快適に活用できるアプリケーションです。取り込んだ画像を、焼き増し印刷したり、文字原稿をテキストデータにしたり、編集することができます。詳しくは以下をご覧ください。
「画像を活用する場合のおすすめの方法」111

起動する機能を設定する

スキャナビボタンを押したときに起動する機能を設定できます。

1. **画面左下の［EPSON Smart Panel］リストから、スキャナビボタンを押したときに起動する機能を選択します。**

2. **選択した機能のアイコンにスキャナビボタンのマークが付きます。**

スキャナビボタンを押すとスキャナビマークの付いた機能が自動的に起動します。

ポイント

ボタンを押しても目的別のアプリケーションが起動しない場合は、以下の内容を確認してください。アプリケーションがインストールされていない場合は、スタートアップガイド（冊子）を参照してインストールしてください。
『スタートアップガイド（冊子）』

- ［カード・カレンダー］が起動できない場合は、PhotoImpression がインストールされているかを確認してください。

- ［OCR］が起動できない場合は、読ん de!! ココがインストールされているかを確認してください。

EPSON Smart Panel の削除方法

EPSON Smart Panel を削除（アンインストール）するときは、以下の手順に従ってください。

1. ソフトウェア CD-ROM をセットします。

2. 画面を下の方にスクロールさせ、[EPSON Smart Panel] フォルダをダブルクリックします。

3. [Japanese] フォルダをダブルクリックします。

4. [Smart Panel Uninstaller] アイコンをダブルクリックします。

EPSON Smart Panel の削除が実行されます。

次の画面が表示されたら、[続ける] ボタンをクリックします。ただし、他のアプリケーションソフトで作業中の文書などがある場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてその文書を保存してください。

以上で EPSON Smart Panel の削除は終了です。

最新スキャナソフトウェアの入手方法

EPSON Scan や EPSON Smart Panel などのスキャナソフトウェアをバージョンアップする際は、エプソン販売のホームページ、および CD-ROM による提供を行います。

入手方法

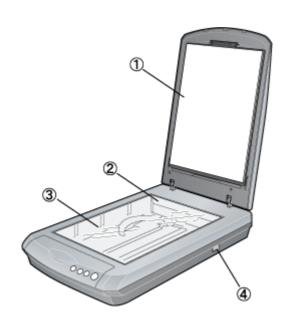
エプソン販売のホームページからダウンロードしてください。
【アドレス】 http://www.i-love-epson.co.jp/guide/scanner/

ダウンロード方法／インストール方法は、ダウンロードするページに掲載されていますので、そちらをご覧ください。

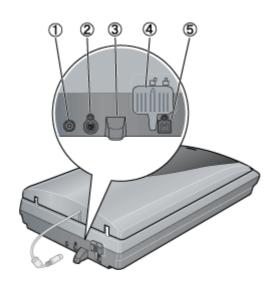
2003年6月現在

その他の情報

各部の名称と働き

前面

1	原稿カバー / フィルムスキャンユニット（透過原稿ユニット）	一枚紙の原稿の時は、閉じて外部の光をさえぎります。 A4 よりも大きい原稿をセットするときは、取り外すこともできます。透過原稿（フィルム）を取り込む場合には、必ず保護マットを取り外してください。
2	キャリッジ	原稿を照射する蛍光ランプと、反射した光を読み取るセンサが付いています。取り込み時に移動します。 取り込み前のキャリッジの待機位置をホームポジションといいます。
3	原稿台	原稿の取り込む面を下にして置きます。
4	電源スイッチ	スキャナの電源をオン / オフします。

<table>
<tr><td>1</td><td></td><td colspan="3">EPSON Smart Panel の Web 機能を起動します。取り込んだ画像をインターネット上で公開することができます。
「画像をホームページで公開しよう」131</td></tr>
<tr><td>2</td><td></td><td colspan="3">EPSON Smart Panel の E メール機能を起動します。取り込んだ画像を、E メールソフトウェアに自動的に添付することができます。
「画像を E メールで送ろう」129</td></tr>
<tr><td>3</td><td></td><td colspan="3">EPSON Smart Panel の DPE 機能を起動します。取り込んだ画像を EPSON インクジェットプリンタを使用して、簡単に印刷することができます。
「写真やフィルムの焼き増しをしよう」113</td></tr>
<tr><td rowspan="6">4</td><td>［スキャナビ］ボタン</td><td colspan="3">EPSON Smart Panel を起動します。
「EPSON Smart Panel」169</td></tr>
<tr><td rowspan="5">ステータスランプ（スキャナビボタンの上部）</td><td colspan="3">スキャナの状態を、色と光で知らせます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ステータスランプ</td><td>スキャナの状態</td></tr>
<tr><td rowspan="2">緑色</td><td>点灯</td><td>取り込みできます</td></tr>
<tr><td>ゆっくり点滅</td><td>準備中または取り込み中です</td></tr>
<tr><td>赤色</td><td>高速点滅</td><td>エラーが発生しました</td></tr>
</table>

背面

1	電源コネクタ	AC アダプタを接続します。
2	オプションコネクタ	フィルムスキャンユニットケーブルまたはオプションの ADF（GT94ADF）を接続します。

3	ストッパ	本体を安定させるための突起です。設置の際は、スキャナ本体より広く平らな面の上に、スキャナ底面の脚、およびストッパが確実に載るように設置してください。
4	輸送用固定レバー	輸送時にキャリッジが動かないように固定するためのレバーです。
5	USB コネクタ	USB（ユニバーサルシリアルバス）ケーブルを接続します。

基本仕様

本スキャナの技術的な仕様について記載します。

ハードウェア基本仕様

機種名	GT-9400UF
型式	卓上型カラーイメージスキャナ
外形寸法	幅 276mm x 奥行 458mm x 高さ 117mm
重量	約 3.8kg
走査方式	読み取りヘッド移動による原稿固定読み取り
画像読み取りセンサ	6 ラインカラー CCD
原稿サイズ	A4、US レター
最大有効領域	216mm x 297mm
最大有効画素	主走査 27,200 画素 x 副走査 37,440 画素（3,200dpi）
センサ解像度	主走査 :3200dpi 副走査 :6400dpi
読取解像度	50 ～ 6400dpi （1dpi 刻みで設定可能）
階調	各色 16bit（入力）/ 16bit（出力）
色分解方式	CCD 上のカラーフィルタによる分解（R・G・B）
インターフェイス	USB2.0
光源	白色冷陰極蛍光ランプ

*　ハードウェア側の仕様です。

電気的特性

電源電圧	定格 AC100V-120V（AC100V ± 10%）
電源周波数	50 ー 60Hz（50 ～ 60Hz）
消費電力	動作時：23W 待機時：19W 低電力モード時：5.5W

適合規格

電磁波障害	VCCI　クラス B
電源高調波	高調波抑制対策ガイドライン適合
省エネ	国際エネルギースタープログラムに適合

環境条件

温度	動作時 : 5 ～ 35 度 保存時 :-25 ～ 60 度
湿度	動作時 :10 ～ 80%（非結露） 保存時 :10 ～ 85%（非結露）

使用条件

塵埃	一般事務所、一般家庭程度 異常にほこりの多いところは避けること
照度	直射日光、光源の近くは避けること

オプション

ADF（オートドキュメントフィーダ）	型番：GT94ADF

原稿条件

反射原稿	写真、印刷物など、表面が滑らかなもの 原稿表面に段差がある場合（台紙に写真を貼ったときなど）、読み取った画像の段差部分に色が付くことがあります 原稿が薄い場合、裏側の画像も裏写りして取り込むことがあります
透過原稿	ネガ、ポジの各フィルムを専用フィルムスキャンユニット（透過原稿ユニット）で取り込む

スキャナビボタンについて

スキャナビボタンを使うと、画像を取り込んだ後、目的のアプリケーションを直接起動し、取り込んだ画像をそのアプリケーションに転送して使用することができます。

ボタンを使ってできること

ボタンを押すと EPSON Smart Panel が起動します。EPSON Smart Panel では、取り込んだ画像をメール送信、カード・カレンダー作成など、さまざまなアプリケーションで利用することができます。
「画像を活用する場合のおすすめの方法」111

	EPSON Smart Panel を起動します。 「画像を活用する場合のおすすめの方法」111
	EPSON Smart Panel の Web 機能を起動します。取り込んだ画像をインターネット上で公開することができます。 「画像をホームページで公開しよう」131
	EPSON Smart Panel の E メール機能を起動します。取り込んだ画像を、E メールソフトウェアに自動的に添付することができます。 「画像を E メールで送ろう」129
	EPSON Smart Panel の DPE 機能を起動します。取り込んだ画像を EPSON インクジェットプリンタを使用して、簡単に印刷することができます。 「写真やフィルムの焼き増しをしよう」113

ポイント

EPSON Smart Panel のコピー、DPE 機能を使用する場合は、EPSON インクジェットプリンタが必要です。

「書類や原稿をコピーしよう」121
「写真やフィルムの焼き増しをしよう」113

PRINT Image Matching について

PRINT Image Matching とは？

PRINT Image Matching は、この機能を搭載したスキャナで読み込んだ画像、または、この機能を搭載したデジタルカメラで撮影した写真を、対応プリンタから簡単に・きれいに印刷するためのシステムです。
PRINT Image Matching 対応のスキャナで画像を読み込んで JPEG ファイルまたは TIFF ファイルで保存したり、あるいは PRINT Image Matching 機能対応のデジタルカメラで撮影すると、プリント指示のためのコマンド（命令）が画像データに付加されます。
プリンタは、このコマンドに従って印刷します。これにより、スキャナで読み込んだ画像の場合は「画像にメリハリを付けて」、デジタルカメラで撮影した写真の場合は「撮影時にデジタルカメラが意図したとおりの最適な色あい」で、印刷できます。
PRINT Image Matching の機能は、カラーマッチングを目指したものではなく、PRINT Image Matching 対応の EPSON プリンタで鮮やかに印刷するための機能です。

どんな効果があるの？

「デジタルカメラの画像を印刷してみたら、思っていたイメージとちょっと違う」というケースがありませんか？それはデジタルカメラとプリンタのマッチングがうまく取れていないからです。PRINT Image Matching は、このようなケースで効果を発揮します。またスキャナの場合は、PRINT Image Matching の効果を積極的に採用することで、印刷結果が生き生きとしてきます。

効果 1（デジタルカメラ / スキャナ）

「色」や「明るさ」の情報をプリントコマンドにしてプリンタに伝えることにより、印刷時の「色」や「明るさ」が最適になります。色の表現力の豊かさを決める「色空間」、色の明るさを決める「プリントガンマ」という画像の品質を決める項目をプリントコマンドで伝達して印刷します。

ガンマ値の違いによる明るさの比較

γ=1.4

γ=1.8

γ=2.2

効果 2（デジタルカメラ）

撮影時の意図が印刷結果に反映されます。
例えば、マクロ写真なら「狙った通りの色鮮やかでくっきりとした画質」で印刷、ポートレート写真なら「やわらかなトーンで美しい肌色」で印刷など、撮影時にデジタルカメラでプリントコマンドが設定されていれば、デジタルカメラの意図したイメージそのままに印刷できます。

シャープでコントラストの高いプリント

軟調で肌色部分を記憶色に補正したプリント

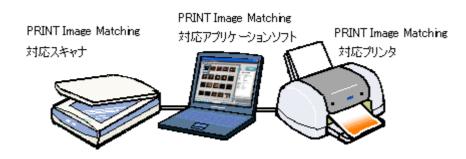
効果 3（デジタルカメラ）

デジタルカメラの個性をプリンタで表現できます。
PRINT Image Matching 機能搭載デジタルカメラと PRINT Image Matching 対応プリンタを組み合わせれば、デジタルカメラが持っている個性を印刷画像に反映できます。これにより、PRINT Image Matching 機能搭載機種によって、あるいはそのカメラの設定によって、プリント画像の色あいに違いが現れます。

ポイント

デジタルカメラ / スキャナ以外には利用できないの？
PRINT Image Matching は、スキャナで読み込んだ画像やデジタルカメラで撮影した画像だけでの利用に限りません。アプリケーションソフトなどの対応が広がっていますので、今後も多くの PRINT Image Matching 対応製品から、より効果的な印刷ができるようになります。

どうやって使うの？

PRINT Image Matching 機能を使用するときは、スキャナ、プリンタ、印刷する用紙、アプリケーションソフトが、PRINT Image Matching に対応している必要があります。

対応アプリケーションソフト

EPSON PhotoQuicker などの PRINT Image Matching 対応アプリケーション

EPSON PhotoQuicker は、EPSON インクジェットプリンタなどに同梱されているソフトウェアです。
本スキャナには、同梱されていません。

対応プリンタ

お使いのプリンタが、PRINT Image Matching に対応しているかについては、プリンタの取扱説明書、およびエプソン販売のホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp/）をご覧ください。

画像の取り込み方法

PRINT Image Matching 機能を使用した、画像の取り込みについては、以下の項目を参照してください。
「EPSON プリンタで鮮やかに印刷できる設定で取り込む方法（PRINT Image Matching）」81

ポイント

- ご利用の EPSON プリンタやデジタルカメラに PRINT Image Matching 機能が搭載されているかどうか、またプリンタやデジタルカメラやの使用方法については、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
- PRINT Image Matching 機能を使って印刷するには、PRINT Image Matching に対応したプリンタドライバと EPSON PhotoQuicker 3.2 以降を組み合わせて印刷する必要があります。また、用紙の種類によってもPRINT Image Matching 機能の有効 / 無効が切り替わります。詳しくはプリンタの取扱説明書をご覧ください。

ディスプレイについて

ディスプレイ上で表示される画像などを、いくつの色数を使って表現するか設定することができます。ディスプレイ、印刷結果ともに、よりきれいに表現するためには［16bit］、［24bit］などの値に設定する必要があります。
ここでは、表示色の設定方法とディスプレイの調整方法について説明します。

ディスプレイの表示色の設定

ポイント
設定できる値や各項目名は、ディスプレイを使用するためのドライバなどの性能によって異なります。詳しくは、お買い求めいただいたディスプレイのメーカーへお問い合わせください。

1. **表示色の設定をする画面を開きます。**

   Mac OS 8.6 〜 9.x の場合は、画面左上のアップルメニューをクリックしてから、［コントロールパネル］-［モニタ］の順にクリックします。
   Mac OS X の場合は、アップルメニューをクリックしてから、［システム環境設定］-［ディスプレイ］をクリックします。

ポイント
すべてのアプリケーションソフトを終了させてから設定することをお勧めします。

2. **表示色を設定します。**

   カラーの一覧から、［色 32000 色］または［約 1670 万色］をクリックして選択します。

3. ［OK］ボタンをクリックして画面を閉じます。

Mac OS X の場合は［OK］ボタンはありませんので、画面を閉じてください。

以上で、設定は終了です。

ディスプレイの調整方法

ディスプレイはその機器ごとに表示特性が異なり、赤っぽく表示するディスプレイもあれば、青っぽく表示するディスプレイもあります。

このように偏った表示をしている状態では、スキャナから取り込んだ画像や Photo CD などの画像を、適切な明るさや色あいで表示することはできません。また、印刷結果も予測できません。そこで、ディスプレイの調整が必要になります。

ポイント

- ディスプレイ調整（モニタキャリブレーション）を本格的に行うためには、非常に手間がかかり、測定機器なども必要になります。ここでは簡易的な調整手順を紹介します。ディスプレイの調整方法については、お使いのディスプレイの取扱説明書を参照してください。
- これらの調整を行うと、一部の明るさや色あいは、原稿または印刷結果に近づけることができますが、すべてを近づけることはできません。最も気になる部分（肌色など）を重点的に調整してください。

1. ディスプレイの電源をオンにして 30 分以上放置し、ディスプレイの表示を安定させます。

   室内の照明環境を一定にします。自然光は避けて、一定の照明条件になるようにフードを装着すると良いでしょう。

2. ディスプレイのカラーバランス（色温度）を調整できる場合は、6500K に調整します。

3. ディスプレイのブライトネス調整を行います。

4. ディスプレイでコントラスト調整ができる場合は、スキャナで取り込んだ画像の色が原稿または本機の印刷結果に近くなるように調整を行います。

5. 調整が終了したら、ディスプレイのダイヤルなどが動かないように固定します。

   これらの調整を行うと、一部の明るさや色あいは、原稿または印刷結果に近づけることができますが、合わない部分もあります。最も気になる部分（肌色など）を重点的に調整してください。

書籍のご案内
「カラーマネージメント !」
カラーマネージメントシステムの使いこなしテクニックが徹底解説されています。モニタキャリブレーションについても詳しく解説されています。
ISBN4-87280-336-1　**発行所：株式会社** IDG **コミュニケーションズ（**1998 **年初版発行）**

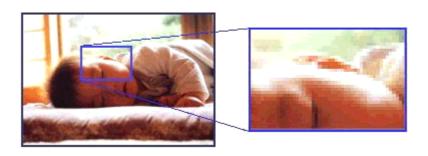
解像度について

より美しい画像を印刷するためには、プリンタの性能に見合った適度な解像度の画像データを用意する必要があります。ここでは、画像データと印刷解像度について説明します。

解像度とは

スキャナで取り込まれた画像は、基本的にすべて点（ドット）の集まりで構成されています。

ですから、この点が多ければ多いほどきめこまかい表現が可能になり、解像度が高いことになります。この解像度を示す単位として通常用いられるのが「dpi」[25.4mm あたりのドット数（Dot Per Inch）] という単位で、これは、25.4mm（1 インチ）当たりにどれだけ点が含まれているかを示しています。

解像度が高い画像は、解像度が低い画像に比べて、より多くの点の集まりで構成されているため、きめの細かい、美しい画像となります。
ただし、解像度が高い画像は、解像度の低い画像に比べて、データの容量が大きくなります。

画像データの解像度と印刷解像度の関係

印刷の設定をいくら高記録解像度に設定して印刷しても、スキャナで取り込んだ画像データの解像度が低ければ思うような印刷結果は得られません。印刷解像度（印刷モード）に応じた画像データが必要です。

基本的には、画像データの解像度を上げれば印刷画質も必然的に向上するわけですが、解像度を上げすぎても、印刷速度が遅くなるだけで大きな画質向上効果は望めません。
「解像度を上げるときれいになる？」51

プリンタ出力解像度に合わせた、適度な解像度のデータを作成してください。

100dpiの画像データ

240dpiの画像データ

ポイント

EPSON インクジェットプリンタの各印刷モード（解像度）で理想的な印刷結果を出力するためには、下表の解像度の画像データをご用意ください。（カラー印刷の場合 ）

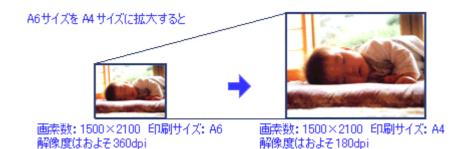
最適な印刷結果が得られる解像度の範囲です。
・印刷解像度の整数分の一倍（例えばプリンタの 1440dpi の 6 分の 1 である 240dpi など）を指定すると、ジャギー（線のギザギザ）が目立たなくなります。
・モノクロ印刷を行う場合は、印刷解像度と同じ解像度の画像データをご用意ください。

印刷モード（品質）	画像データの解像度の目安
	100dpi　200dpi　300dpi　400dpi
ファイン印刷	
スーパーファイン印刷	
フォト印刷	

印刷サイズと解像度の関係

一つの画像データに含まれる点（ドット）の総数を画素数（ピクセル数）と呼びます。画素数は、アプリケーションソフトなどで調整しない限り拡大 / 縮小してもその数は変わりません。

つまり、先程ご説明したように、300dpi の画像データは、そのままのサイズで印刷すれば十分な品質の印刷結果を期待することができますが、拡大印刷すると、画像を構成する点（ドット）も大きくなることで解像度が低下し、好ましい画像品質は得られません。

逆に、画素数の多い画像データを小さなサイズに印刷すれば、解像度は上がりますが、印刷時間がかかるだけで見た目には画像品質の向上は認識できません。

下表は、スキャナによる画像取り込みで生成される画像データの基本的な画素数および画像データ容量（ファイルサイズ）と印刷サイズごとの画像品質の関係を示しています。※ランクの場合は、画像データの解像度をアプリケーションソフトなどで調整する必要があります。

EPSON Scan の解像度設定	原稿サイズ	画素数（ピクセル）	画像データ容量	印刷サイズ			
				A6	A5	B5	A4
300dpi	4 × 6	1200 x 1800	6.2MB	◎	◎	○	○
	A4	2550 x 3600	26.3MB	※	※	※	◎
600dpi	4 × 6	2400 x 3600	24.7MB	※	※	◎	◎
	A4	5100 x 7200	105.1MB	※	※	※	※
1200dpi	4 × 6	4800 x 7200	100MB	※	※	※	※
	A4	10200 x 14000	420MB	※	※	※	※

※オーバースペック：用紙サイズに対して画素数が多すぎます。印刷に時間がかかるだけで、印刷品質の向上は望めません。

◎推奨：用紙サイズに対し理想的な画素数です。高品質な印刷結果を出力できます。

○許容：用紙サイズに対し多少画素数が少なめですが、十分な品質の印刷物を出力できます。

USB について

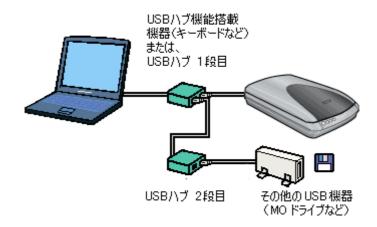
複数の USB 機器を接続する方へ

1 台のコンピュータに、スキャナのほかにも USB 機器を接続して使用する場合は、「USB ハブ」を別途ご用意ください。

ポイント

- USB ハブは、USB2.0 に対応しているものをお使いください。
  USB2.0 非対応のハブをお使いの場合は、USB1.1 として動作します。（USB2.0 と比較してデータ転送速度が遅くなります。）
- Macintosh は USB2.0 に対応していません。

USB 機器がスキャナのみの場合

複数の USB 機器を接続する場合

USB 接続では、マウス / スキャナ / プリンタなどの周辺機器を、1 つのインターフェイスで最大 127 台まで接続することができます。
USB ハブがない場合は、使用したい機器をその都度つなぎ変える必要があり、不便です。

ポイント

USB ハブに接続する場合は、必ずコンピュータに直接接続している USB ハブ（1 段目）に接続してください。2 段目以降の USB ハブに接続した場合、動作の保証は致しかねます。USB ハブについては、コンピュータをお買い上げの販売店にご相談ください。

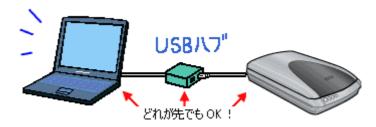
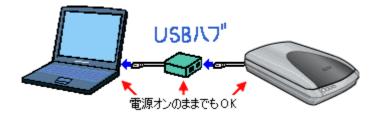
USB ケーブルについて

スキャナとの接続には、同梱の USB ケーブルをお使いください。

タイプ A コネクタ（コンピュータ側）	タイプ B コネクタ（USB 機器側）

USB ケーブルは、コンピュータ側（上位）と USB 機器側（下位）に接続するコネクタの形状が異なります。

USB の基礎知識

- 電源をオン / オフする順序は、USB 機器が先でも、コンピュータが先でも構いません。

- USB 接続では、コンピュータや USB 機器の電源がオンの状態のまま、USB 機器を接続したり、外すことができます。

色について

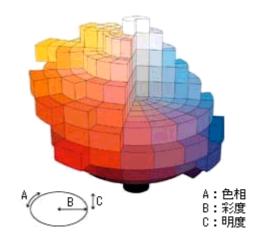
普段、何気なく見ているディスプレイや紙の上で表現される " 色 " にも、さまざまな要素が含まれています。ここでは、カラー印刷の知識の基礎となる、「色」について説明しています。

色の要素

一般に「色」というと赤や青などの色相（色あい）を指すことが多いのですが、色を表現する要素には、色相のほかに彩度、明度という要素があります。

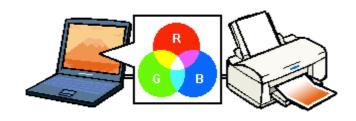
彩度はあざやかさの変化を表す要素で、白みを帯びていない度合をいいます。
例えば赤色の場合、彩度を上げるとより赤くなりますが、彩度を落とすに従って無彩色になっていき、最後はグレーになります。

明度はその字の通り、明るさ、つまり光の強弱を表す要素です。明度を上げればより白っぽく、逆に明度を落とせば暗くなります。

下の図（色立体と呼びます）は円周方向が色相変化を、半径方向が彩度変化を、高さ方向が明度変化を表します。

ディスプレイの発色プロセス＜加法混色＞

色は光によって表現されますが、ここでは、光がどのように色を表現するかを説明します。
例えば、テレビやディスプレイなどを近くで良く見ると、赤（R）、緑（G）、青（B）の 3 色の光が見えます。

これは「光の三原色」と呼ばれるもので、光はこれら 3 色の組み合わせでさまざまな色を表現します。

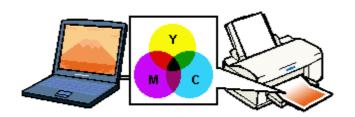
この方法は、どの色も光っていない状態（全てが 0: 黒）を起点に、全ての色が光っている状態（全てが 100: 白）までを色を加えることで表現するため、CRT ディスプレイで表現される色は、加法混色（加色法）と呼ばれます。

プリンタ出力の発色プロセス＜減法混色＞

加法混色で色が表現できるのは、そのもの自らが光を発することができる場合です。しかし多くの場合、自ら光を出すことはないため、反射した光で色を表現することになります。（正確には、当たった光のうち一部の色を吸収（減色）し、残りの色を反射することで色を表現します。）

例えば「赤いインク」の場合、次のようになります。
一般的に見られる「光」の中には、さまざまな色の成分が含まれています。

この光が赤いインクに当たった場合、ほとんどの色の成分がインクに吸収されてしまいますが、赤い色の成分だけは、吸収されずに反射されます。この反射した赤い光が目に入り、その物体（インク）が赤く見えるのです。

このような方法を減法混色（減色法）と呼び、プリンタのインクや絵の具などはこの減法混色によって色を表現します。このとき、基本色となる色は加法混色の RGB ではなく、混ぜると黒（光を全く反射しない色）になるシアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）の 3 色です。この 3 色を一般に「色の三原色」と呼び、「光の三原色」と区別します。

理論的には CMY の 3 色を混ぜると黒になります。しかし一般に印刷では、より黒をくっきりと表現するために黒（BK）インクを使用し、CMYBK の 4 色で印刷します。

出力装置による発色の違い＜ディスプレイとプリンタ出力＞

コンピュータで作成したグラフィックスデータをプリンタに出力するとき、この加法混色と減法混色を考え合わせる必要があります。なぜなら、CRT ディスプレイで表現される色は加法混色であるのに対して、プリンタで表現される色は減法混色であるからです。

この RGB → CMY 変換はプリンタドライバで行いますが、ディスプレイの調整状態によっても変化するため、完全に一致させることはできません。

このように発色方法の違いにより、ディスプレイ上と実際の印刷出力の色あいに差異が生じます。しかし、これらの差異をできる限り合わせこむことが可能です。

スキャナで読み込んだ画像を印刷するときは、原画 （CMY）→ ディスプレイ （RGB）→ 印刷（CMY）の変換が必要になり、さらに一致させることが難しくなります。このような場合の機器間のカラーマッチングの方法をキャリブレーションと呼び、市販のスキャナユーティリティソフトウェアの中にはこの機能があるものがあります。

カラーマネージメントシステムについて

カラーマネージメントシステムとは

スキャナ・ディスプレイ・プリンタは色の表現方法が異なり（光の三原色－ RGB と色の三原色－ CMY)、またメーカー・モデルによる違いがあるため、原画・ディスプレイ表示・印刷物の色を一致（カラーマッチング）させるには測定機器や専門知識などが必要です。

測定機器や専門知識などがなくても、機器間の色合わせを行い、原画・ディスプレイ表示・印刷物の色を近づけるためのシステムの 1 つに、ICM（Windows）または ColorSync（Macintosh）というカラーマネージメントシステムがあります。

Windows 用 EPSON Scan は ICM2.0（sRGB）に対応しています。Macintosh 用 EPSON Scan は、ColorSync2.0 以降に対応しています。
ただし、お使いのディスプレイ（印刷する場合はプリンタ）が ICM または ColorSync 以降に対応していなければ、ICM または ColorSync 以降の機能は利用できません。

ICM ／ ColorSync を使用した取り込みから印刷までの手順

1. **モニタを調整します。詳しくは、以下の項目を参照してください。**

「ディスプレイについて」182

モニタが正しく調整されていなければ、ICM ／ ColorSync を使用しても、またどのようなアプリケーションを使用しても、モニタ表示の色を原稿や印刷物に近付けることはできません。

2. **モニタ用のカラープロファイルをシステムに追加します。手順は次の通りです。**

ColorSync 3.0 の場合を例に説明します。ほかのバージョンをお使いの方は、Mac OS ヘルプをご覧ください。

(1) コントロールパネルの [ColorSync] アイコンをダブルクリックします。

(2) [プロファイル] 画面の [ディスプレイ] リストに、モニタ用のプロファイルが表示されます。これを変更するには、モニタコントロールパネルを開いて [カラー] ボタンをクリックし、リストからプロファイルを選択してください。そのほかの項目は、設定する必要はありません。

ポイント

- Adobe ガンマユーティリティなどを用いて独自のモニタプロファイルを作成している場合は、そのプロファイルを選択しておくとよいでしょう。
- モニタ用のカラープロファイルは、モニタのメーカーから提供されるものです。そのため、以下の内容についてはモニタのメーカーにお問い合わせください。

- お使いのモニタ用のカラープロファイルが提供されているかどうか（提供されていない場合、モニタ表示の色を原稿や印刷物に近付けることはできません）
- 提供されていれば、そのプロファイル名

3. **アプリケーションで、ICM ／ ColorSync をオン にします。**

4. **EPSON Scan の [環境設定] で [ICM ／ ColorSync] を選択し、ソースプロファイルとターゲットプロファイルを設定します。**

5. **画像を取り込みます。**

6. **ICM ／ ColorSync を使用して取り込んだ画像を印刷する時は、プリンタドライバで ICM ／ ColorSync を選択（オン ）します。詳しくは、プリンタドライバの取扱説明書をご覧ください。**

この時、アプリケーションのカラーマネジメント機能はオフにしておいてください（プリンタカラー管理をオンにしてください）。

ユーザーズガイドの削除方法

ここでは、ユーザーズガイドを削除する手順をご説明します。

ポイント

ユーザーズガイドは、コンピュータにインストールされていなくても、添付のソフトウェア CD-ROM からもご覧いただくことができます。

Mac OS X では、複数のユーザーが同時に 1 台のコンピュータを使用することができます（マルチユーザーログイン）。ソフトウェアをアンインストールするときは、一人（コンピュータの管理者）だけがログインした状態で行ってください。

1. ［ハードディスク］のアイコンをダブルクリックします。

ポイント

ハードディスクの名前を変更している場合、アイコンの名前が［Macintosh HD］ではない場合があります。また、インストール時に特定のインストール先を指定した場合は、インストール先のフォルダ（ドライブ）をダブルクリックして開いてください。

2. ［EPSON GT - 9400UF マニュアル］フォルダをゴミ箱に捨てます（ドラッグアンドドロップします）。デスクトップにエイリアスがある場合には、同じようにゴミ箱に捨てます。

以上で削除は終了です。

ADF への原稿セットの仕方

ADF で使用できる原稿

ADF にセットできる用紙は以下の通りです。
写真原稿など特に貴重な原稿は、カールなどで原稿を傷めるおそれがありますので使用しないでください。

セット可能サイズ ※違うサイズの用紙を混載しないこと。	A4、B5、Legal（216 mm × 356 mm）、Letter（216 mm × 279 mm） 不定形紙幅 :85 ～ 216 mm 長さ :127 ～ 356 mm
セット可能枚数	30 枚（55g 紙）、総用紙厚 6mm 以下 （エッジガイドの目盛りを超えてセットしないこと）
紙質	上質紙、再生紙、ボンド紙 、小切手用紙
紙厚（連量）	50 ～ 105kg

注意

以下の用紙は、ADF では使用しないでください。給紙不良または ADF の故障などの原因になります。

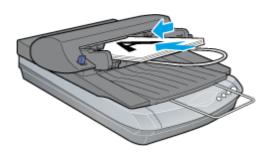
- 折り目、反り（カール）、しわ、破れのある用紙
  （原稿が反っている場合は、反りを直してセットしてください）
- 糊、ホチキス、クリップなどが付いた用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- 貼り合わせ、ラベル紙（裏面糊付）
- ルーズリーフの多穴原稿
- 綴じのある用紙（製本物）
- 裏カーボンのある用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 透明紙（OHP シートなど）、半透明紙、光沢紙

セットの仕方

1. ADF の排紙サポートを引き出します。

2. ADF のエッジガイドを、セットする原稿サイズの目盛りの位置まで広げます。

3. 原稿の取り込む面を上にして、左のエッジガイドを基準にして奥に突き当たるまで差し込みます。

原稿を差し込んだら、右のエッジガイドを原稿にぴったりと当てます。

取り込まれた原稿は、下段のトレーに排出されます。

以上で原稿のセットは終了です。

原稿台から取り込む場合のセットの仕方

ADF 装着時に原稿台に原稿をセットする場合は、以下の方法で原稿をセットしてください。

1. ADF を持ち上げて、開きます。

2. 原稿台に補助シートをセットしてから、原稿をセットします。

全自動モードで取り込む場合は、ADF 原稿マットを必ず取り付けてください。

3. ADF を静かに閉じ、原稿を取り込みます。

ポイント

- 原稿を取り込むときは、ADF を必ず閉じてください。
- 2cm 以上厚い原稿を取り込む場合は、ADF 本体をスキャナから取り外してお使いください。
- 原稿台から原稿を取り込む場合は、EPSON Scan の取込装置は［原稿台] を選択してください。

ADF からの取り込み方法

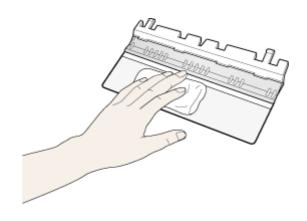
原稿の全領域を連続して取り込む場合

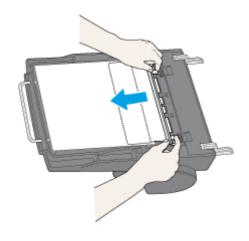
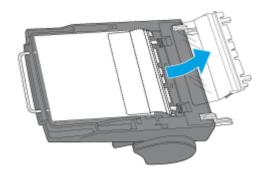
原稿の全領域を取り込む場合については以下をご覧ください。
「原稿の全領域を連続して取り込む場合」107

原稿の一部分を連続して取り込む場合

原稿の一部分を連続して取り込む場合については以下をご覧ください。
「原稿の一部分を連続して取り込む場合」108

読み取りフィルムのお手入れと交換方法

ADF を長時間使用すると、ADF から取り込んだ画像にスジが入ることがあります。この場合は ADF の読み取りフィルムを下図のようにクリーニングしてください。

クリーニングしても、画像にスジが入る場合は、以下の手順に従って予備の読み取りフィルムと交換してください。

1. **スキャナの電源をオフにします。**
2. **オプションケーブルを取り外します。**
3. **用紙サポートを取り外します。**
4. **ADF を本体から取り外します。**
5. **ADF を裏返して、フックを上にあげて引っかかりを外し、フックを押して ADF から外します。**

6. 読み取りフィルムを取り外します。

7. 取り外したのとは逆の手順で、新しい読み取りフィルムを取り付けます。

サービス・サポートのご案内

サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス / サポートをご案内いたします。

カラリオインフォメーションセンター

エプソンプリンタに関するご質問やご相談に電話でお答えします。

受付時間	「スタートアップガイド（冊子）」の裏表紙の内側をご覧ください。
電話番号	

インターネットサービス

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。

エプソン販売 WWW SERVER	http://www.i-love-epson.co.jp

ショールーム

エプソン製品を見て触れて操作できるショールームです。所在地については「スタートアップガイド（冊子）」の裏表紙の内側をご覧ください。

パソコンスクール

エプソン製品の使い方、活用の仕方を講習会形式で説明する初心者向けのスクールです。
カラリオユーザーには ”より楽しく ”ビジネスユーザーには、”経費削減 ”を目的に趣味にも仕事にもエプソン製品を活かしていただけるようにお手伝いします。

お問い合わせ先	「スタートアップガイド（冊子）」の裏表紙の内側をご覧ください。

保守サービス

保守サービスについては、以下のページをご覧ください。
「修理に出すときは」201

MyEPSON のご案内

「MyEPSON」とは、EPSON の会員制情報提供サービスです。

「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設してお役に立つ情報をどこよりも早く、また、さまざまなサービスを各種提供いたします。

ポイント

「MyEPSON 」へのユーザー登録には、インターネット接続環境（プロバイダ契約が済んでおり、かつメールアドレスを保有）が必要となります。

例えば、ご登録いただいたお客様にはこのようなサービスを提供しています。

- お客様にピッタリのおすすめ最新情報のお届け
- ご愛用の製品をもっと活用していただくためのお手伝い
- お客様の「困った！」に安心 & 充実のサポートでお応え
- 会員限定のお得なキャンペーンが盛りだくさん
- 他にもいろいろ便利な情報が満載

すでに「MyEPSON」に登録されているお客様へ

「MyEPSON」登録がお済みで、「MyEPSON」ID とパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いいたします。
追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。
「MyEPSON」への新規登録、「MyEPSON」への機種追加登録は、どちらも同梱の『ソフトウェア CD-ROM』から簡単にご登録いただけます。

ポイント

インターネット接続環境をお持ちでない場合には、同梱のお客様情報カード（ハガキ）にてユーザー登録をお願いいたします。
ハガキでの登録情報は弊社および関連会社からお客様へのご連絡、ご案内を差し上げる際の資料とさせていただきます。
（上記「専用ホームページ」の特典は反映されません。）
今回ハガキにてご登録いただき、将来インターネット接続環境を備えられた場合には、インターネット上から再登録していただくことで上記「専用ホームページ」の特典が提供可能となります。

修理に出すときは

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。
詳細につきましては、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。
保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

保守サービスの受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

お買い求めいただいた販売店	
エプソン修理センター	お問い合わせ先については、「スタートアップガイド（冊子）」の裏表紙の内側をご覧ください。

保守サービスの種類

種類	概要	修理代金	
		保障期間内	保証期間外
持込／送付修理	故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。	無償	基本料 + 技術料 + 部品代 修理完了品をお届けした時にお支払いください。
ドア to ドアサービス	・ 指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。 ・ 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。	有償 （ドアtoドアサービス料金のみ）	有償 （ドアtoドアサービス料金 + 修理代）

通信販売のご案内

EPSON 製品の消耗品・オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソン OA サプライ株式会社の通信販売をご利用ください。

ご注文方法

インターネットで	ホームページ	http://www.epson-supply.co.jp
お電話で	電話番号	0120- 251- 528 （フリーダイヤル）
	受け付け時間	月～金曜日　AM9:00 ～ PM6:15 土曜日　AM9:00 ～ PM5:00 （祝祭日・弊社指定休日を除く）

※電話番号のかけ間違いにご注意ください。

お届け方法

当日発送	営業日 PM4:30 までのご注文受付分は、即日発送手配いたします（在庫分のみ）。	
お届け予定日	本州・四国	翌日
	北海道・九州	翌々日

お支払い方法

代金引換	商品お受け取り時に、商品と引き換えに宅配便配送員へ代金をお支払ください。	
クレジットカード	取り扱いカード	UC 、JCB 、VISA 、Master 、NICOS
コンビニエンスストア 振込み（前払い）	ご注文承り後、注文明細入り見積書と請求書、振込用紙をお送りいたします。 請求書到着後、2 週間以内にお振り込みください。ご入金確認後、商品を発送させていただきます。利用可能なコンビニエンスストアなどの詳細については、上記のホームページまたは電話にてご確認ください。	
銀行振込	法人でのお申し込みに限ります。事前の審査と、ご登録が必要になります。下記にご連絡ください。	
	電話番号	0120-251-528（フリーダイヤル）

送料

お買い上げ金額の合計が 4,500 円以上（消費税別）の場合は、全国どこへでも送料は無料です。4,500 円未満（消費税別）の場合は、全国一律 500 円（消費税別）です。

消耗品カタログの送付

プリンタの消耗品・関連商品のカタログをお送りいたします。カタログの発送につきましては、会員登録が必要になります。入会金、年会費は不要です。詳細については、上記のホームページまたは電話 にてご確認ください。

インターネット FAQ のご案内

インターネット FAQ は、お問い合わせの多い内容を Q&A として、エプソン販売のホームページに掲載しています。
本ガイドの「困ったときは」をご覧いただいても、問題が解決しない、またはわからないことがある場合は、
インターネット FAQ をご覧ください。

ポイント
インターネット FAQ は、インターネットに接続していないと、ご覧になれません。

2003年6月現在

http://www.i-love-epson.co.jp/faq/

付録

用語集

ここでは、スキャナ関連の用語を説明します。

英数字

API（エーピーアイ）

Application Program Interface の略で、アプリケーションソフトとコンピュータ（OS）の仲立ちをするもの。汎用性のある API を定めることによって、周辺装置のインターフェイスが容易に使えるようになる。TWAIN とは、スキャナを制御するための API の規格。

bit（ビット）

binary digit（２進法）の略。コンピュータが扱うデータの最小単位で、0 か 1 で表す。8bit で 0 〜 255、16bit で 0 〜 65,535 の数値（デジタルデータ）を表すことができる。本スキャナおよび EPSON Scan は各色 16bit での出力が可能なので、赤（R）・緑（G）・青（B）それぞれ 65,536 階調、トータルで約 281 兆 5 千億色の表現力がある。

I/O（アイオー）ポートアドレス

コンピュータと周辺装置との間で情報をやりとりするために複数の出入り口があるが、それを区別するためにつける番号のこと。キーボード、マウスなどにはあらかじめ番号が割り当てられているが、双方向パラレルなどのボードを新たに接続する場合は、これらと重複しないように番号を設定する必要がある。ハードウェア間で I/O ポートアドレスが重複すると、正常な動作ができなくなる。

PDA（ピーディーエー）

Personal Digital Assistant の略。携帯端末装置の意。

PDF（ピーディーエフ）

Portable Document Format の略。電子形式書類の一種で、Acrobat Reader という無料ソフトによって閲覧できる。

PRINT Image Matching（プリントイメージマッチング）

PRINT Image Matching は、この機能を搭載したスキャナで読み込んだ画像、または、この機能を搭載したデジタルカメラで撮影した写真を、対応プリンタから簡単に・きれいに印刷するためのシステム。
PRINT Image Matching 対応のスキャナで画像を読み込んで JPEG ファイルまたは TIFF ファイルで保存したり、あるいは PRINT Image Matching 機能対応のデジタルカメラで撮影すると、プリント指示のためのコマンド（命令）が画像データに付加される。

readme（リードミー）ファイル

ソフトウェアが納められている CD-ROM などに保存されている文書ファイルで、使用上の制限など、読んでほしい内容が書かれている。

TWAIN（トウェイン）

スキャナを制御するソフトウェアのための、アプリケーションインターフェイス（API）の規格。取り込みソフトウェア自体も TWAIN と呼ばれる。

付属の EPSON Scan は、この TWAIN 規格に対応しているので、各種 TWAIN 対応ソフトから画像を直接取り込むことができる。

USB（ユーエスビー）

Universal Serial Bus の略で、中速、低速向けのシリアルインターフェイスの規格の 1 つ。
コンピュータやプリンタなどの接続機器の電源が入ったまま、ケーブルの抜き差しができる。また、「USB ハブ」という機器を使用することで、規格上、同時に 127 台までの USB 対応機器を接続することができる。
USB2.0 の特徴はデータ転送速度の理論値が最大 480Mbps と、USB1.x の 12Mbps より 40 倍高速なことである。
また、今までの USB1.x と互換性があり、ケーブルやコネクタは同じものが使用可能である。

120/220

中型カメラ（主にプロのカメラマンが使用）に使われる、幅 60mm のロール・フィルム。一般的なフィルムは 35mm。120/220 フィルムは、中判またはブローニ判（brownie）とも言う。

アイウエオ

アンシャープマスクフィルタ（Unsharp Mask Filter）

画像にかける輪郭強調のフィルター。通常画像を縮小すると、周りの画素の情報を取り込んで縮小化されるために、画像が相対的にぼけて見える傾向がある。それを修正するために、画像に対して輪郭強調をかける処理。

印刷線数（Screen Ruling）

スクリーン線数とも言う。画像を印刷する場合、画像にコンタクトスクリーンフィルム（配列されている微細な網点）を重ね、網点を抜けた光をとらえることによって、画像の濃淡を網点の大小および密度に変換する（網点は中心部ほど高濃度になっており、明るい光は小さな点、暗い光は大きな点として抽出される）。

網点が約 25.4mm ｛1 インチ｝ の幅に何列あるかを線数といい、単位は lpi（line per inch）で表す。線数が多いほど、画像を精細に印刷できる。

一般に、高画質なハーフトーン画像を出力するには、画像解像度を、出力に使用するスクリーン線数の 2 倍にすると良い。

解像度（resolution）

解像度には、［印刷解像度］と［画像解像度］と［表示解像度］などがある。

印刷解像度：
例えばカラーインクジェットプリンタでは、用紙にインクの粒を吹きつけて印刷（画像を表現）する。このインクの粒が約 25.4mm ｛1 インチ｝ 幅にいくつあるかを［印刷解像度］といい、単位は dpi（dot per inch）で表す。インクの粒が多いほど、画像はより精細になるが、印刷に時間がかかる。

画像解像度：→画像を取り込むときに、EPSON Scan で設定する解像度
画像データ自体を構成する画素（点）が約 25.4mm ｛1 インチ｝ 幅にいくつあるかを表すもので、単位は印刷解像度と同じく、dpi（dot per inch）で表す。画素数が多いほど画像はより精細になるが、データ量が多くなるため画像の取り込み／保存／読み込みなどに時間がかかり、また多くのメモリを必要とする。

取り込む画像の解像度は 50 ～ 12800dpi まで設定可能だが、画像をプリンタで印刷する場合、画像解像度を必要以上に高く設定しても印刷品質は向上しない。

表示解像度：
画像をコンピュータのディスプレイに表示したときに、どのくらいの大きさで表示されるかを表したもので、単位はピクセル（またはドット）。ディスプレイ自体の表示能力を表すときも表示解像度を用いる。

階調（gradation）

自然界の光は明から暗まで無段階にあるが、そのままではコンピュータで処理できないので、明暗を有限な段階に区切ってデータ処理する。その各段階の濃度を階調という。

区切りの数を階調数と言う。フルカラーでは、赤（R）・緑（G）・青（B）それぞれ 256 階調（8bit）、トータル 16,777,216 色（24bit）になる。階調の数値が高いほど画像は精細になるが、データ量が多くなるためコンピュータでの処理に時間がかかり、また多くのメモリを必要とする。

画素（pixel）

画像が細かい点で構成されているとみなしたとき、それぞれの点のことを画素と言う。コンピュータでは、画素をデータに置き換えて処理する。1 画素を何ビットで表現するかにより、画像の色数や階調数が決まる。

ガンマ（gamma）

画像の中間調（ミッドトーン）の明暗（濃度特性）を調整する機能。ガンマを調整することにより、暗い部分（シャドウ）や明るい部分（ハイライト）に大きな影響を与えずに、中間部分の明るさの値を変更することが可能。

キャリッジ（carriage）

原稿を照射する蛍光ランプがついており、取り込み時に移動する。取り込み前のキャリッジの待機位置をホームポジションという。

クリップボード（clip-board）

ソフトウェア間でデータを交換するときに、データを保存する場所のこと。メモリを使用する。

原色（primary color）

スキャナのカラー取り込みや CRT ディスプレイのカラー表示は、赤（R）、緑（G）、青（B）の光の三原色で行う。これに対し、プリンタの出力や印刷インクによる色表現は、シアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）の色の三原色で行う。それぞれの原色は互いに補色の関係にある。プリンタや印刷機の出力では、黒色を正確に表現するために黒（K）も使用する。

自動露出 (Auto Exposure)

原稿を自動解析して最適な読み取りに設定する機能。

ストリップフィルム（strip film）

一般の 35mm フィルム（ネガ / ポジ）を 6 枚切りにしたフィルムのこと。

ズーム（zoom）

画像を再現したときに、原稿に対して拡大または縮小されるように取り込む機能。指定した解像度に対して、ズームの分だけ、読み取る画素数が増減するので、同じ解像度の出力機器で再現したときに、結果として拡大または縮小される。

スライドフィルム（Slide film）

スライド用に、ポジフィルムを 1 枚ずつ切ってプラスチックなどの枠にはさんだもの。マウントフィルム（mounted film）ともいう。

走査（scan）

スキャナは、原稿に光を当てて反射光を読み取り、画像などを構成する最小単位の画素に分割し、分解フィルターで色分解を行い、その色の濃淡を電気信号に変換する。この処理を走査という。

またスキャナは、横方向にセンサを並べ、それを縦方向に動かすことにより平面な原稿を読み取っていくが、横方向の読み取りを主走査（main scan）、縦方向の読み取りを副走査（sub scan）という。主走査、副走査を交互に繰り返すことにより、原稿を読み取っていく。

チェックボックス（check box）

項目（機能）の有効 / 無効を設定するための四角いマーク。マウスでクリックすることにより、有効 / 無効を切り替えることができる。

ドラッグ（drag）

マウスボタンを押したまま、マウスを動かしてアイコンなどを移動すること。コピーなどの操作で使用する。

ニュートンリング（newton ring.）

透過原稿（フィルム）の取り込みで発生する、光学的な現象。シャボン玉の表面に見える虹と同じ原理で、非常に薄い 2 層の膜があるところに発生する。（ニュートンリングは干渉縞とも言い、光の干渉で発生する）

フィルムを表裏反対（膜面をスキャナのガラス側）にして取り込むと、ガラスとフィルム面の間に感光剤の凹凸が入るため、ニュートンリングが発生しにくくなる。

濃度補正（tone correction）

濃度はトーンともいう。スキャナで取り込んだ画像の濃度データを、トーン曲線に合わせて補正し、出力データとする機能。シャドウ、ミッドトーン（中間調）、ハイライトへと変化していくトーン曲線を補正することで、画像全体の濃度をバランス良く仕上げることができる。

ハイライト、シャドウ（Highlight, Shadow）

ハイライトは最も明るい部分、または画像の最も明るくしたい部分。シャドウは最も暗い部分、または画像の最も暗くしたい部分。

ピクセル（Pixel）

解像度（表示解像度）を参照。

ヒストグラム（Histogram）

画像の黒（0）～白（255）までのデータ分布（ピクセル数）をグラフで表したもの。ヒストグラムによって。画像の本来白であるべき部分が白くなっているか、黒であるべき部分が黒になっているか、などを確認できる。

EPSON Scan の［ヒストグラム調整］ダイアログでは、ヒストグラムを見ながらハイライトポイントやシャドウポイントなどを指定し、画像の明暗を最適化することができる。

ベース面（base side）

フィルムの、光沢のある面。反対側を膜面と言い、こちらに感光剤が塗布されている。（膜面は、乳剤面またはエマルジョン面ともいう）

膜面（emulsion side）

ベース面の説明を参照。

メモリ（memory）

データを一時的に保存する部分。例えば、ソフトウェア自体はハードディスクに保存されているが、起動するとメモリに読み込まれ、ここでさまざまな処理が行われる。ハードディスクは保存領域、メモリは作業領域と言える。

画像取り込みにもメモリを使用するため、メモリの容量が少ないと、データが収まらずにエラーが発生することがある。

モアレ（moire）

印刷におけるモアレ：
画像を印刷する場合、画像にコンタクトスクリーンフィルム（配列されている微細な網点）を重ね、網点を抜けた光をとらえることによって、画像の濃淡を網点の大小および密度に変換する（網点は中心部ほど高濃度になっており、明るい光は小さな点、暗い光は大きな点として抽出される。網点はハーフトーンスクリーンとも言い、網点の配列される角度をスクリーン角度という）。

2 色以上で印刷する場合は、それぞれの色ごとにこの処理（スクリーン処理）を行い、印刷時に再び重ねられるが、このときにそれぞれのスクリーン角度が一致（＝網点が重複）すると、モアレが発生する。

スキャナでの画像取り込みにおけるモアレ：
スクリーン処理された印刷物の画像は、ドット（点）の集まりで構成されている。この画像をスキャナで取り込んだときに、印刷上のドットと取り込み後にできるドットの位置が重なると、モアレが発生する。

アンシャープマスクのチェックを外したり、モアレ除去を ON にしたり、原稿の向きを変えて取り込むことによって、ドットの一致をある程度防ぐことができるが、完全に防ぐことは難しい。

本ガイドの見方／印刷方法

ここでは、本ガイドの使い方を記載しています。

本ガイドの内容をすべてご覧になりたいときは

本ガイドを起動したときに最初に表示される画面（トップページ）には、本機の基本操作、便利な取り込み機能などを表示しています。本ガイドのすべての内容をご覧いただく場合には、画面右上の［もくじ］をクリックしてください。本ガイドのもくじ（内容一覧）が表示されます。

表示される文字サイズが小さいときは

表示される文字サイズが小さくて本ガイドがご覧になりにくい場合には、ご使用のブラウザの機能を使って文字サイズを変更することができます。文字サイズの変更方法はブラウザの種類やバージョンにより異なりますので、詳細は各ブラウザのヘルプなどをご覧ください。

ポイント

ここでは、Microsoft Internet Explorer の場合を例にご説明します。

1. **［表示］メニューをクリックし、［文字の拡大］（フォントサイズ）をクリックすると文字サイズの一覧が表示されます。**
2. **現在の文字サイズより、大きな文字サイズをクリックします。**

本ガイドを印刷するときは

本ガイドを印刷する場合に、いくつかの注意点があります。

- 本ガイドは、ブラウザでの表示を前提として制作してあります。
- 本ガイドを印刷した場合、本文中の表示用のオブジェクトなどが、正しく印刷されない場合があります。
- 本ガイドが複数ページに渡って印刷される場合、ページの上下で画像や文章が印刷されない個所が発生することがあります。
- ページの右側が印刷されずに切れてしまう場合は、ブラウザの［ファイル］メニュー内の［ページ設定］にて、左右の余白を 10 ミリ以下に設定してください。
- ページ上の背景色などが印刷できない場合は、［印刷］画面下の「背景をプリント」にチェックを付けて印刷してください。

Internet Explorer4.5 で印刷する場合のご注意

以下のように設定を変更して、印刷してください。

1. **［ファイル］メニューの［用紙設定］をクリックします。**
2. **表示される［用紙設定］画面の「拡大 / 縮小率」の設定を、80%程度にします。そのほかの項目も確認し、［OK］ボタンをクリックします。**
3. **［ファイル］メニューの［プリント］をクリックします。**
4. **表示される［印刷］画面の下にあるチェックボックスの設定を確認します。**
「プリント領域外の部分はプリントしない」または「プリント領域外の部分を別ページにプリントする」のどちらかをチェックします。

［ページを縮小する］をチェックして印刷すると、印刷が始まらない場合があります。

5. そのほかの項目も確認し、［印刷］ボタンをクリックします。

本文中で使用している記号について

本文中で使用しているマークには、次のような意味があります。

⚠注意	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。
注意	製品注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本体が損傷する可能性が想定される内容を示します。
ポイント	ポイント	お取り扱い上、必ずお守りいただきたいこと（操作）、知っておいていただきたいことを記載しています。必ずお読みください。

各アイコン、ハイパーリンクについて

本文中で使用しているアイコンや表示には、次のような意味があります。

トップページに戻る	トップページに戻る	本ガイドの最初のページ（トップページ）を表示します。
もくじ	もくじ	本ガイドのもくじ（内容一覧）を表示します。
用語集	用語集	本ガイドで使用している難しい用語の解説集を表示します。
索引	索引	索引のページを表示します。
<< 前へ	前へ	現在表示している画面の前のページにジャンプします。
>> 次へ	次へ	現在表示している画面の次のページにジャンプします。
	参照	関連したページへジャンプします。

商標・表記について

商標について

- EPSON Scan はセイコーエプソン株式会社の商標です。
EPSON Scan is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- Adobe、Adobe Photoshop、Adobe Photoshop Elements、Acrobat は Adobe Systems Incorporated の各国での商標または登録商標です。
- IBM PC、DOS/V、IBM は International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
- Apple の名称、Macintosh、PowerMacintosh、AppleTalk、EtherTalk、漢字 Talk、TrueType、iMac、Mac OS、ColorSync および FireWire は Apple Computer,Inc. の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows および Internet Explorer は米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Netscape, Netscape Navigator, Netscape ONE,Netscape の N ロゴおよび操舵輪のロゴは、米国およびその他の諸国の Netscape Communications Corporation 社の登録商標です。
- Intel、Pentium は Intel Corporation の登録商標です。
- そのほかの製品名は各社の商標または登録商標です。

表記について

- Microsoft(R) Windows(R) 98 operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows(R) Millennium Edition operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows(R) 2000 Professional operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows XP(R) Home Edition/Professional operating system 日本語版

以上の OS の表記について本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP と表記しています。

また、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP を総称する場合は［Windows］、複数の Windows を併記する場合は［Windows 98/Me/2000］のように、Windows の表記を省略することがあります。

索引

Numerics

A

B

C

E

I

J

M

O

P

T

U

あ

い

う

お

か

く

け

こ

さ

し

す

せ

た

つ

て

と

改訂履歴

Revision	改訂ページ	改訂内容	備考
NPD0085　v1.00mac	全て	新規制定	
NPD0085　v1.01mac	全て	本体背面のイラストをストッパがあるものに差替えました。	
	11	120/220（中判）フィルムを対象フィルムから削除しました。	
	176	外形寸法の数値を修正しました。	
	194	ADF で使用できる原稿の表中の数値を修正しました。	